

生駒市  
人権に関する市民意識調査  
調査結果報告書（案）

平成 30 年 8 月

生 駒 市



# 目 次

<b>I</b>	<b>調査の概要</b>	<b>1</b>
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
<b>II</b>	<b>調査結果</b>	<b>2</b>
1	回答者属性	2
2	人権問題等の考え方	8
	(1) 人権についての考え	8
	(2) 人権全般関心項目	26
	(3) 人権全般（感じ方）	34
	(4) 人権全般（人権尊重の意味）	37
	(5) 自分の人権侵害の有無	40
	(6) 人権侵害の内容	43
	(7) 対処方法	46
	(8) 対処しなかった理由	49
3	主な人権課題について	51
	(1) 女性に関する人権問題	51
	(2) 子どもに関する人権問題	55
	(3) 高齢者に関する人権問題	60
	(4) 障がい者に関する人権問題	66
	(5) 同和問題に関する人権問題	72
	(6) 在日外国人に関する人権問題	76
	(7) 犯罪被害者に関する人権問題	81
	(8) インターネットに関する人権問題	84
	(9) L G B Tなどの性的少数者に関する人権問題	88
	(10) 東日本大震災や福島第1原子力発電所事故に関する人権問題	92
4.	人権学習や行政への要望等	95
	(1) 人権問題の講演会や研修会への参加状況	95
	(2) 最近1年間の参加状況	98
	(3) 今まで参加した講演会の内容	101

(4) 最近1年間に参加した講演会の内容.....	104
(5) 今までに参加した回数.....	107
(6) 参加しての印象や感想.....	109
(7) 聞きしことがある人権啓発活動.....	111
(8) 人権問題に関する読書や学習の意向.....	113
(9) 特に理解を深めたい人権問題.....	115
(10) 意向がない人の理由.....	120
(11) 人権学習を深めるための支援.....	122
(12) 人権が尊重される社会実現のための取り組み.....	125
(13) 人権に関する宣言や法律等の認知状況.....	129
(14) 自由意見 別紙.....	146
5. 調査結果から.....	146
・人権に関する市民意識調査結果のまとめ(案) 別紙.....	146
6. 資料・使用した調査票.....	146
・人権に関する市民意識調査 調査票 別紙.....	146

# I 調査の概要

## 1 調査の目的

本調査は、人権問題の解決を図るための啓発や教育等施策を一層推進するための基礎資料を得ることを目的として実施したものです。

## 2 調査対象

生駒市在住の16歳以上の市民を、住民基本台帳より無作為抽出

## 3 調査期間

平成30年5月10日から平成30年5月31日

## 4 調査方法

郵送配布・郵送回収による郵便調査法。

## 5 回収状況

配布数	有効回答数	有効回答率
3,000通	1,333通	44.4%

## 6 調査結果の表示方法

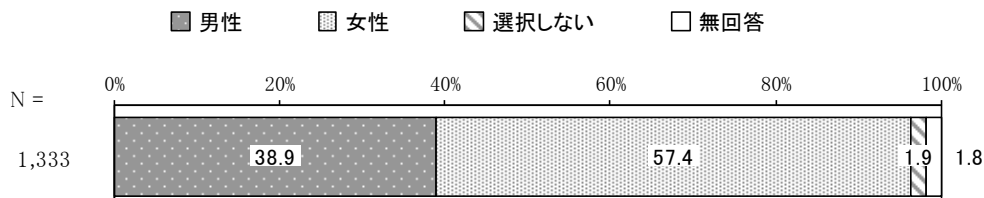
- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）

## II 調査結果

### 1 回答者属性

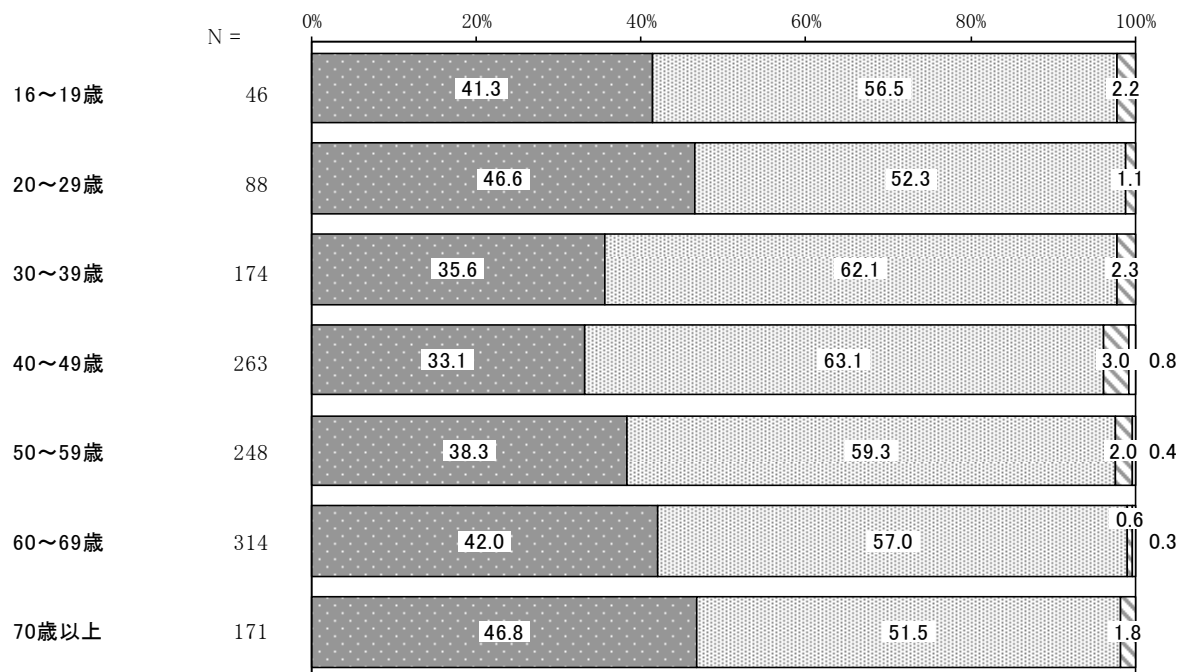
#### 性別

回答者の性別では、「女性」の割合が57.4%と最も高く、次いで「男性」の割合が38.9%となっています。



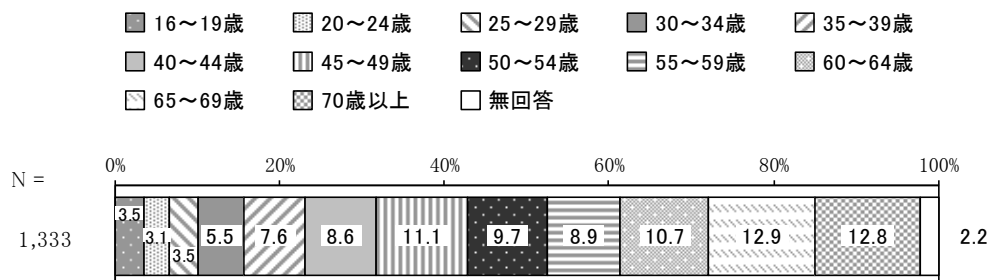
#### 【年齢別】

年齢別でみると、すべての年齢で「男性」より「女性」の割合が高くなっています。



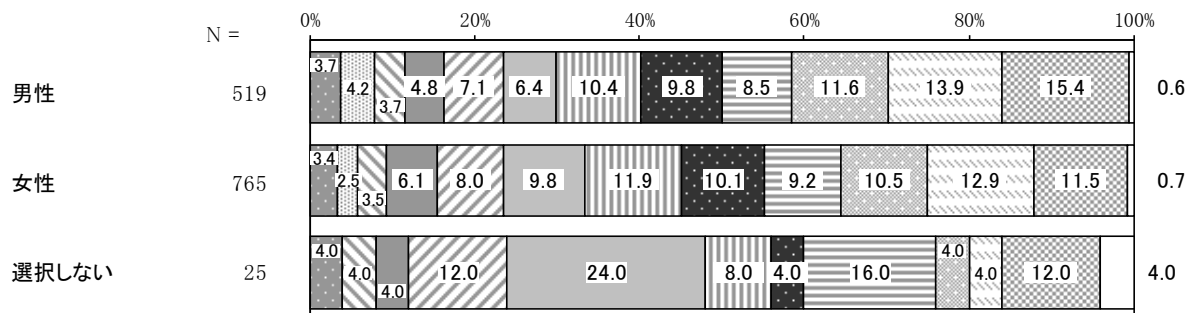
# 年齢

回答者の年齢は、「65～69歳」の割合が12.9%と最も高く、次いで「70歳以上」の割合が12.8%、「45～49歳」の割合が11.1%となっています。



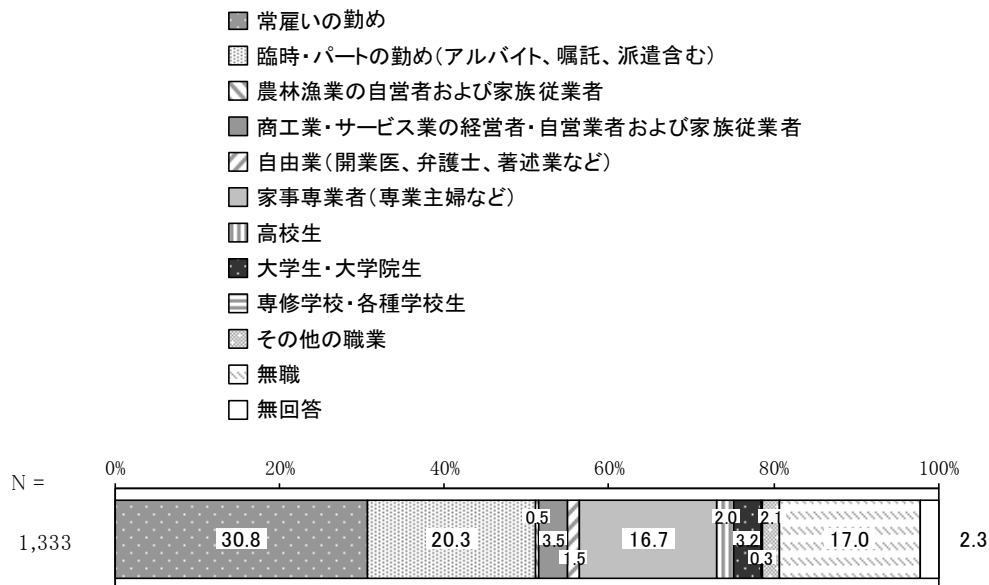
## 【性別】

性別でみると、男性と女性で大きな差異はみられません。



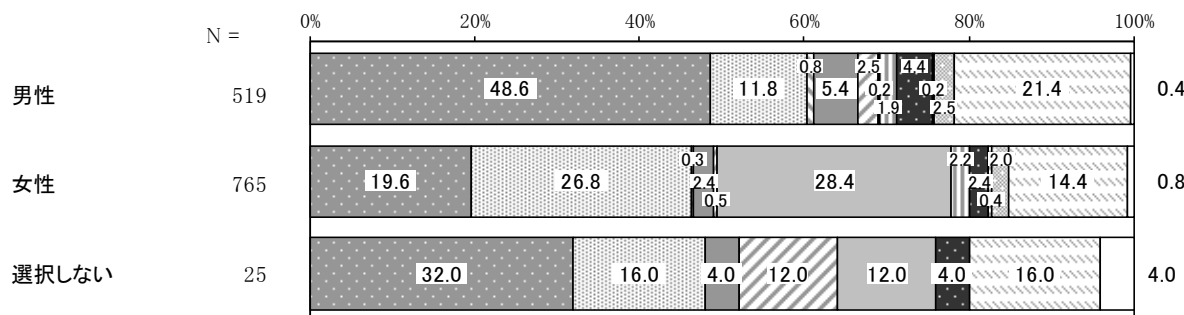
# 職業

職業は、「常雇いの勤め」の割合が 30.8%と最も高く、次いで「臨時・パートの勤め（アルバイト、嘱託、派遣含む）」の割合が 20.3%、「無職」の割合が 17.0%となっています。



## 【性別】

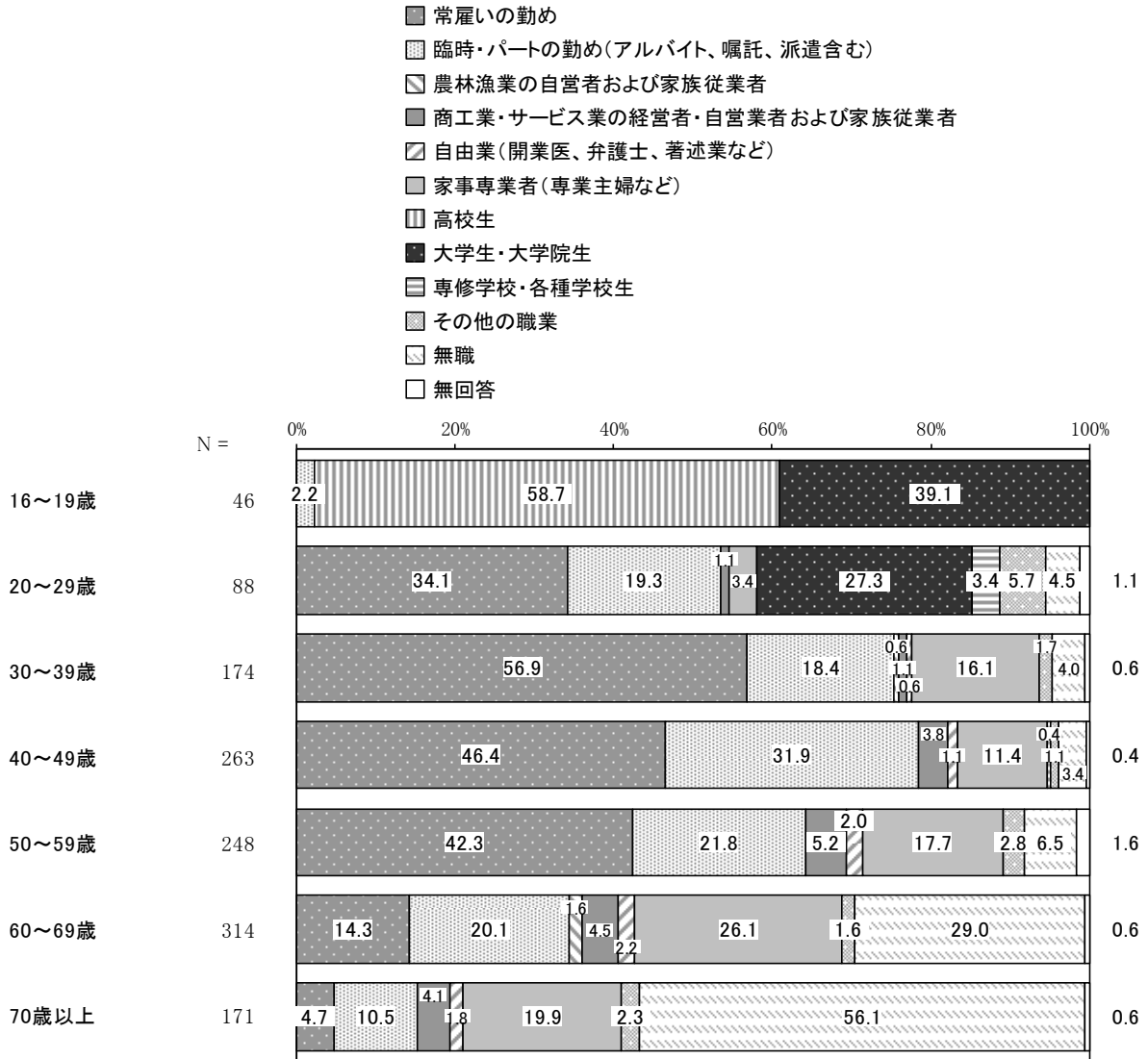
性別で見ると、他に比べ、男性で「常雇いの勤め」「無職」の割合が高くなっています。また、女性で「臨時・パートの勤め（アルバイト、嘱託、派遣含む）」「家事専業者（専業主婦など）」の割合が高くなっています。





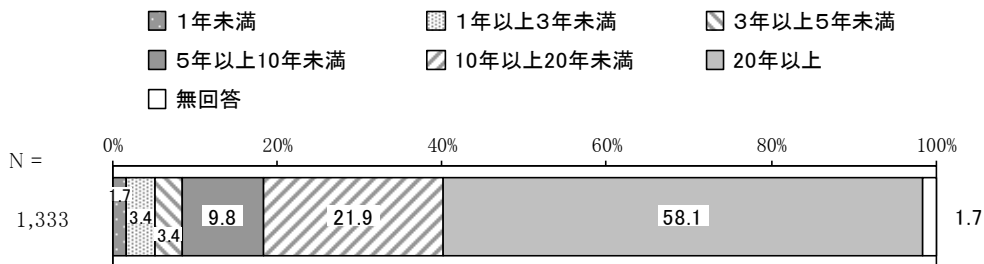
【年齢別】

年齢別でみると、年齢が上がるにつれ「無職」の割合が高くなっています。また、他に比べ、30～39歳で「常雇いの勤め」の割合が、40～49歳で「臨時・パートの勤め（アルバイト、嘱託、派遣含む）」の割合が高くなっています。



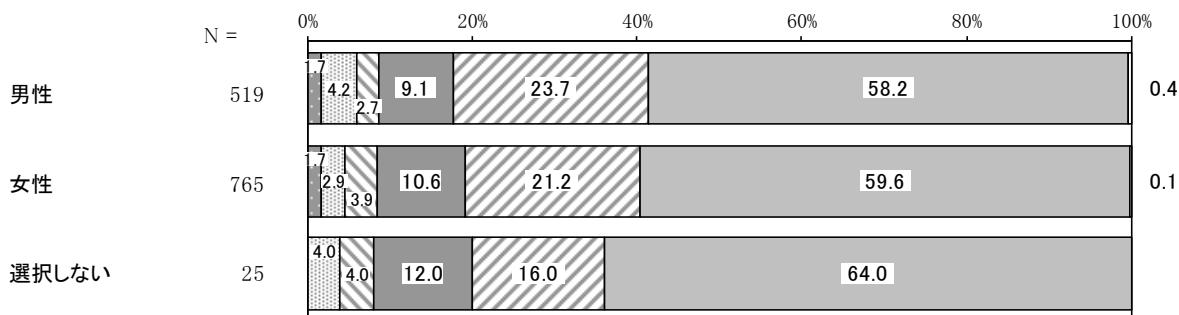
## 生駒市での居住年数

居住年数は、「20年以上」の割合が58.1%と最も高く、次いで「10年以上20年未満」の割合が21.9%となっています。



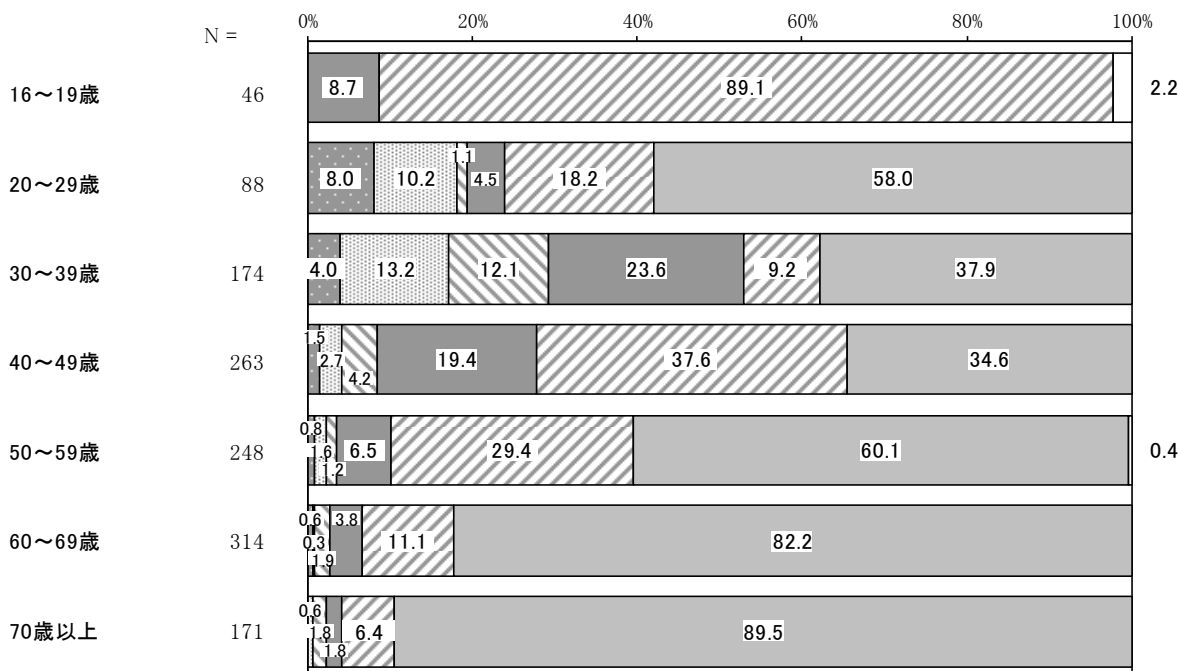
### 【性別】

性別でみると、男性と女性で大きな差異はみられません。



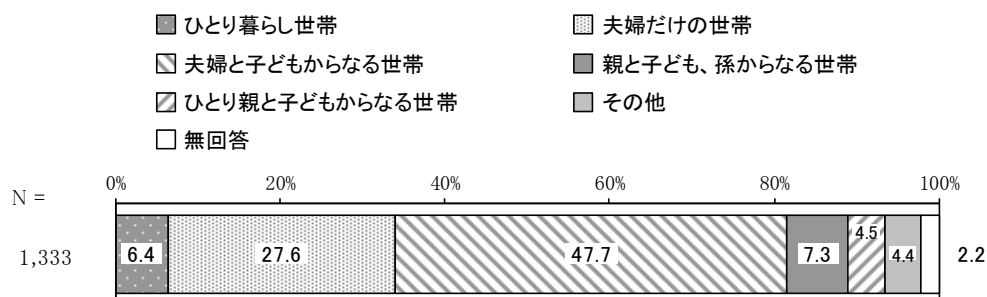
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30～49歳で「20年以上」の割合が低く、「5年以上10年未満」の割合が高くなっています。また、40～49歳で「10年以上20年未満」の割合が、30～39歳で「3年以上5年未満」の割合が高くなっています。



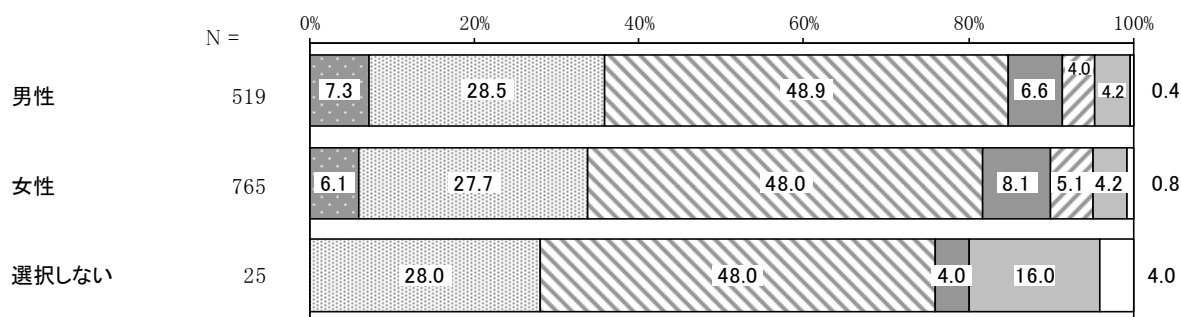
## 世帯構成

世帯構成は、「夫婦と子どもからなる世帯」の割合が 47.7%と最も高く、次いで「夫婦だけの世帯」の割合が 27.6%となっています。



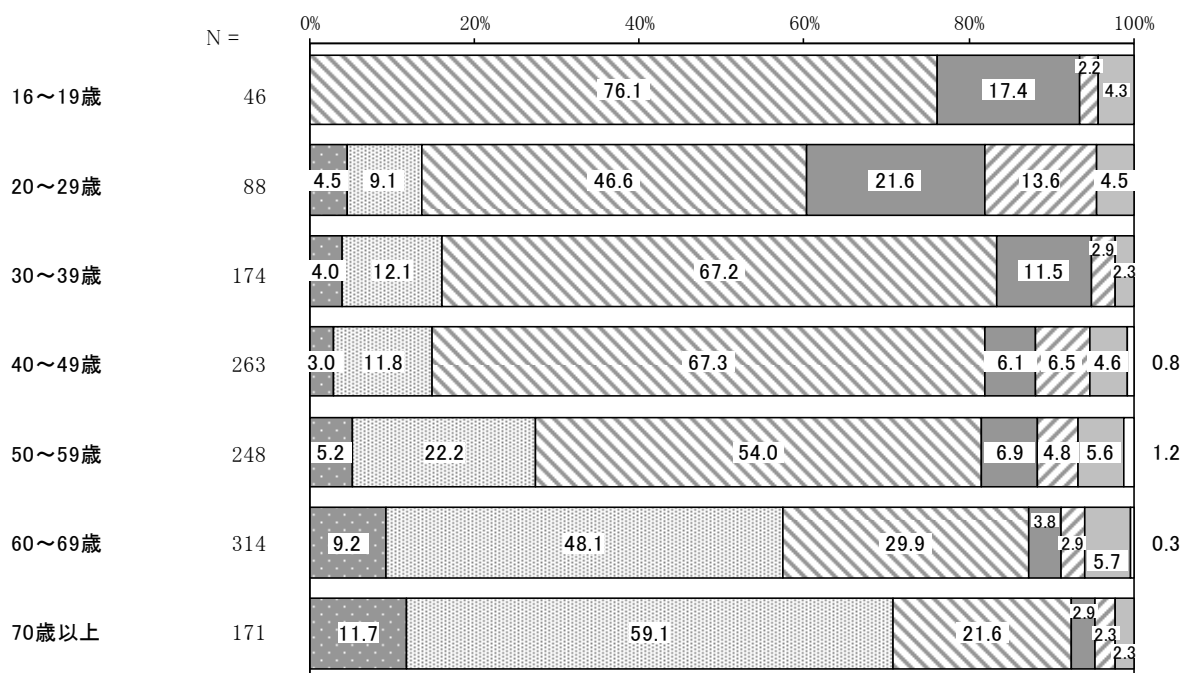
### 【性別】

性別でみると、男性と女性で大きな差異はみられません。



### 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が上がるにつれ「ひとり暮らし世帯」「夫婦だけの世帯」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、16～19歳で「夫婦と子どもからなる世帯」の割合が、16～29歳で「親と子ども、孫からなる世帯」の割合が高くなっています。



## 2 人権問題等の考え方

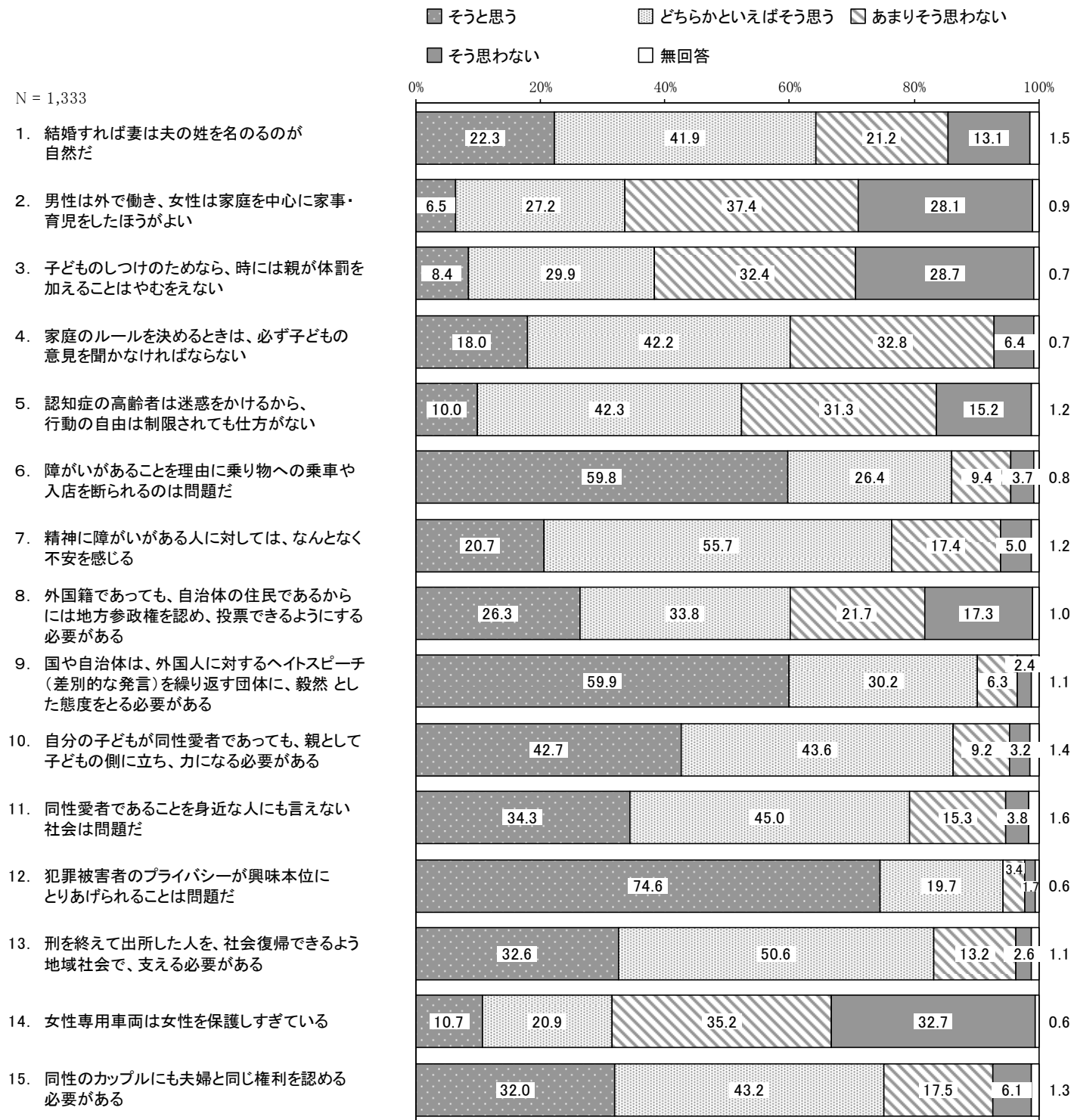
### (1) 人権についての考え

問1 次のような考え方について、あなたはどのように思いますか。1.～15.のそれぞれについて選んでください。(それぞれ1つに○)

人権問題や世の中の事柄や意見についての考えでは、「9. 国や自治体は、外国人に対するヘイトスピーチ（差別的な発言）を繰り返す団体に、毅然とした態度をとる必要がある」「12. 犯罪被害者のプライバシーが興味本位にとりあげられることは問題だ」で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた“そう思う”の割合が高く、9割以上となっています。また、「14. 女性専用車両は女性を保護しすぎている」で「あまりそう思わない」と「そう思わない」をあわせた“そう思わない”の割合が高く、約7割となっています。

平成29年度奈良県調査（奈良県調査）と比較すると、県に比べ、9. 国や自治体は、外国人に対するヘイトスピーチ（差別的な発言）を繰り返す団体に、毅然とした態度をとる必要がある、10. 自分の子どもが同性愛者であっても、親として子どもの側に立ち、力になる必要がある、11. 同性愛者であることを身近な人にも言えない社会は問題だ、15. 同性のカップルにも夫婦と同じ権利を認める必要があるで“そう思う”の割合が高くなっています。また、4. 家庭のルールを決めるときは、必ず子どもの意見を聞かなければならない、7. 精神に障がいがある人に対しては、なんとなく不安を感じる、14. 女性専用車両は女性を保護しすぎているで“そう思わない”の割合が高くなっています。

N = 1,333



【奈良県調査】

N = 1,219

結婚すれば妻は夫の姓を名のるのが自然だ

男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児をしたほうがよい

子どものしつけのためなら、時には親が体罰を加えることやむをえない

家庭のルールを決めるときは、必ず子どもの意見を聞かなければならない

認知症の高齢者は迷惑をかけるから、行動の自由は制限されても仕方ない

障害があることを理由に乗り物への乗車や入店を断られるのは問題だ

精神に障害がある人に対しては、なんとなく不安を感じる

外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるようにする必要がある

国や自治体は、外国人に対するヘイトスピーチを繰り返す団体に、毅然とした態度をとる必要がある

自分の子どもが同性愛者であっても、親として子どもの側に立ち、力になる必要がある

同性愛者であることを身近な人にも言えない社会は問題だ

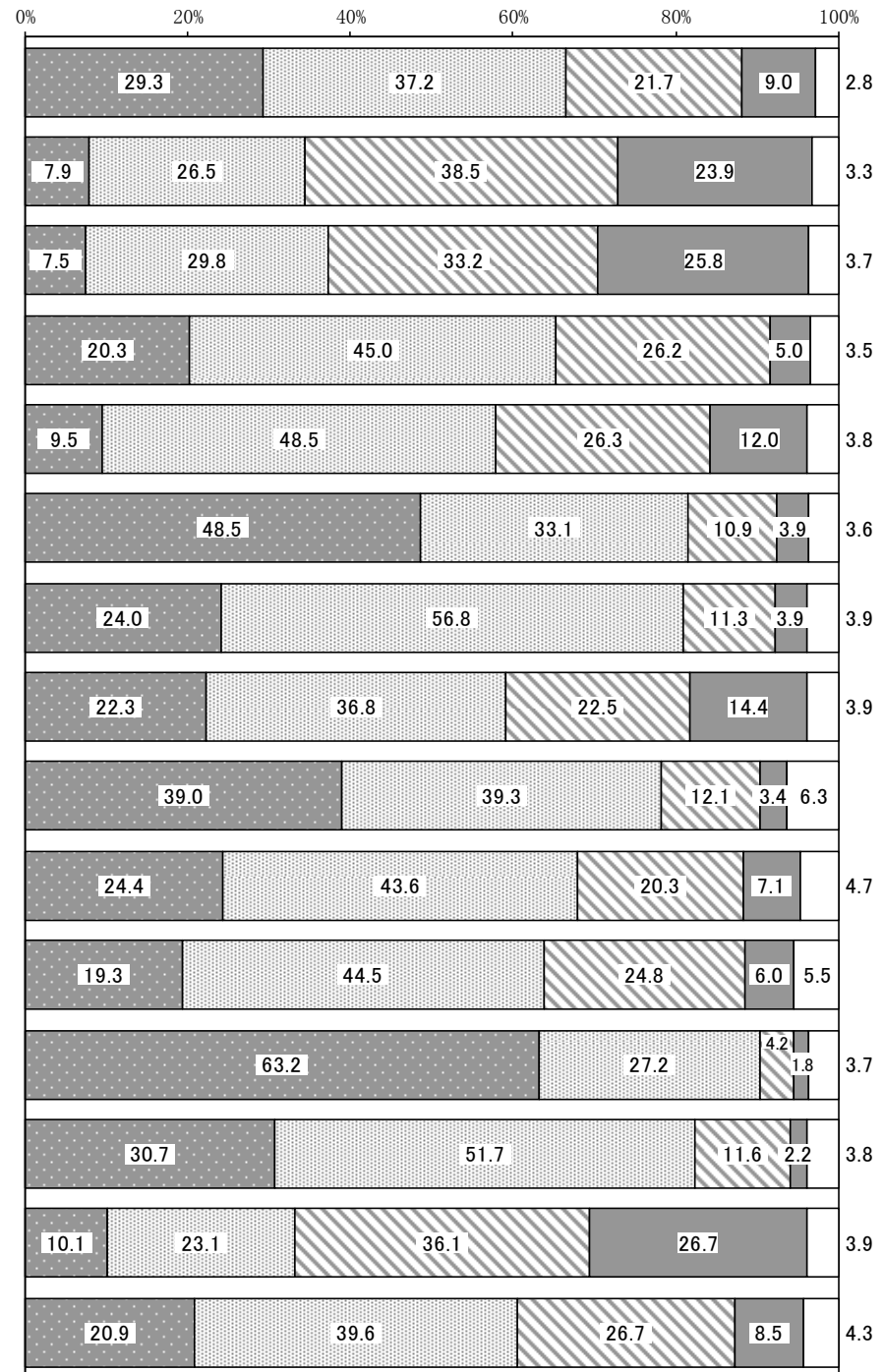
犯罪被害者のプライバシーが興味本位にとりあげられることは問題だ

刑を終えて出所した人を、社会復帰できるよう地域社会で、支える必要がある

女性専用車両は女性を保護しすぎている

同性のカップルにも夫婦と同じ権利を認める必要がある

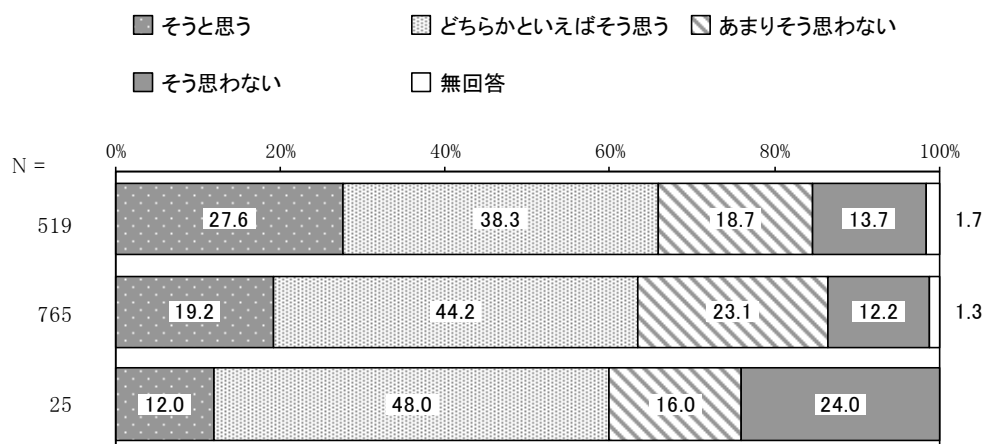
■ そう思う      ■ どちらかといえばそう思う      ■ あまりそう思わない  
■ そう思わない      □ 無回答



## 1. 結婚すれば妻は夫の姓を名のるのが自然だ

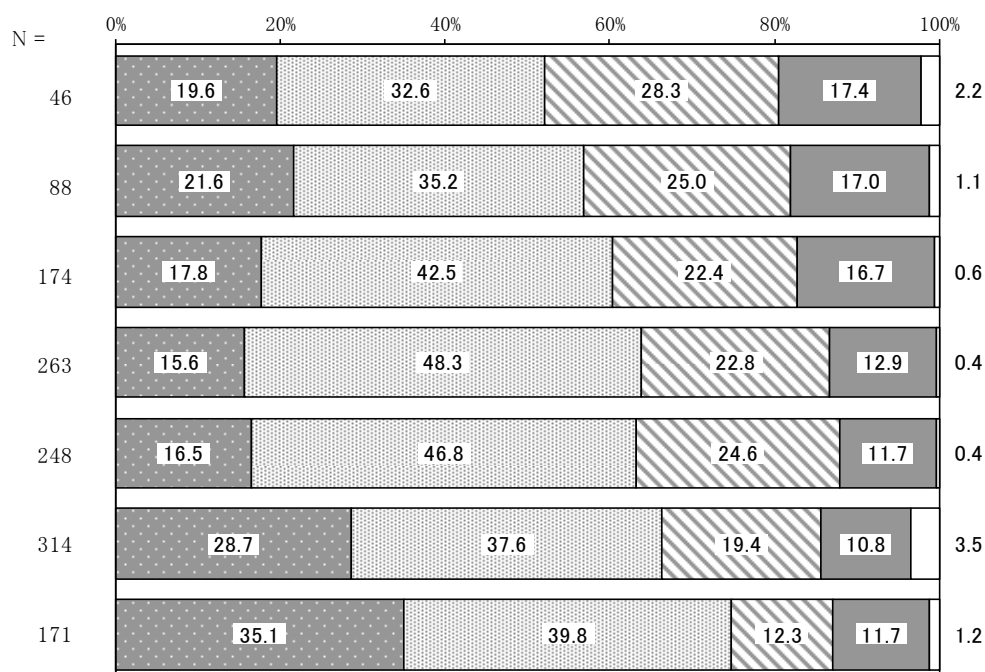
### 【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「そう思う」の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

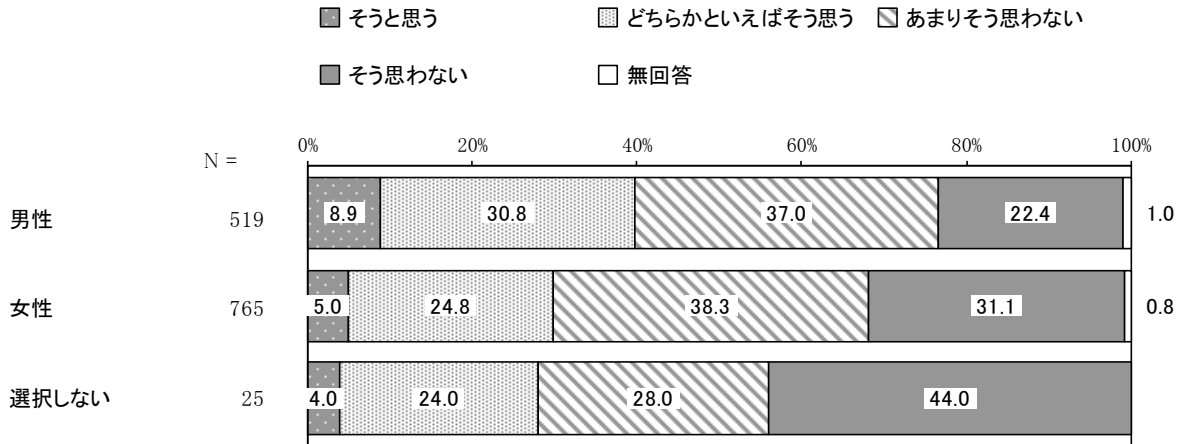
年齢別でみると、年齢が上がるにつれ“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



## 2. 男性は外で働き、女性は家庭を中心に家事・育児をしたほうがよい

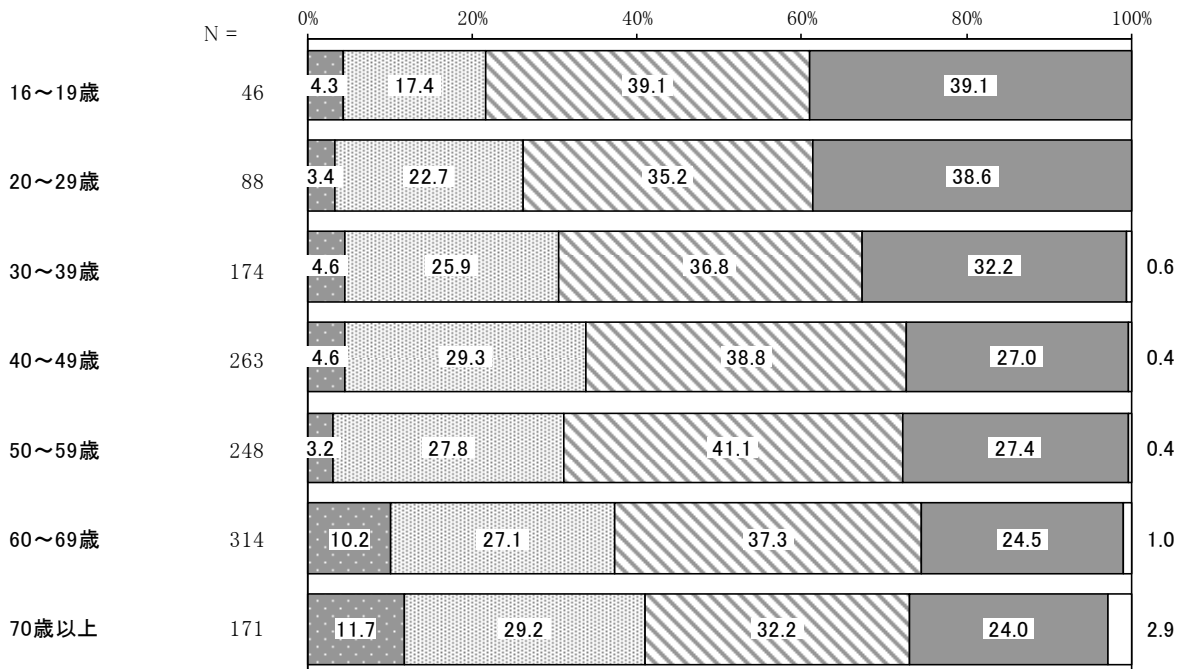
### 【性別】

性別で見ると、他に比べ、男性で“そう思う”の割合が高く、約4割となっています。



### 【年齢別】

年齢別で見ると、年齢が上がるにつれ“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。

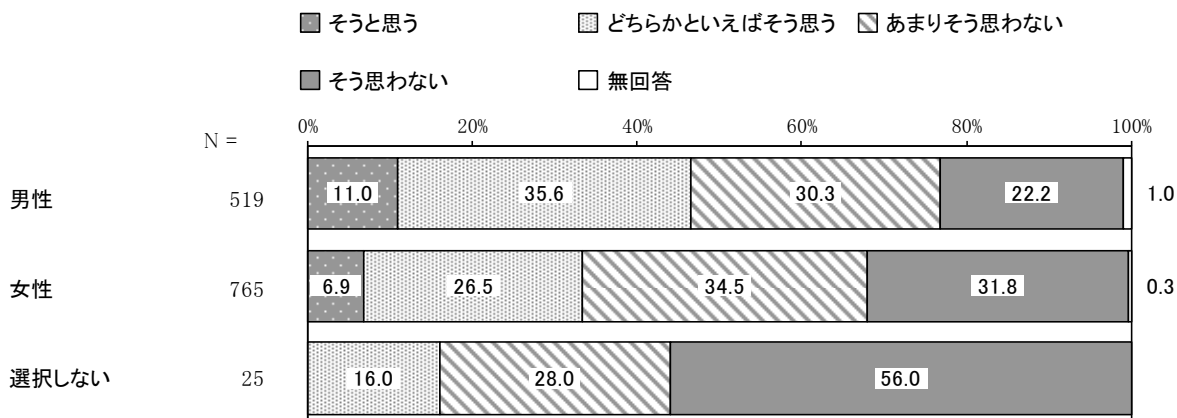




### 3. 子どものしつけのためなら、時には親が体罰を加えることはやむをえない

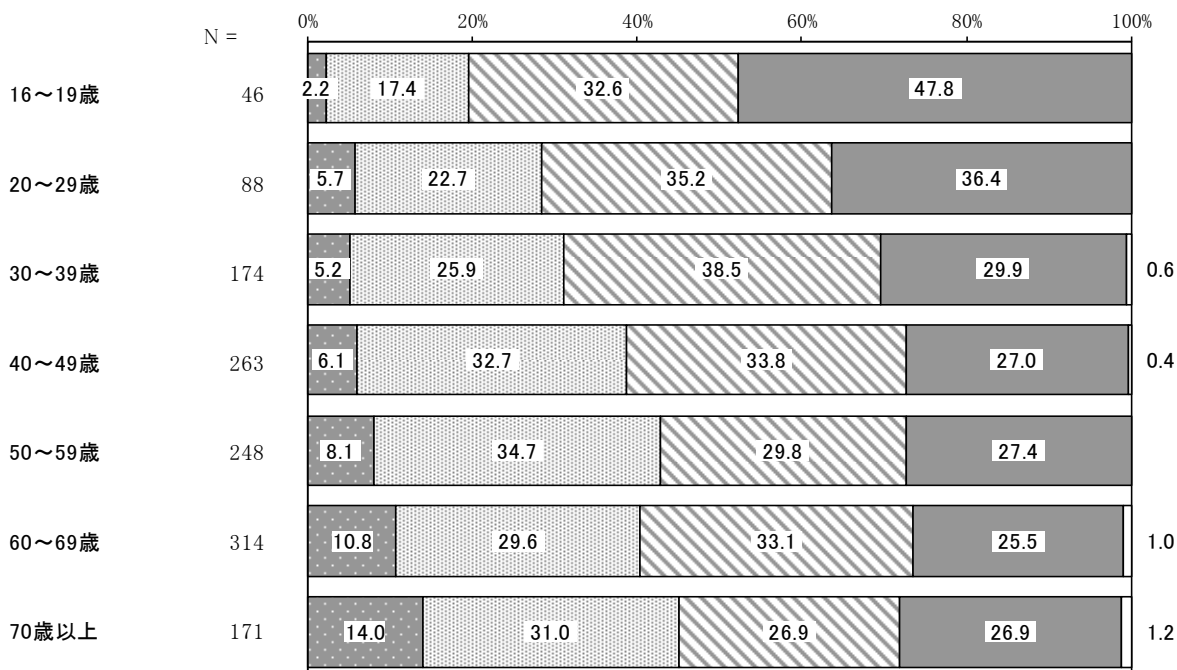
#### 【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で“そう思う”の割合が高く、4割台半ばとなっています。



#### 【年齢別】

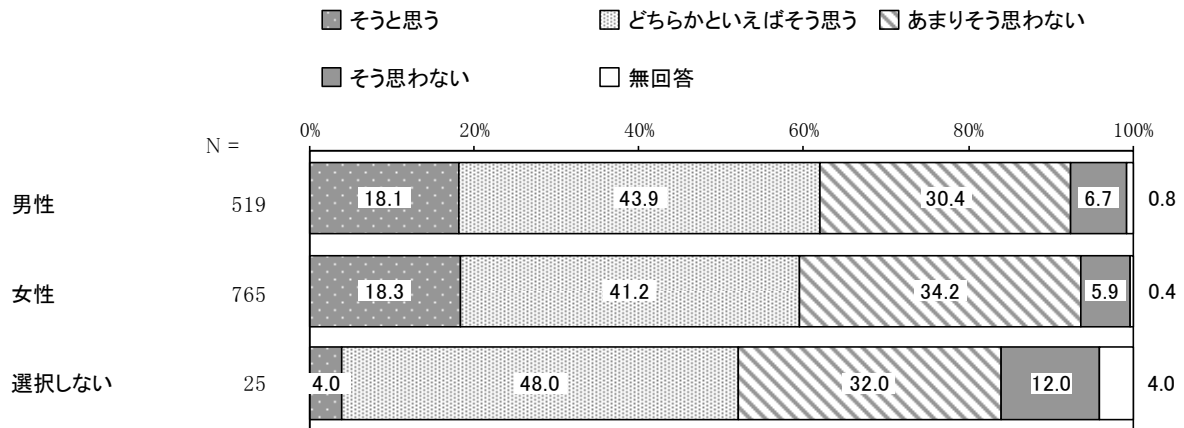
年齢別でみると、年齢が上がるにつれ“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられます。



#### 4. 家庭のルールを決めるときは、必ず子どもの意見を聞かなければならない

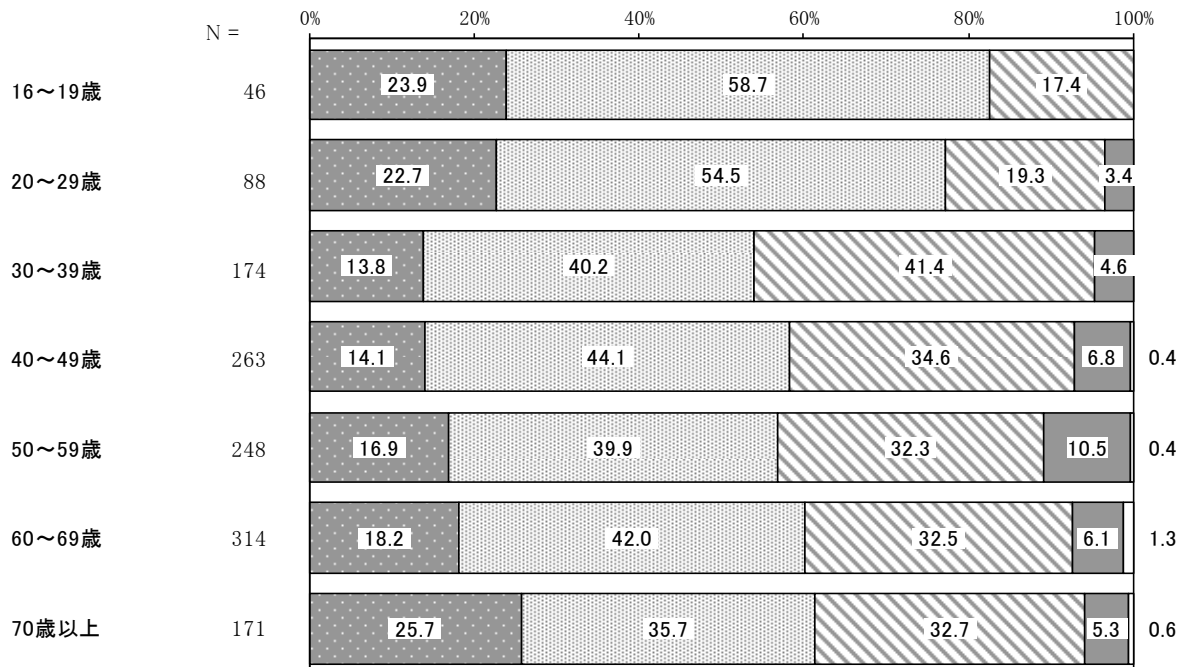
##### 【性別】

性別で見ると、男性と女性で大きな差異はみられません。



##### 【年齢別】

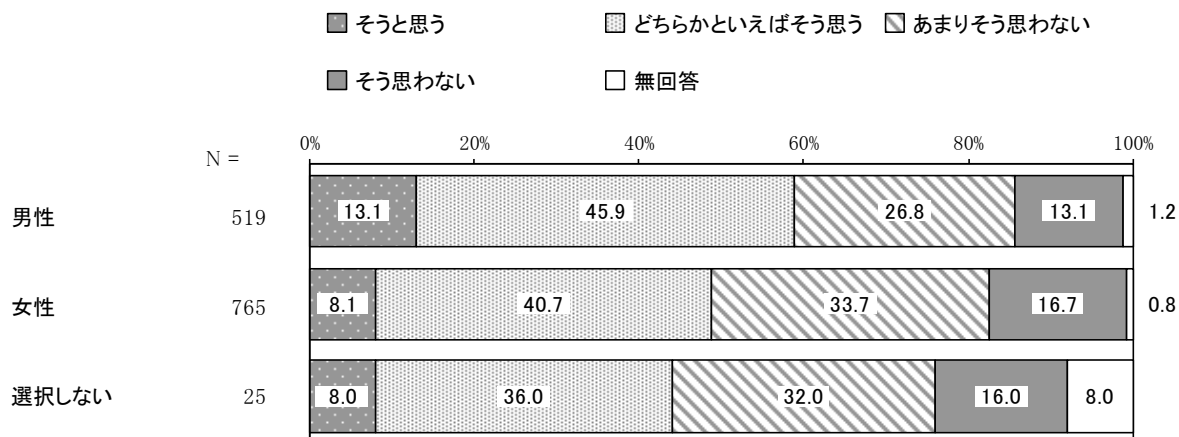
年齢別で見ると、他に比べ、16～29歳で“そう思う”の割合が高く、約8割となっています。また、30～39歳で“そう思わない”の割合が高く、4割台半ばとなっています。



## 5. 認知症の高齢者は迷惑をかけるから、行動の自由は制限されても仕方がない

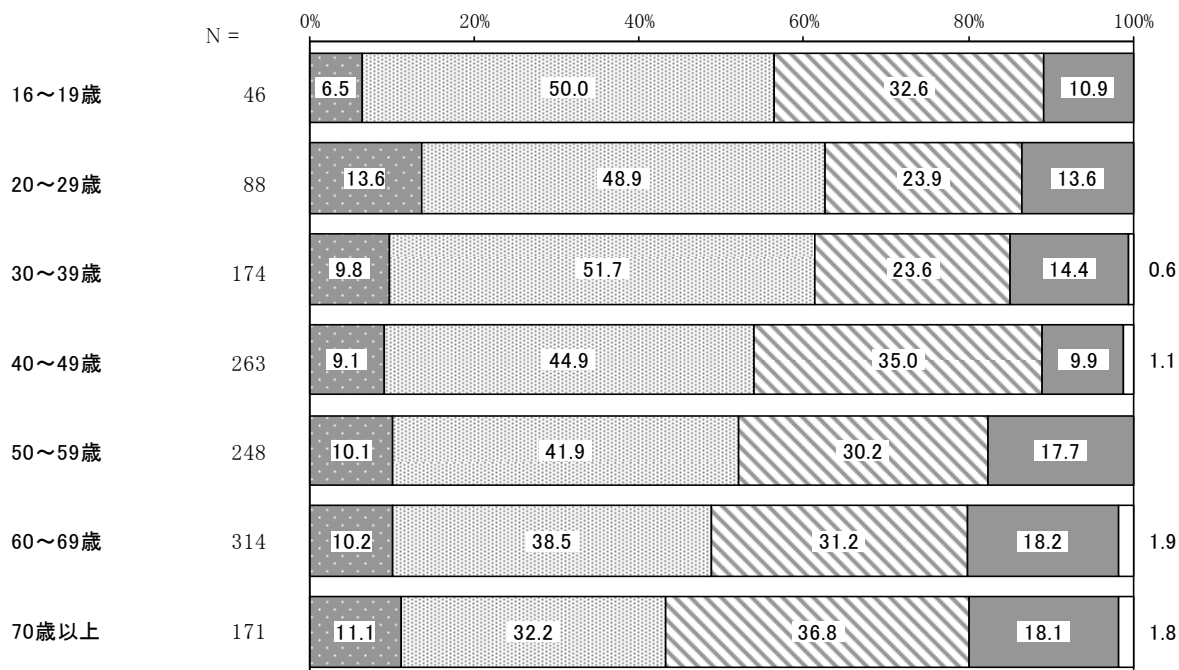
### 【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で“そう思う”の割合が高く、約6割となっています。



### 【年齢別】

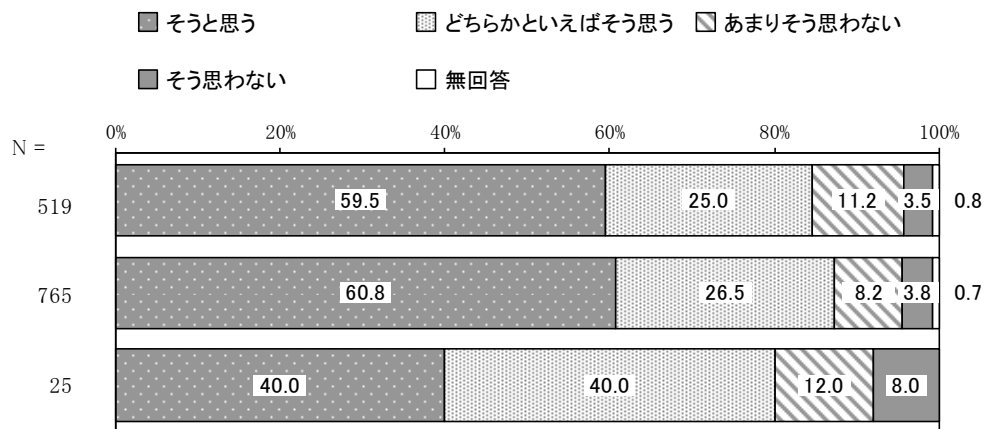
年齢別でみると、他に比べ、20～39歳で“そう思う”の割合が高く、約6割となっています。また、70歳以上で“そう思わない”の割合が高く、5割台半ばとなっています。



## 6. 障がいがあることを理由に乗り物への乗車や入店を断られるのは問題だ

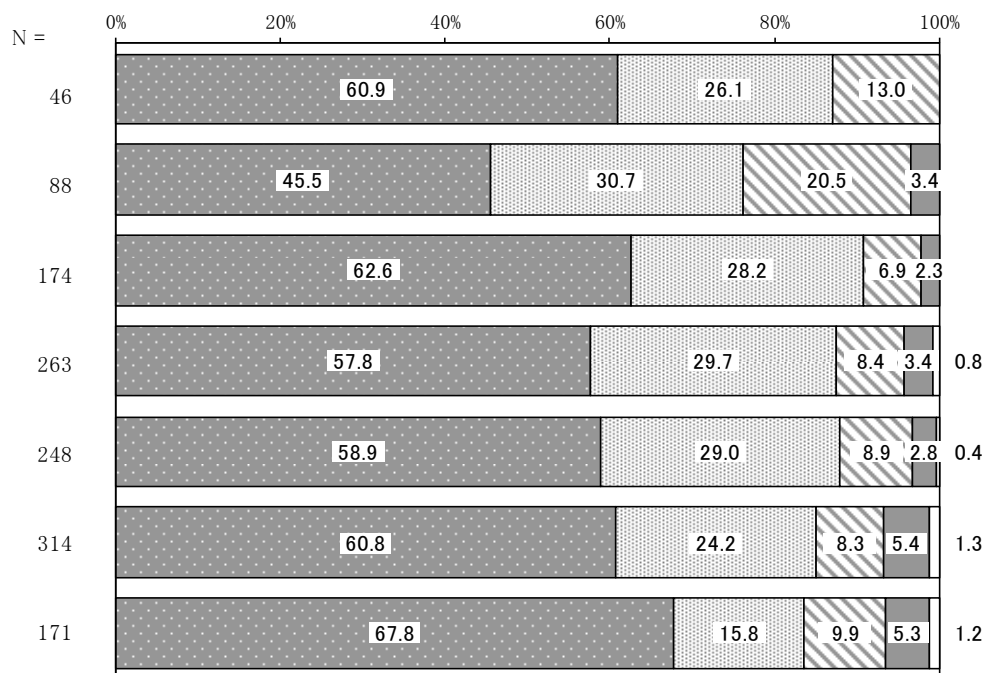
### 【性別】

性別でみると、男性と女性で大きな差異はみられません。



### 【年齢別】

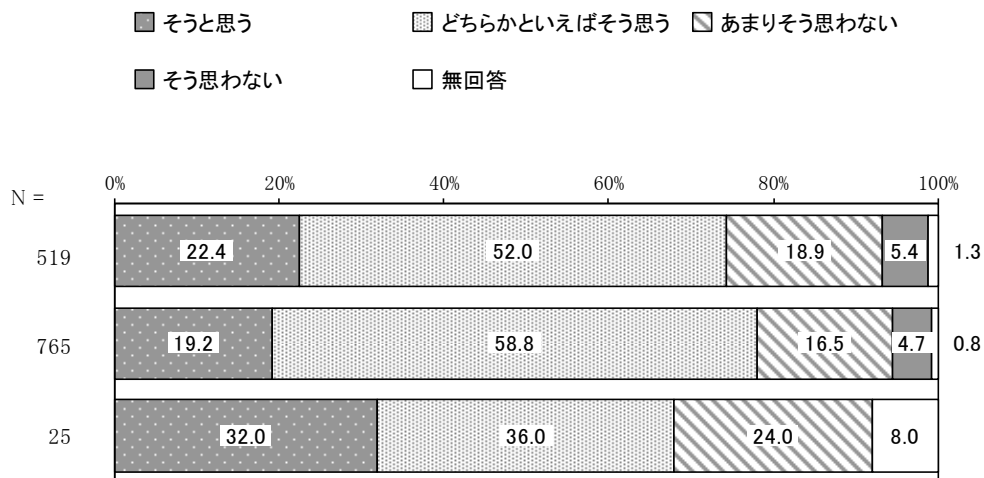
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で“そう思わない”の割合が高く、約2割となっています。



## 7. 精神に障がいがある人に対しては、なんとなく不安を感じる

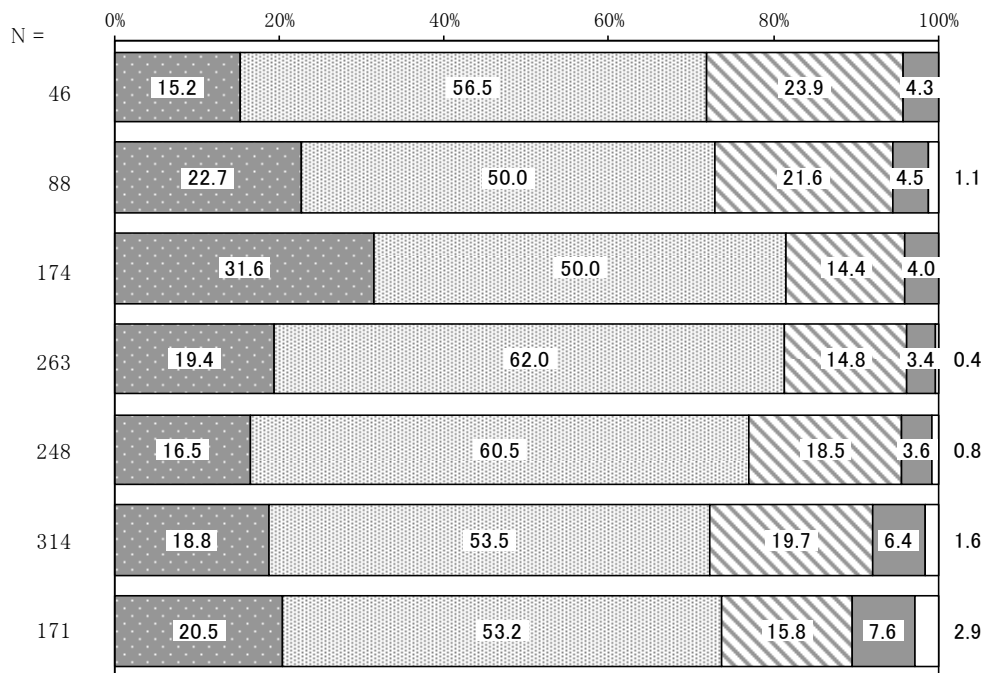
### 【性別】

性別で見ると、他に比べ、女性で「どちらかといえばそう思う」の割合が高く、約6割となっています。



### 【年齢別】

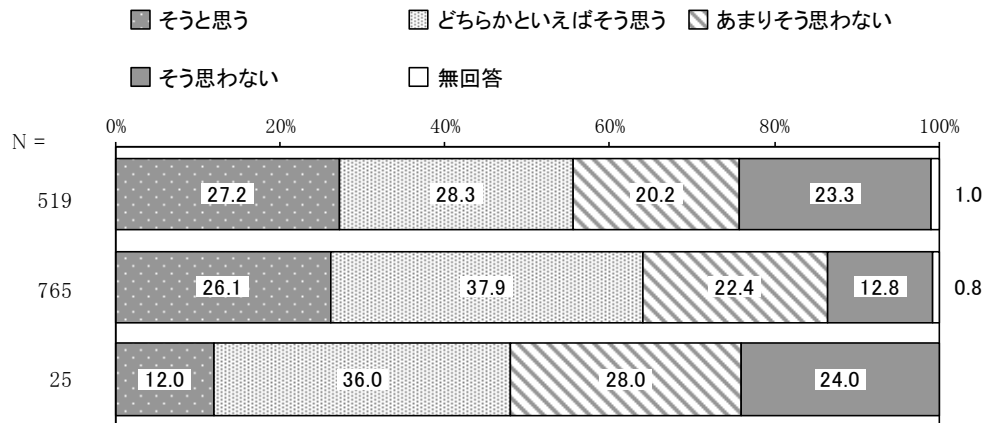
年齢別で見ると、他に比べ、30～59歳で“そう思う”の割合が高く、約8割となっています。



8. 外国籍であっても、自治体の住民であるからには地方参政権を認め、投票できるようにする必要がある

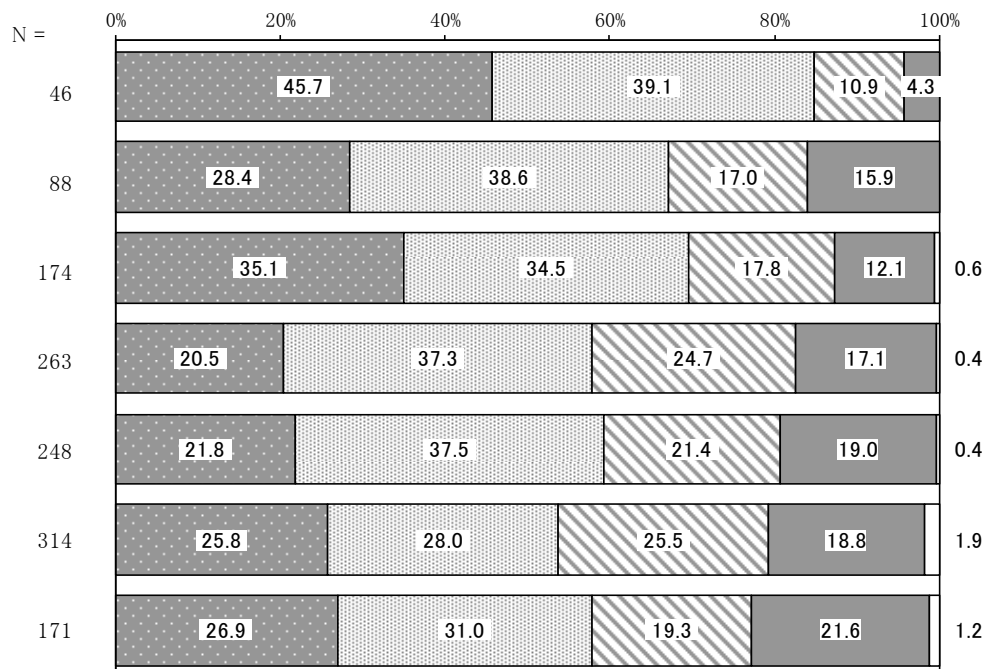
【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で“そう思う”の割合が高く、6割台半ばとなっています。



【年齢別】

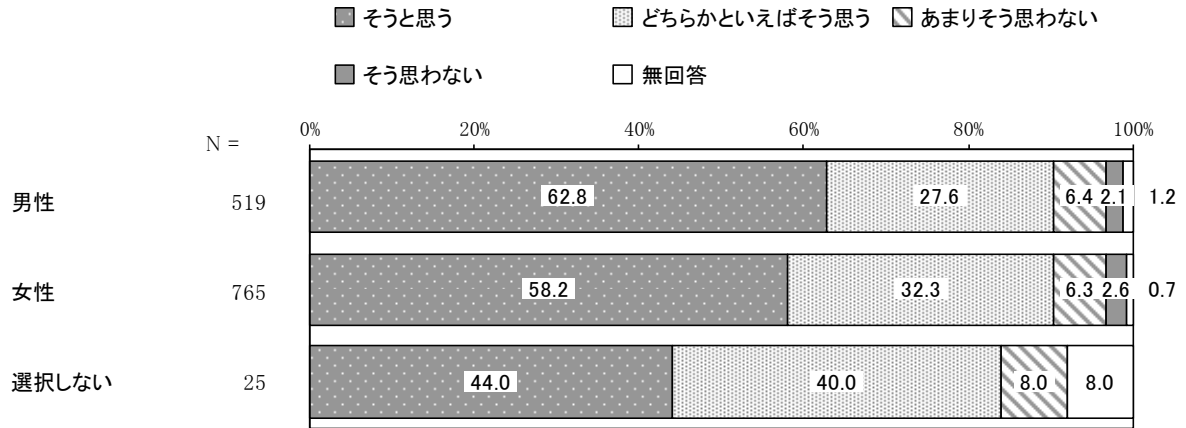
年齢別でみると、年齢が下がるにつれ“そう思う”の割合が高くなる傾向がみられ、16～19歳で8割台半ばとなっています。



9. 国や自治体は、外国人に対するヘイトスピーチ（差別的な発言）を繰り返す団体に、毅然とした態度をとる必要がある

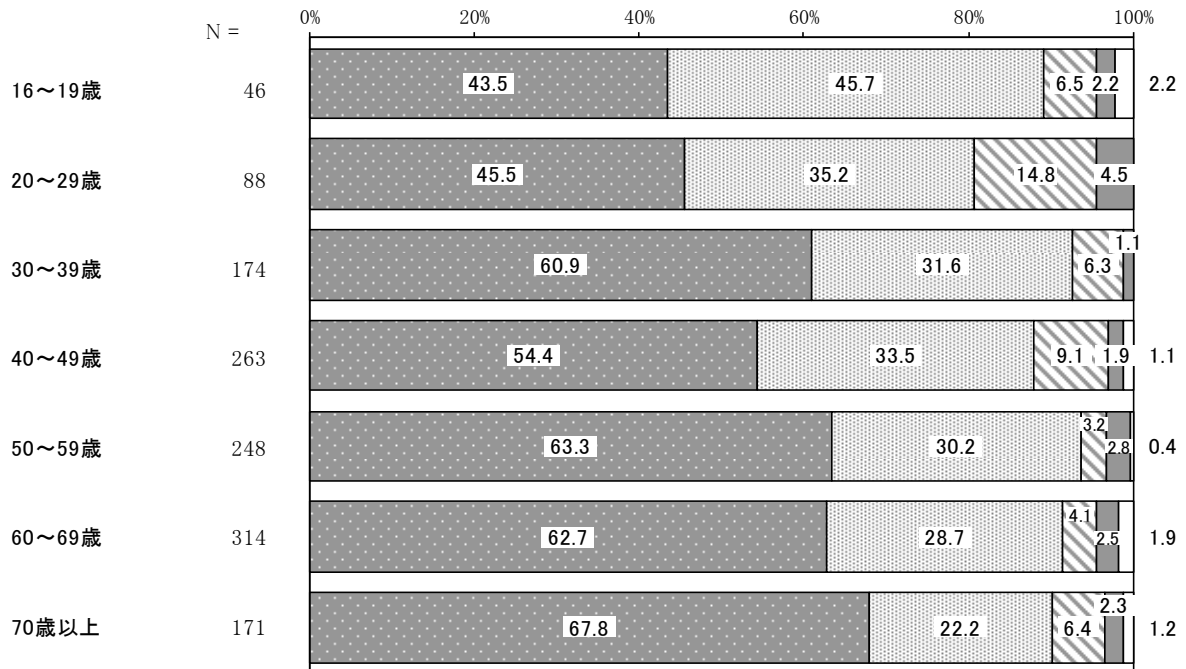
【性別】

性別でみると、男性と女性で大きな差異はみられません。



【年齢別】

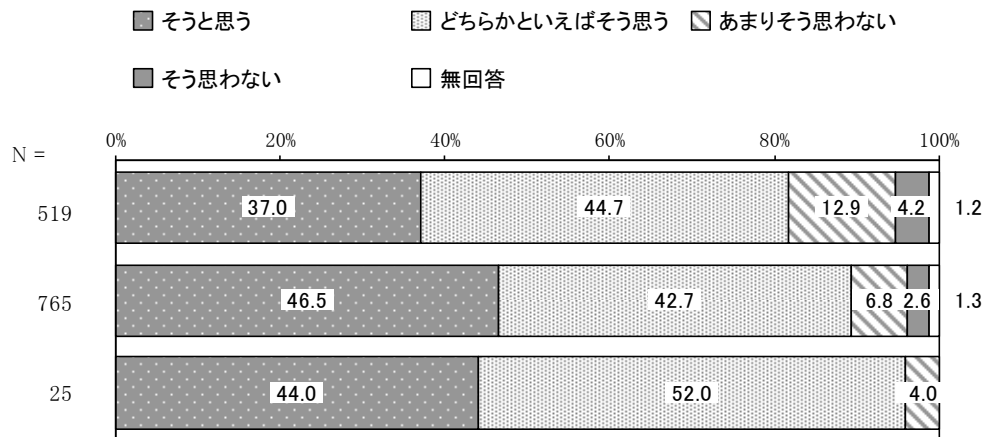
年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で“そう思わない”の割合が高く、約2割となっています。



10. 自分の子どもが同性愛者であっても、親として子どもの側に立ち、力になる必要がある

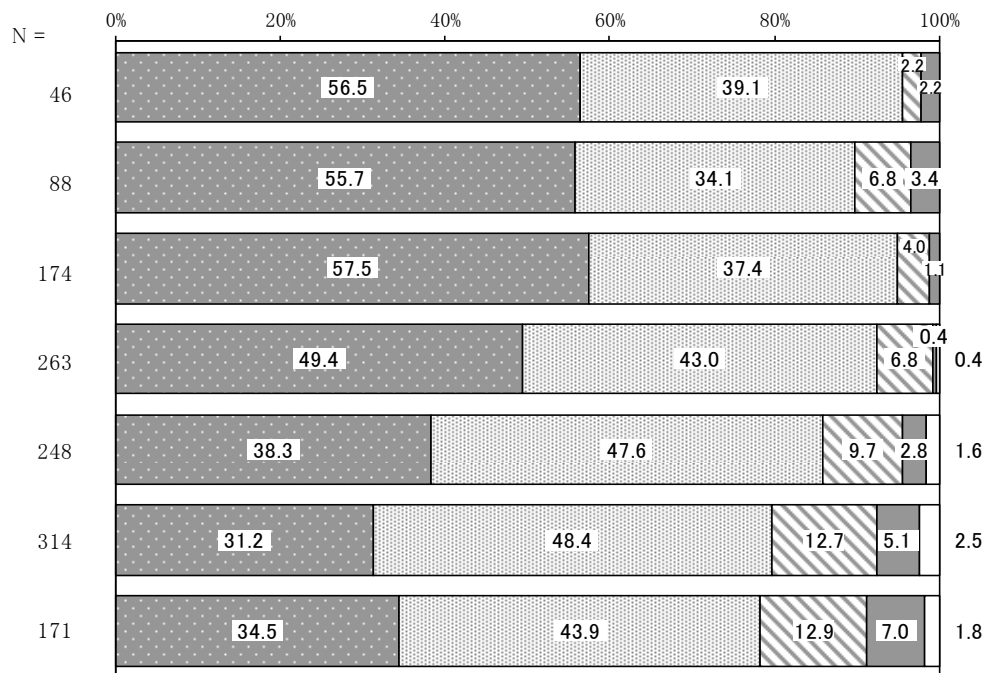
【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で“そう思わない”の割合が高く、約2割となっています。



【年齢別】

年齢別でみると、年齢が上がるにつれ“そう思う”の割合が低くなる傾向がみられます。

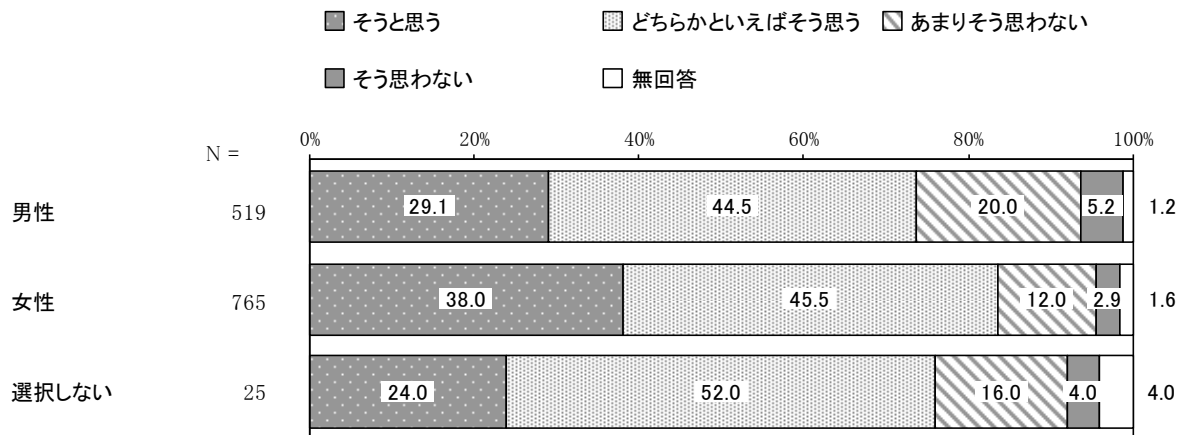




## 11. 同性愛者であることを身近な人にも言えない社会は問題だ

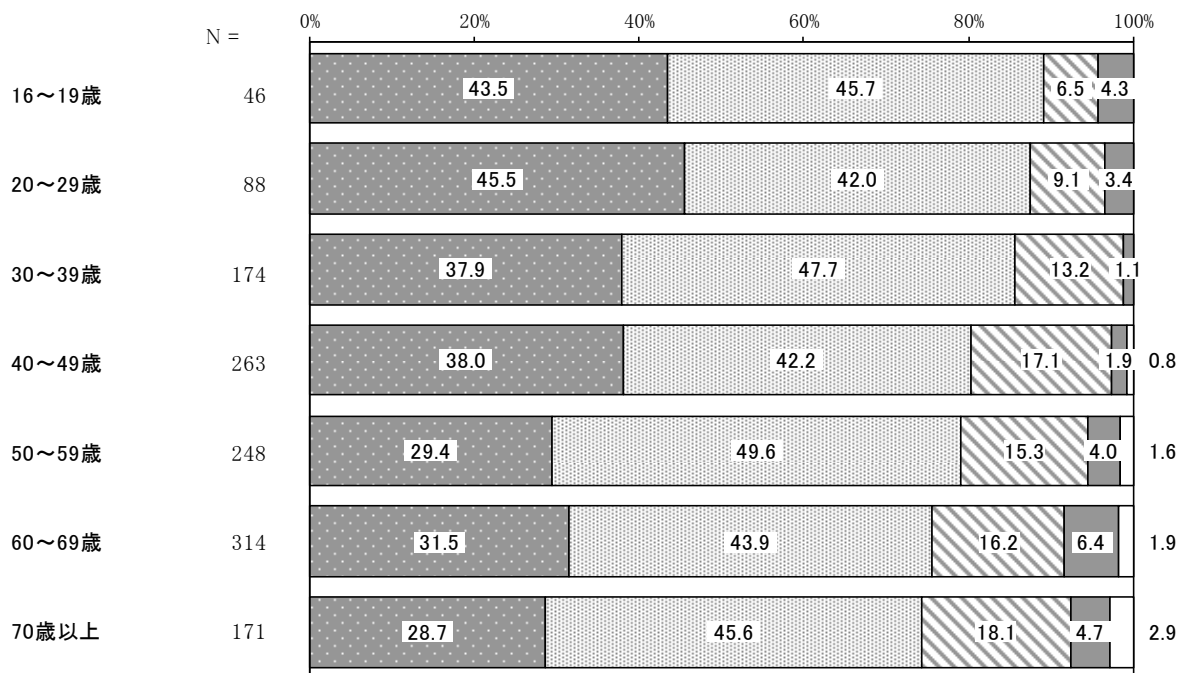
### 【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で“そう思う”の割合が高く、約8割となっています。



### 【年齢別】

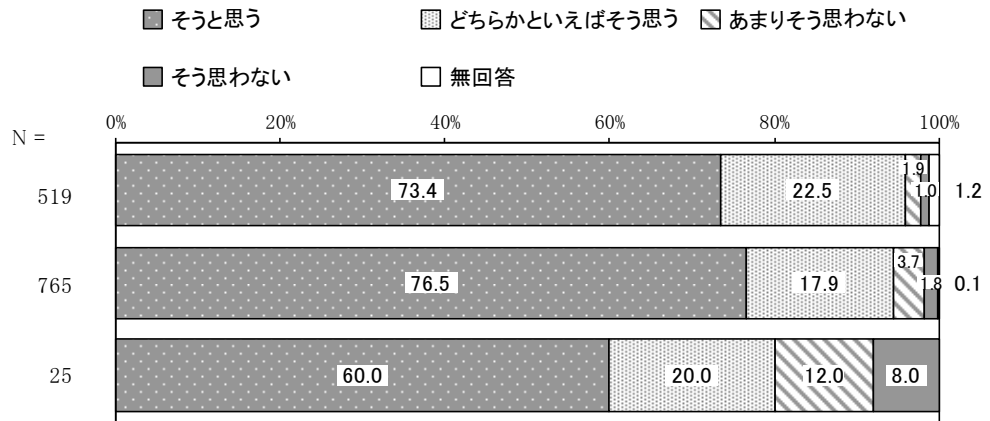
年齢別でみると、年齢が上がるにつれ“そう思わない”の割合が高くなっています。



## 12. 犯罪被害者のプライバシーが興味本位にとりあげられることは問題だ

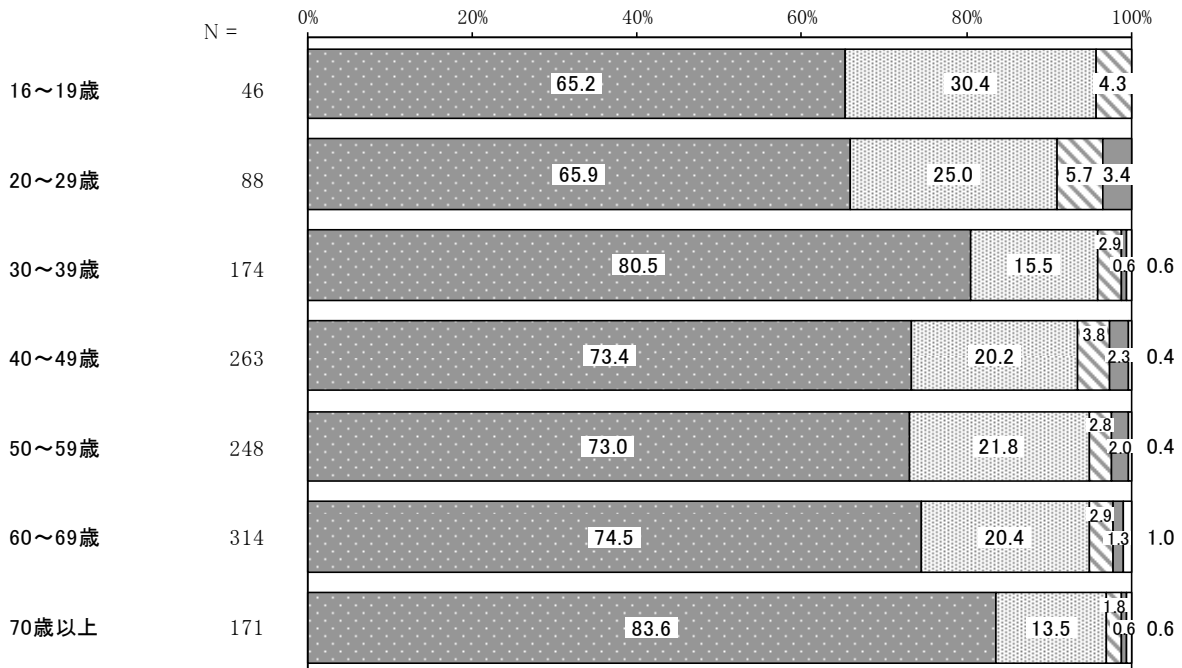
### 【性別】

性別でみると、男性と女性で大きな差異はみられません。



### 【年齢別】

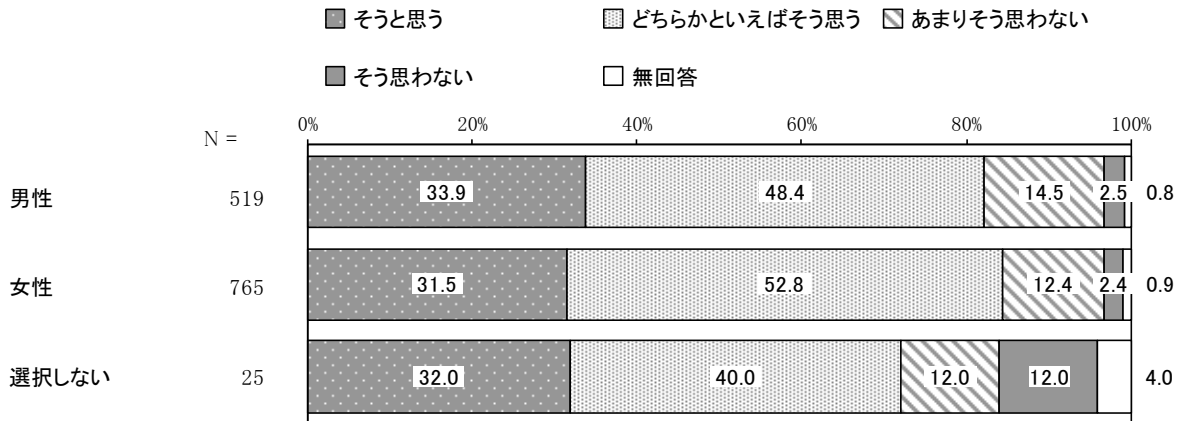
年齢別でみると、他に比べ、16～29歳で「そう思う」の割合が低く、6割台半ばとなっています。



### 13. 刑を終えて出所した人を、社会復帰できるよう地域社会で、支える必要がある

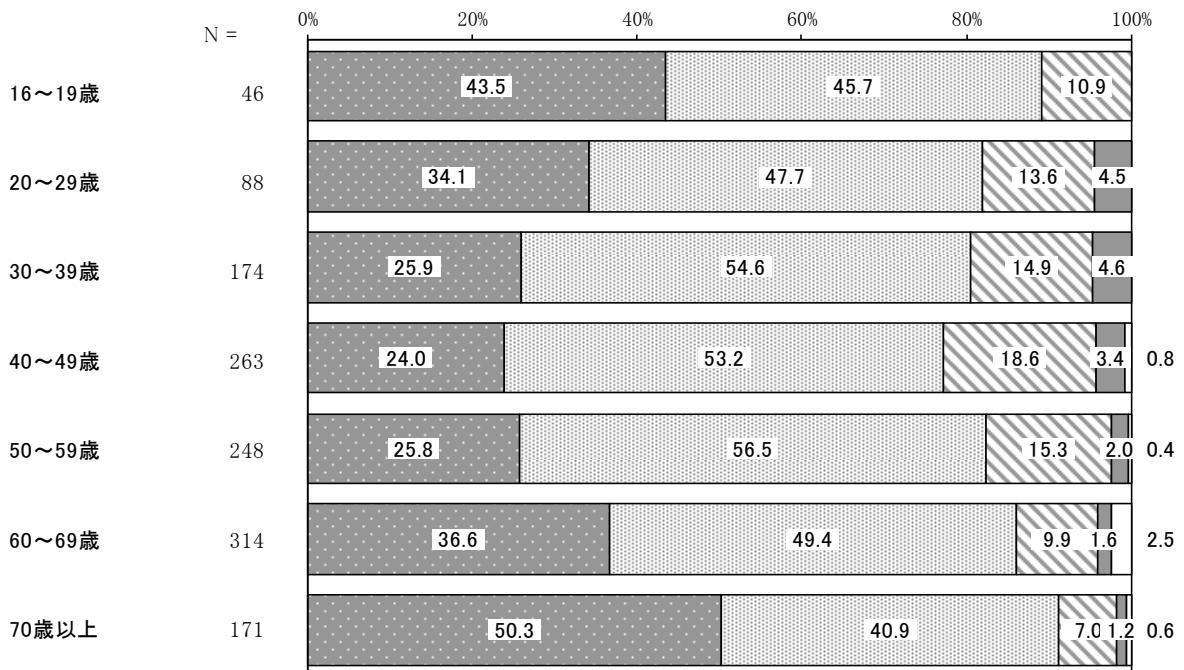
#### 【性別】

性別でみると、男性と女性で大きな差異はみられません。



#### 【年齢別】

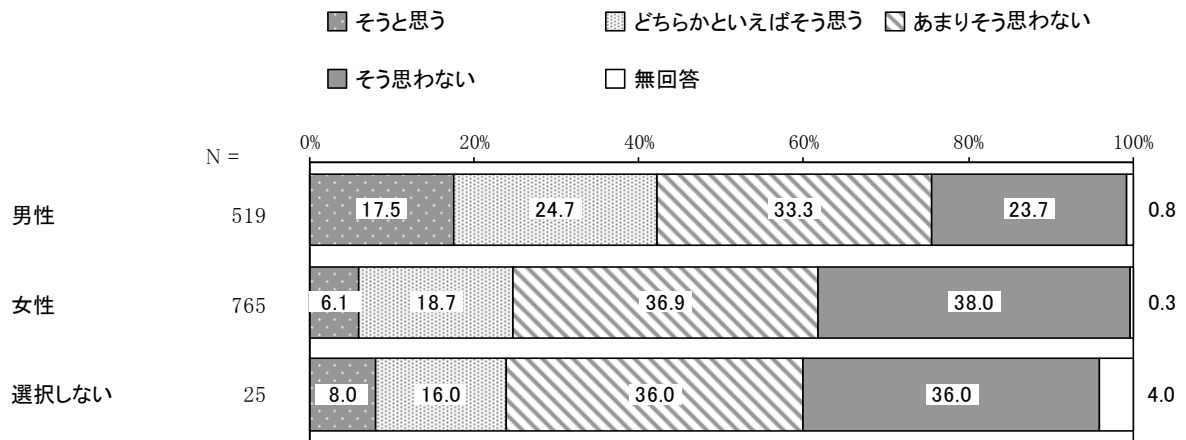
年齢別でみると、他に比べ、16～19歳、70歳以上で“そう思う”の割合が高く、約9割となっています。また、40～49歳で“そう思わない”の割合が高く、2割を超えています。



## 14. 女性専用車両は女性を保護しすぎている

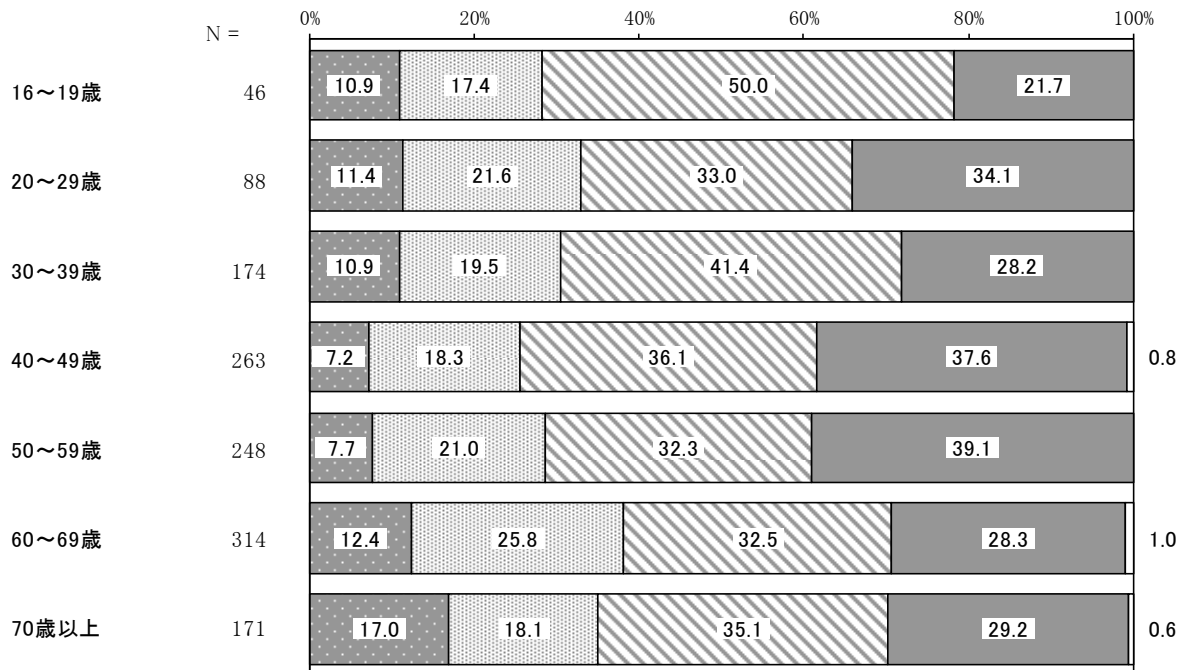
### 【性別】

性別で見ると、他に比べ、男性で“そう思う”の割合が高く、約4割となっています。



### 【年齢別】

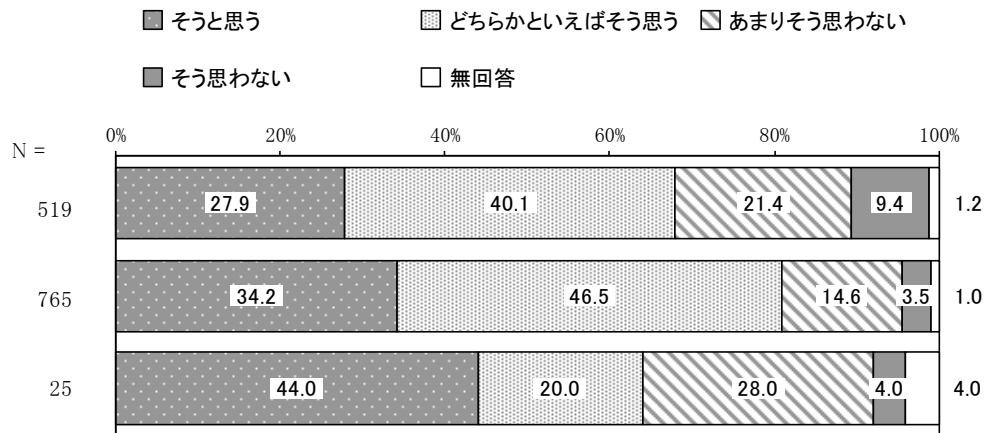
年齢別で見ると、他に比べ、60～69歳で“そう思う”の割合が高く、約4割となっています。



## 15. 同性のカップルにも夫婦と同じ権利を認める必要がある

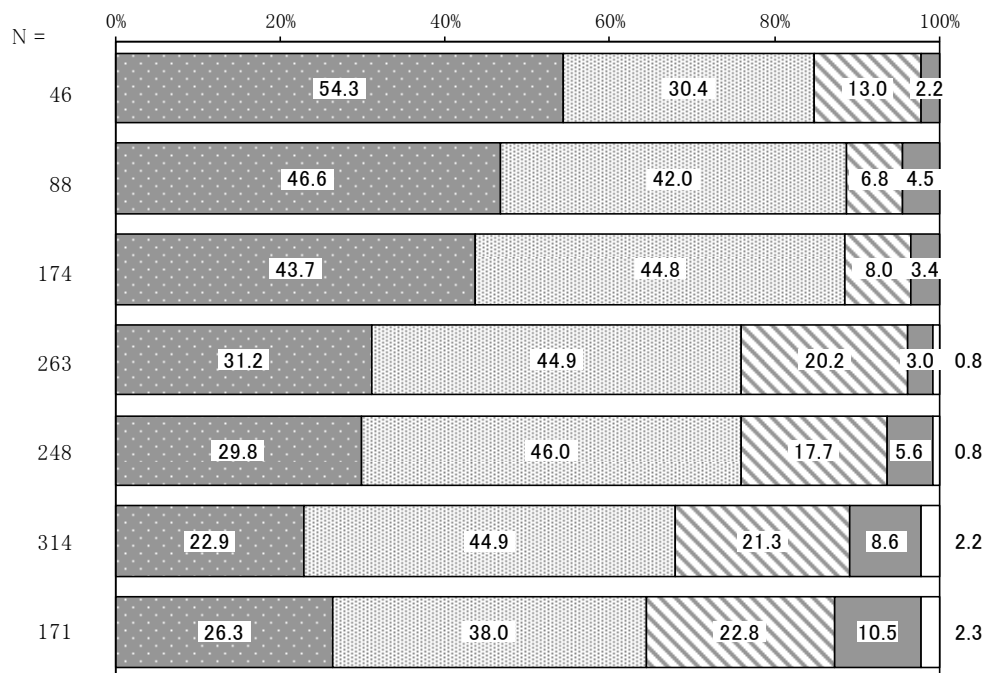
### 【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で“そう思う”の割合が高く、約8割となっています。



### 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が上がるにつれ“そう思う”の割合が低くなる傾向がみられます。



## (2) 人権全般関心項目

問2 次の人権問題で、あなたが関心のあるものは何ですか。また、あなたの身近にはどのような人権問題があると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

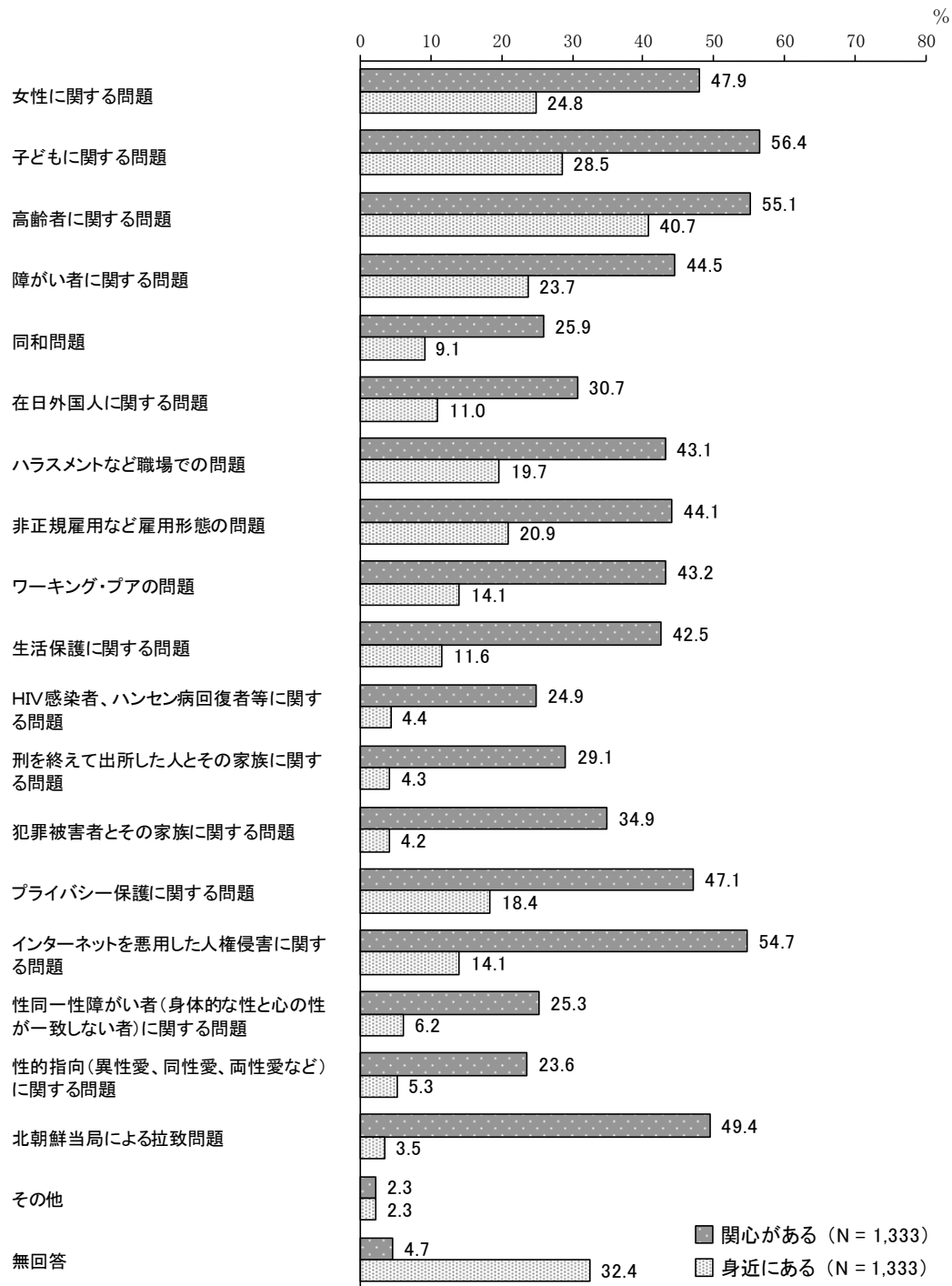
人権問題で関心があるものについては、「子どもに関する問題」の割合が56.4%と最も高く、次いで「高齢者に関する問題」の割合が55.1%、「インターネットを悪用した人権侵害に関する問題」の割合が54.7%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「生活保護に関する問題」「性同一性障がい者(身体的な性と心の性が一致しない者)に関する問題」を除くすべての項目で割合が増加しています。

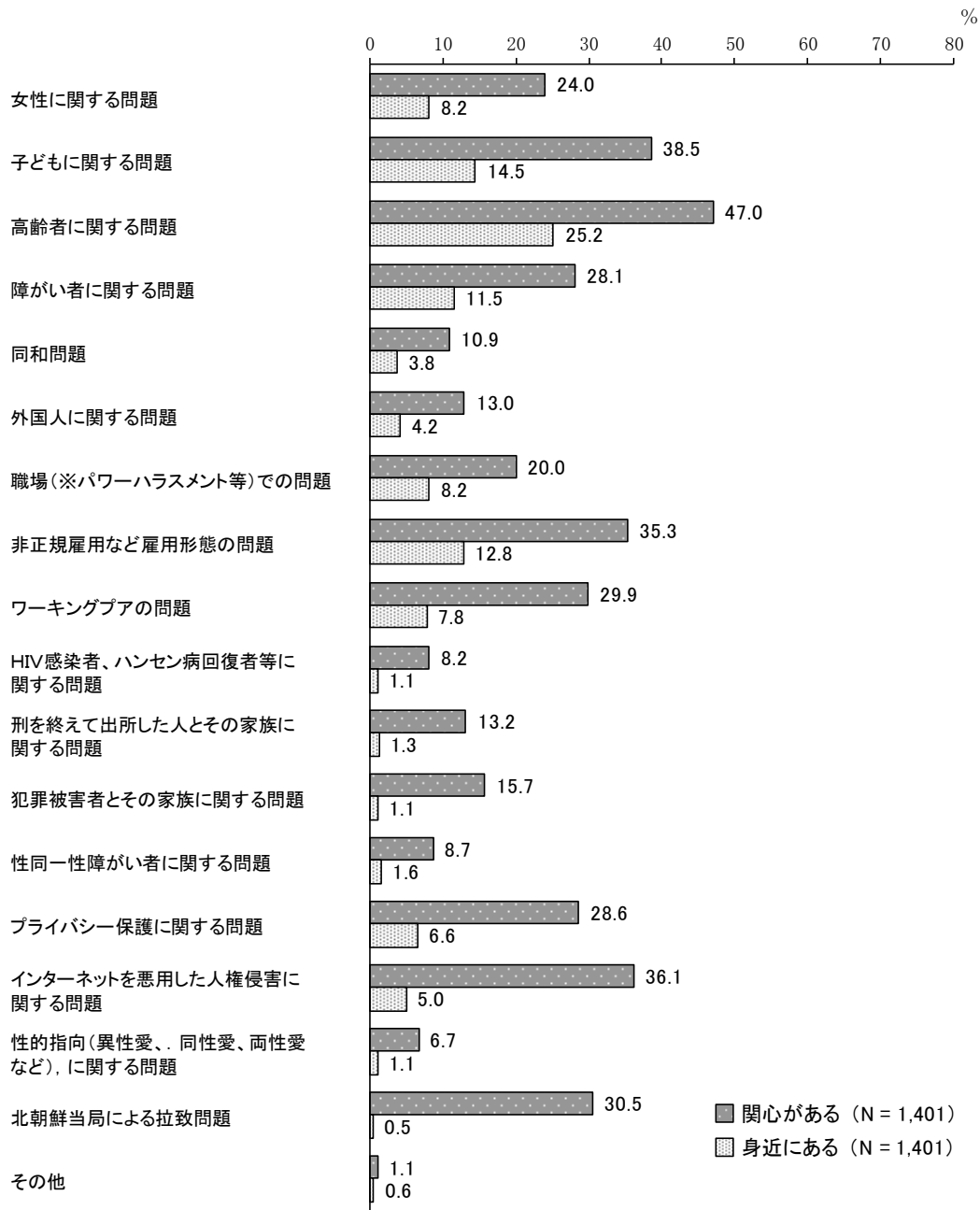
平成29年度内閣府人権擁護に関する世論調査(内閣府調査)と比較すると、「女性に関する問題」「子どもに関する問題」「高齢者に関する問題」「同和問題」「在日外国人に関する問題」「性同一性障がい者(身体的な性と心の性が一致しない者)に関する問題」「性的指向(異性愛、同性愛、両性愛など)に関する問題」「北朝鮮当局による拉致問題」の割合が高く、「障がい者に関する問題」の割合が低くなっています。

身近にあるものについては、「高齢者に関する問題」の割合が40.7%と最も高く、次いで「子どもに関する問題」の割合が28.5%、「女性に関する問題」の割合が24.8%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「女性に関する問題」「子どもに関する問題」「高齢者に関する問題」「障がい者に関する問題」「同和問題」「在日外国人に関する問題」「ハラスメントなど職場での問題」「非正規雇用など雇用形態の問題」「ワーキング・プアの問題」「プライバシー保護に関する問題」「インターネットを悪用した人権侵害に関する問題」の割合が増加しています。



【平成 25 年度調査】

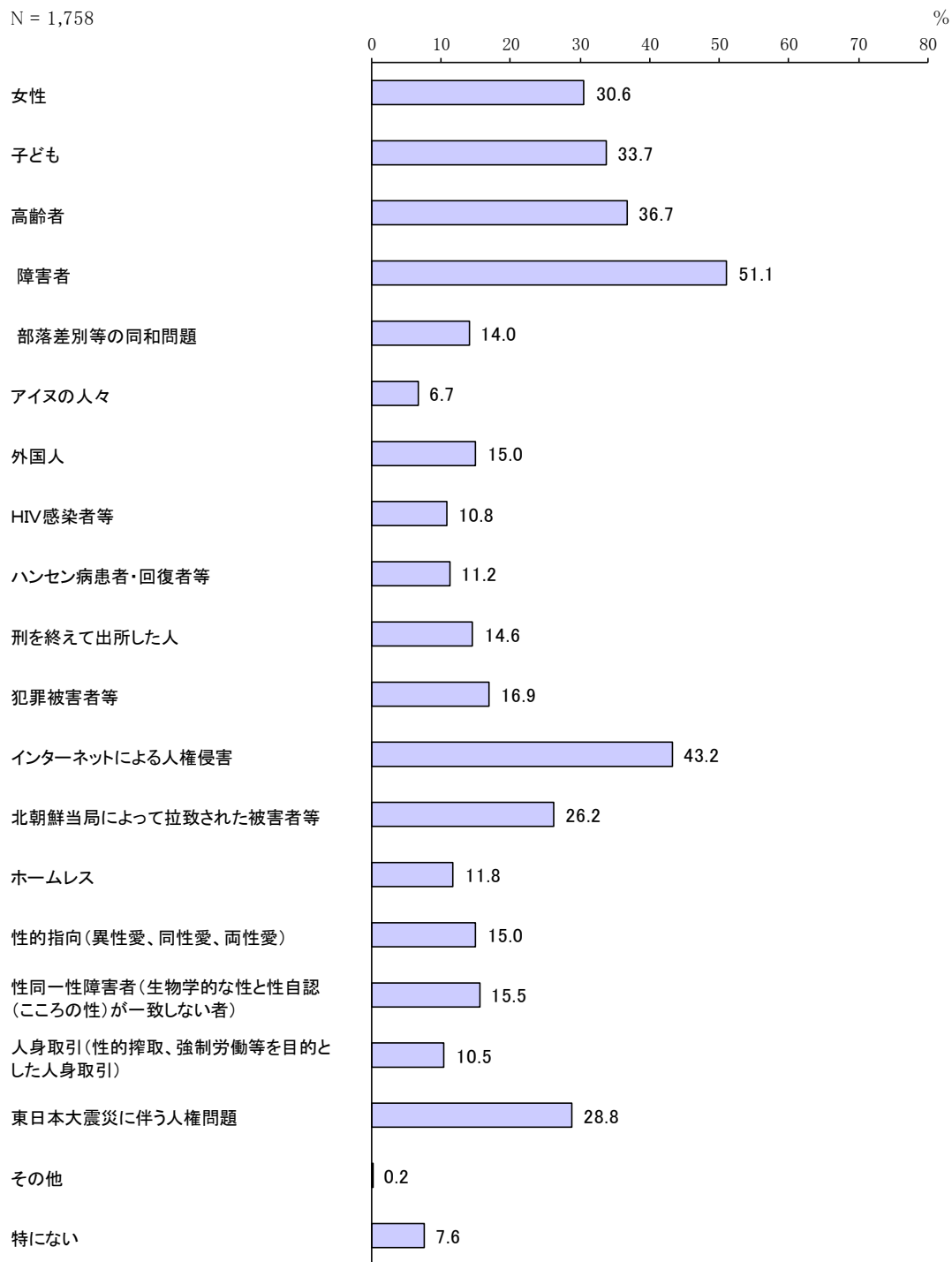




# ① 関心があるもの

## 【内閣府調査】

N = 1,758



【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「同和問題」「在日外国人に関する問題」の割合が、女性で「女性に関する問題」「子どもに関する問題」の割合が高くなっています。また、選択しないで「ワーキング・プアの問題」「性的指向（異性愛、同性愛、両性愛など）に関する問題」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	女性に関する問題	子どもに関する問題	高齢者に関する問題	障がい者に関する問題	同和問題	在日外国人に関する問題	ハラスメントなど職場での問題	非正規雇用など雇用形態の問題	ワーキング・プアの問題	生活保護に関する問題
男性	519	38.2	53.8	54.1	45.3	30.1	35.6	44.7	45.5	43.5	44.7
女性	765	54.4	59.0	55.9	43.3	22.5	27.2	41.6	43.3	42.5	40.7
選択しない	25	44.0	44.0	48.0	48.0	24.0	20.0	44.0	44.0	48.0	44.0

区分	HIV感染者、ハンセン病回復者等に関する問題	刑を終えて出所した人とその家族に関する問題	犯罪被害者とその家族に関する問題	プライバシー保護に関する問題	インターネットを悪用した人権侵害に関する問題	性同一性障がい者（身体的な性と心の性が一致しない者）に関する問題	性的指向（異性愛、同性愛、両性愛など）に関する問題	北朝鮮当局による拉致問題	その他	無回答
男性	26.4	30.3	37.2	47.8	56.3	23.7	22.9	49.9	2.9	5.0
女性	23.7	28.8	33.9	46.4	53.5	26.1	23.7	49.3	2.0	4.4
選択しない	16.0	20.0	20.0	48.0	56.0	24.0	28.0	48.0	—	4.0

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が上がるにつれ「高齢者に関する問題」の割合が高くなる傾向がみられ、70歳以上で約7割となっています。また、他に比べ、20～39歳で「女性に関する問題」「子どもに関する問題」の割合が、50～59歳で「インターネットを悪用した人権侵害に関する問題」の割合が、70歳以上で「同和問題」「北朝鮮当局による拉致問題」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	女性に関する問題	子どもに関する問題	高齢者に関する問題	障がい者に関する問題	同和問題	在日外国人に関する問題	問題 ハラスメントなど職場での	問題 非正規雇用など雇用形態の	ワーキング・プアの問題	生活保護に関する問題
16～19歳	46	32.6	39.1	28.3	26.1	13.0	32.6	32.6	32.6	21.7	13.0
20～29歳	88	56.8	64.8	44.3	39.8	30.7	42.0	53.4	48.9	47.7	43.2
30～39歳	174	54.0	66.1	52.9	44.8	24.7	25.9	48.9	43.1	44.8	36.2
40～49歳	263	49.8	61.6	55.9	46.0	22.4	26.6	44.5	41.4	43.7	40.7
50～59歳	248	41.5	48.4	53.6	41.9	27.0	30.2	46.0	46.4	43.1	45.6
60～69歳	314	46.2	54.5	57.6	44.9	22.9	29.9	35.4	42.4	43.0	43.6
70歳以上	171	49.7	56.7	67.3	51.5	35.1	36.3	40.9	49.1	43.3	50.9

区分	復者等に関する問題 HIV感染者、ハンセン病回	刑を終えて出所した人とその家族に関する問題	犯罪被害者とその家族に関する問題	プライバシー保護に関する問題	インターネットを悪用した人権侵害に関する問題	性同一性障がい者(身体的な性と心の性が一致しない者)に関する問題	性的指向(異性愛、同性愛、両性愛など)に関する問題	北朝鮮当局による拉致問題	その他	無回答
16～19歳	19.6	26.1	30.4	39.1	45.7	26.1	26.1	28.3	2.2	8.7
20～29歳	31.8	36.4	44.3	51.1	54.5	43.2	43.2	42.0	4.5	3.4
30～39歳	24.1	34.5	39.1	47.7	55.2	30.5	26.4	37.9	1.7	4.6
40～49歳	20.9	25.1	31.9	43.3	49.0	22.1	20.9	37.3	2.3	4.9
50～59歳	26.6	28.2	33.9	48.4	63.3	21.0	19.4	46.0	2.0	4.0
60～69歳	22.0	24.2	30.6	43.6	52.2	19.1	18.5	58.0	1.9	6.1
70歳以上	30.4	37.4	41.5	56.7	57.3	32.7	28.7	78.4	2.9	1.8

②身近にあるもの

【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「ハラスメントなど職場での問題」の割合が高くなっています。また、女性で「女性に関する問題」の割合が高く、約3割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	女性に関する問題	子どもに関する問題	高齢者に関する問題	障がい者に関する問題	同和問題	在日外国人に関する問題	ハラスメントなど職場での問題	非正規雇用など雇用形態の問題	ワーキング・プアの問題	生活保護に関する問題
男性	519	18.9	25.8	39.7	23.1	9.6	11.6	22.7	21.2	14.6	12.9
女性	765	28.8	30.5	41.3	24.2	8.6	10.3	17.4	20.8	13.6	11.0
選択しない	25	28.0	28.0	40.0	24.0	8.0	12.0	28.0	16.0	12.0	4.0

区分	HIV感染者、ハンセン病回復者等に関する問題	刑を終えて出所した人とその家族に関する問題	犯罪被害者とその家族に関する問題	プライバシー保護に関する問題	インターネットを悪用した人権侵害に関する問題	性同一性障がい者(身体的な性と心の性が一致しない者)に関する問題	性的指向(異性愛、同性愛、両性愛など)に関する問題	北朝鮮当局による拉致問題	その他	無回答
男性	4.4	4.0	3.5	18.7	13.7	6.4	5.2	3.9	2.9	34.1
女性	4.3	4.2	4.6	18.2	14.5	5.8	5.0	3.1	1.7	30.8
選択しない	4.0	4.0	4.0	24.0	20.0	12.0	16.0	—	4.0	40.0

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が下がるにつれ「インターネットを悪用した人権侵害に関する問題」の割合が高くなっており、16～19歳で約3割となっています。また、他に比べ、30～39歳で「女性に関する問題」「子どもに関する問題」「ハラスメントなど職場での問題」の割合が、16～19歳で「障がい者に関する問題」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	女性に関する問題	子どもに関する問題	高齢者に関する問題	障がい者に関する問題	同和問題	在日外国人に関する問題	ハラスメントなど職場での問題	非正規雇用など雇用形態の問題	ワーキング・プアの問題	生活保護に関する問題
16～19歳	46	28.3	37.0	43.5	45.7	6.5	19.6	13.0	15.2	15.2	17.4
20～29歳	88	29.5	25.0	35.2	25.0	10.2	11.4	22.7	27.3	21.6	12.5
30～39歳	174	39.1	44.3	42.5	24.7	13.2	10.9	28.7	26.4	20.7	10.9
40～49歳	263	33.5	40.7	44.9	25.5	6.8	13.3	24.3	26.2	16.7	9.5
50～59歳	248	23.8	26.2	45.2	25.0	4.8	5.6	21.8	19.4	13.7	11.7
60～69歳	314	15.0	17.5	39.2	18.8	11.1	12.4	14.6	18.2	9.6	11.8
70歳以上	171	14.0	16.4	31.0	19.9	10.5	9.4	9.9	11.7	7.0	12.3

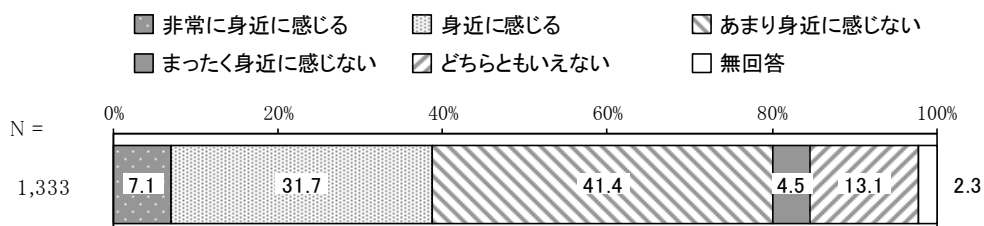
区分	HIV感染者、ハンセン病回復者等に関する問題	刑を終えて出所した人とその家族に関する問題	犯罪被害者とその家族に関する問題	プライバシー保護に関する問題	インターネットを悪用した人権侵害に関する問題	性同一性障がい者(身体的な性と心の性が一致しない者)に関する問題	性的指向(異性愛、同性愛、両性愛など)に関する問題	北朝鮮当局による拉致問題	その他	無回答
16～19歳	6.5	4.3	6.5	30.4	30.4	15.2	13.0	6.5	4.3	21.7
20～29歳	8.0	6.8	3.4	25.0	25.0	13.6	10.2	5.7	3.4	26.1
30～39歳	4.6	4.6	4.6	23.0	18.4	8.0	8.6	6.9	2.3	23.6
40～49歳	2.7	3.8	2.7	18.6	16.3	4.9	3.0	1.9	1.9	25.5
50～59歳	3.2	2.8	3.6	18.5	10.9	4.4	4.0	2.4	2.8	31.0
60～69歳	6.4	5.7	4.8	15.3	10.8	5.7	4.5	2.2	1.6	38.5
70歳以上	2.3	2.3	5.3	12.9	7.6	2.9	3.5	2.3	1.8	46.8

### (3) 人権全般（感じ方）

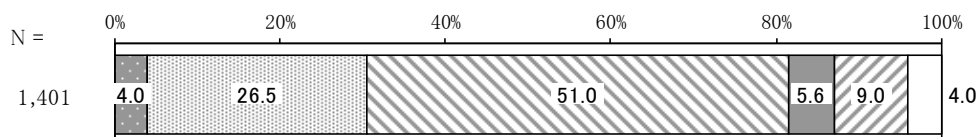
問3 あなたは、「人権」ということをどの程度身近に感じておられますか。  
 (いずれか1つに○)

人権についてどの程度身近に感じるかについては、「非常に身近に感じる」と「身近に感じる」をあわせた“身近に感じる”の割合が38.8%、「あまり身近に感じない」と「まったく身近に感じない」をあわせた“身近に感じない”の割合が45.9%となっています。

平成25年度調査と比較すると、“身近に感じる”の割合が増加しています。

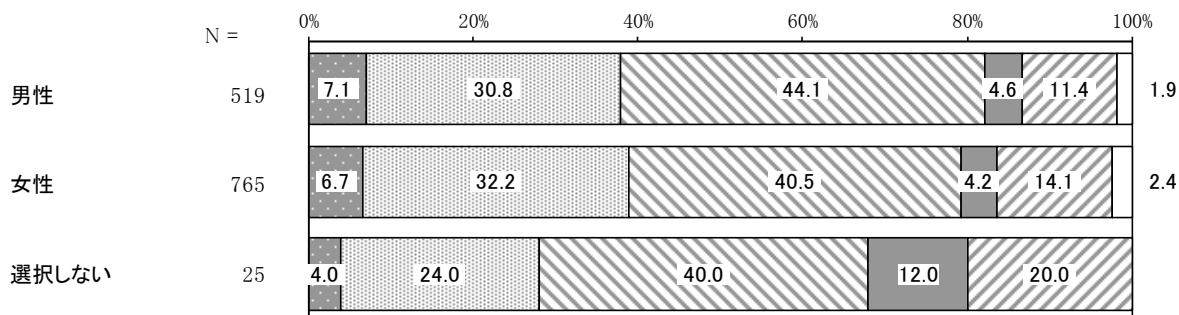


#### 【平成25年度調査】



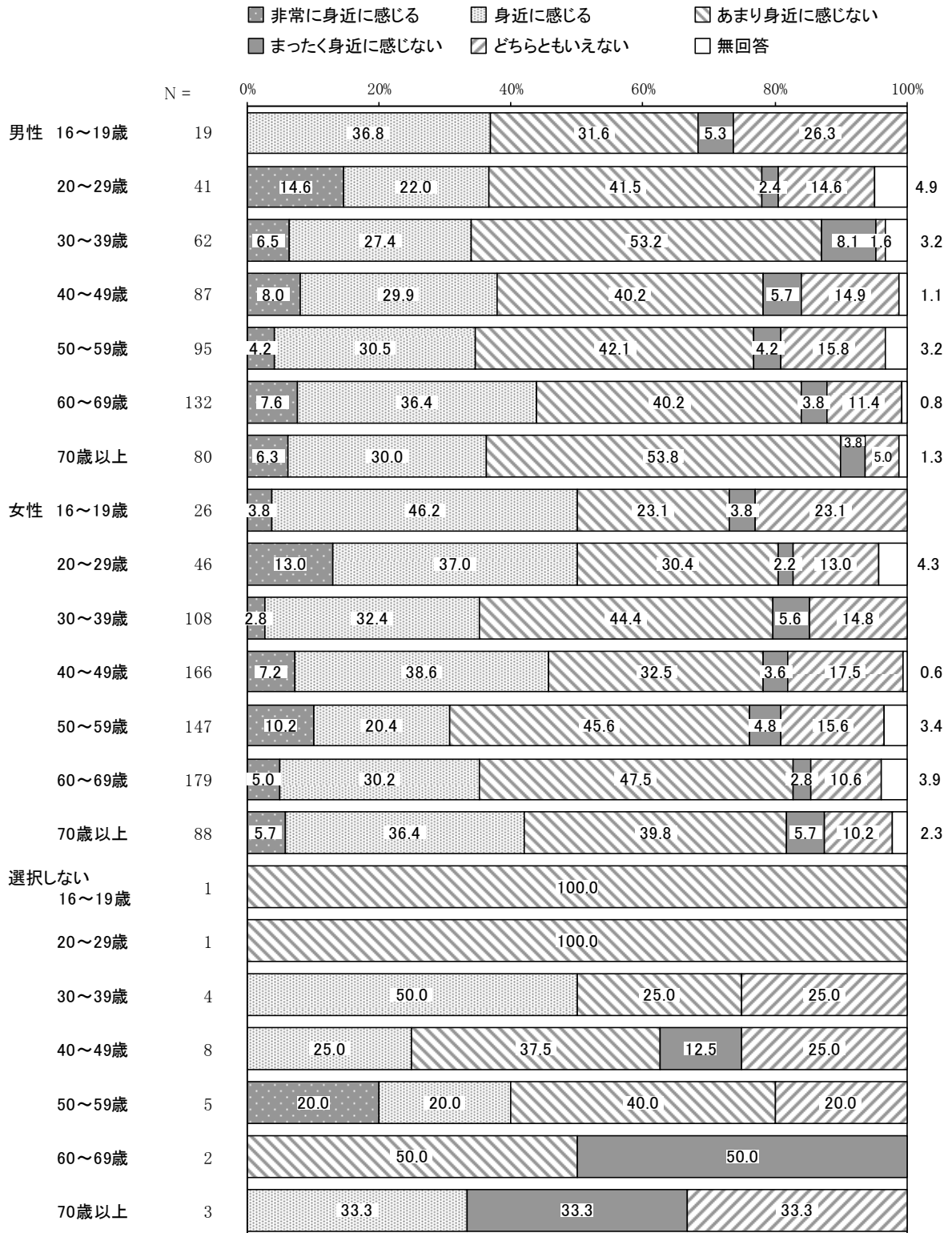
#### 【性別】

性別でみると、男性と女性で大きな差異はみられません。



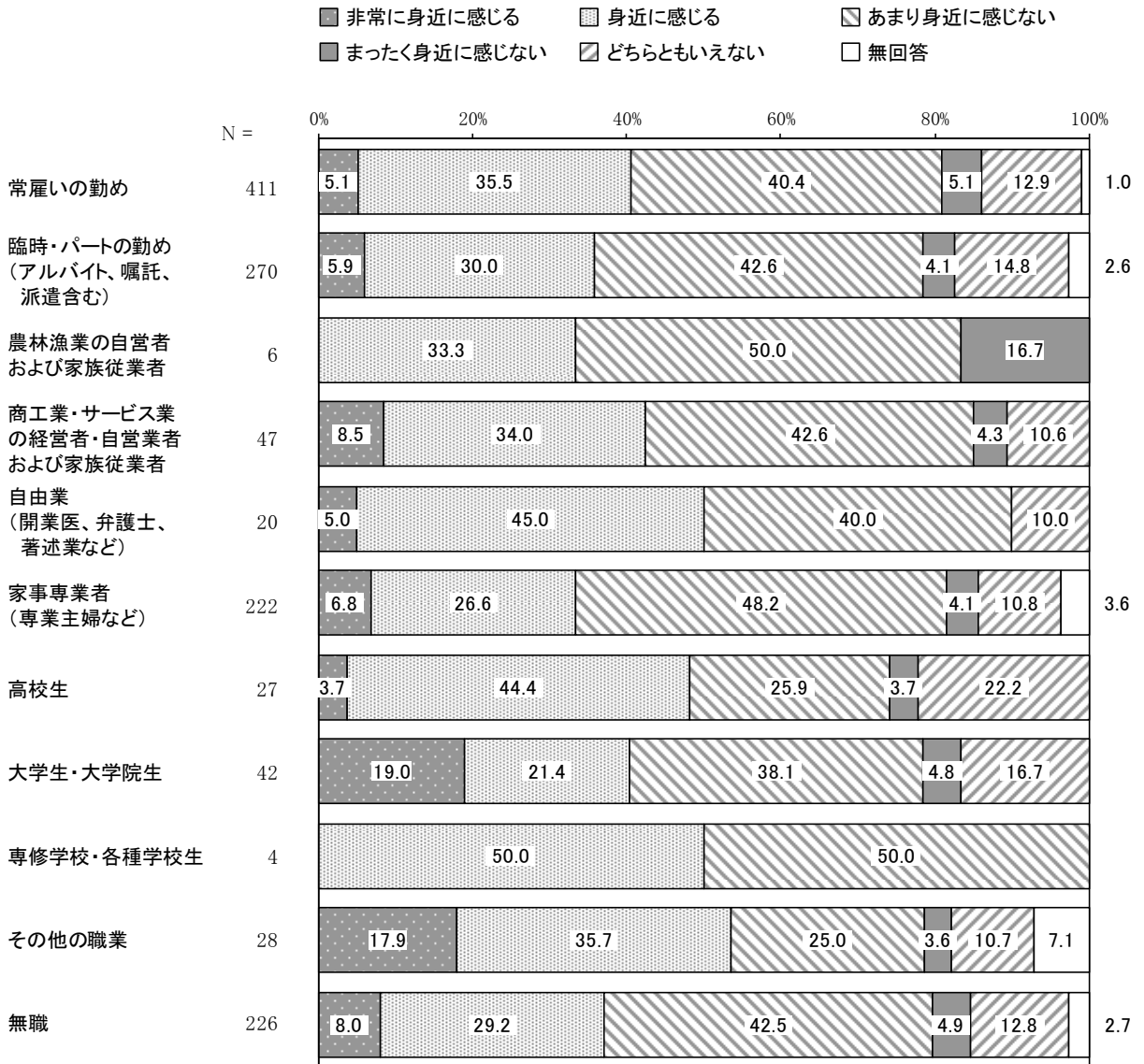
【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の16～29歳で“身近を感じる”の割合が高く、5割となっています。また、男性の30～39歳で“身近に感じない”の割合が高く、約6割となっています。



【職業別】

職業別でみると、他に比べ、自由業（開業医、弁護士、著述業など）、高校生で“身近に感じる”の割合が高く、約5割となっています。また、家事専業者（専業主婦など）、無職で“身近に感じない”の割合が高く、約5割となっています。



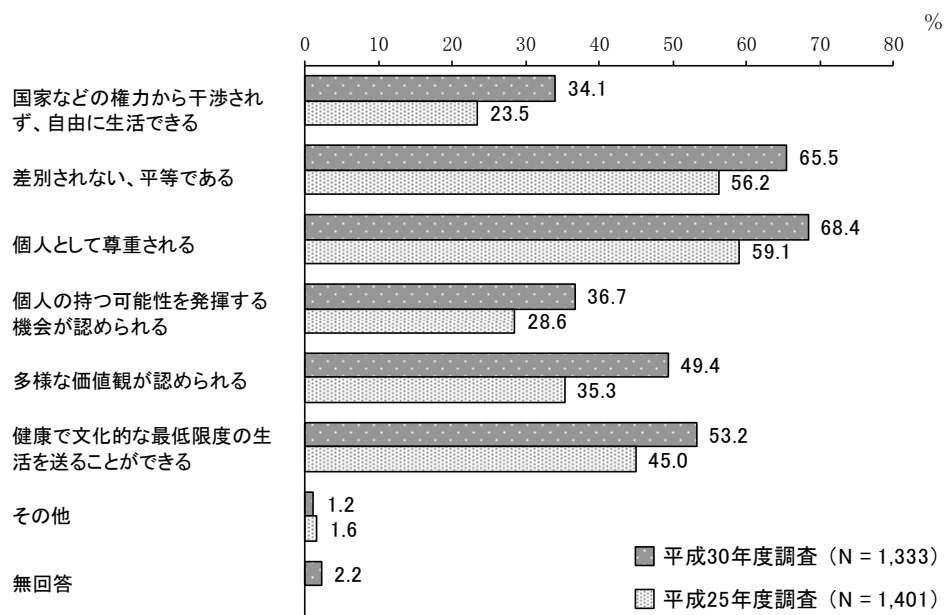


#### (4) 人権全般 (人権尊重の意味)

問4 「人権が尊重される」ということは、どういうことだと思いますか。  
(あてはまるものすべてに○)

人権が尊重されることについては、「個人として尊重される」の割合が68.4%と最も高く、次いで「差別されない、平等である」の割合が65.5%、「健康で文化的な最低限度の生活を送ることができる」の割合が53.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、すべての項目の割合が増加しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「個人の持つ可能性を発揮する機会が認められる」の割合が高く、約4割となっています。また、女性で「差別されない、平等である」「個人として尊重される」の割合が高く、約7割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	国家などの権力から干渉されず、自由に生活できる	差別されない、平等である	個人として尊重される	個人の持つ可能性を発揮する機会が認められる	多様な価値観が認められる	健康で文化的な最低限度の生活を送ることができる	その他	無回答
男性	519	37.4	62.4	65.7	40.5	48.7	50.7	2.3	1.9
女性	765	32.5	67.5	71.0	33.6	49.4	54.5	0.3	1.8
選択しない	25	24.0	64.0	56.0	44.0	52.0	68.0	4.0	8.0

【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、女性の16～19歳、30～39歳で「個人として尊重される」の割合が高く、約8割となっています。また、女性の20～49歳で「多様な価値観が認められる」の割合が、男性の20～29歳、50～59歳で「個人の持つ可能性を発揮する機会が認められる」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	国家などの権力から干渉されず、自由に生活できる	差別されない、平等である	個人として尊重される	個人の持つ可能性を発揮する機会が認められる	多様な価値観が認められる	健康で文化的な最低限度の生活を送ることができる	その他	無回答
男性 16～19歳	19	31.6	63.2	73.7	42.1	52.6	47.4	—	—
20～29歳	41	43.9	63.4	68.3	48.8	51.2	43.9	4.9	4.9
30～39歳	62	25.8	66.1	67.7	32.3	56.5	48.4	1.6	3.2
40～49歳	87	32.2	60.9	59.8	35.6	48.3	44.8	3.4	1.1
50～59歳	95	35.8	61.1	72.6	50.5	47.4	41.1	1.1	2.1
60～69歳	132	42.4	61.4	65.2	37.1	43.9	57.6	3.0	0.8
70歳以上	80	42.5	63.8	60.0	40.0	50.0	62.5	1.3	1.3
女性 16～19歳	26	34.6	57.7	80.8	26.9	34.6	30.8	—	—
20～29歳	46	30.4	60.9	73.9	39.1	58.7	54.3	—	2.2
30～39歳	108	22.2	75.0	77.8	36.1	62.0	45.4	—	0.9
40～49歳	166	33.1	70.5	75.3	36.7	57.8	56.0	0.6	0.6
50～59歳	147	33.3	63.9	70.7	32.0	44.9	51.0	—	1.4
60～69歳	179	35.2	65.9	65.4	31.3	44.1	62.0	0.6	3.9
70歳以上	88	38.6	69.3	62.5	31.8	36.4	61.4	—	1.1
選択しない 16～19歳	1	—	—	100.0	—	—	100.0	—	—
20～29歳	1	—	100.0	100.0	100.0	100.0	—	—	—
30～39歳	4	—	75.0	75.0	50.0	75.0	75.0	—	—
40～49歳	8	—	50.0	37.5	25.0	37.5	37.5	12.5	25.0
50～59歳	5	80.0	80.0	80.0	80.0	60.0	100.0	—	—
60～69歳	2	—	50.0	50.0	—	100.0	50.0	—	—
70歳以上	3	33.3	66.7	—	33.3	—	100.0	—	—

## (5) 自己的人権侵害の有無

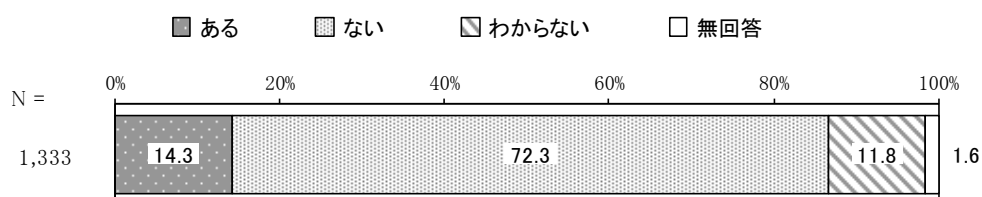
問5 あなたは、ここ5年ぐらいの間に、自己的人権が侵害されたと思われたことがありますか。(いずれか1つに○)

自分が人権侵害を受けた経験の有無、及びその内容については、自分が人権侵害を受けた経験が「ない」の割合が72.3%と最も高く、次いで「ある」の割合が14.3%、「わからない」の割合が11.8%となっています。

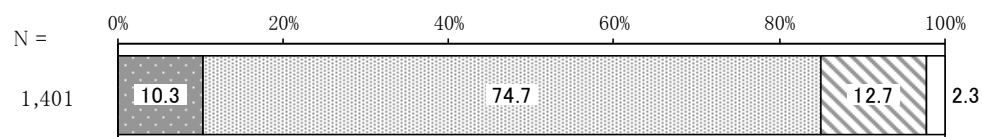
平成25年度調査、平成16年度調査と比較すると大きな変化はみられません。

奈良県調査との比較は、選択肢が異なるため参考とします。

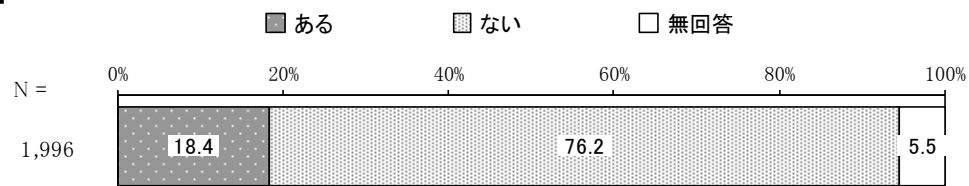
内閣府調査と比較すると、大きな差異はみられません。



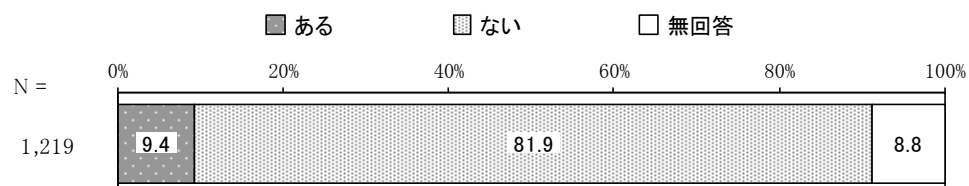
### 【平成25年度調査】



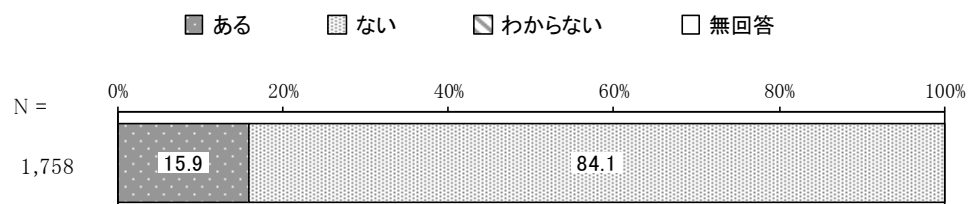
### 【平成16年度調査】



### 【奈良県調査】

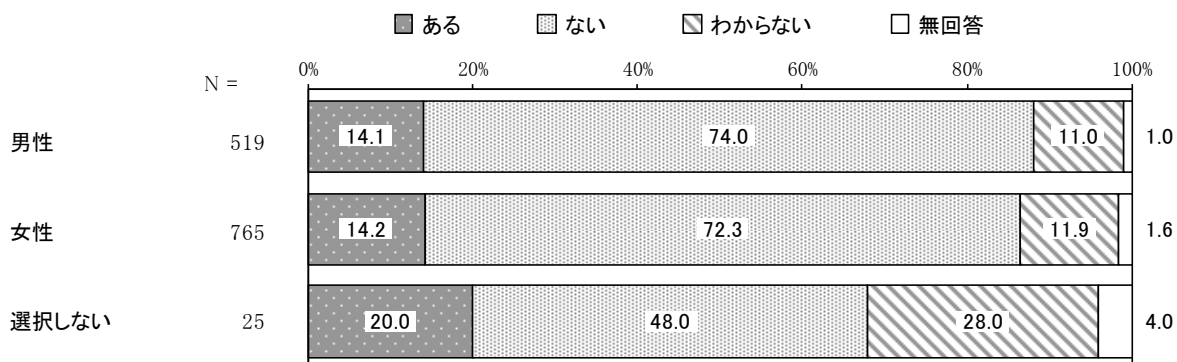


### 【内閣府調査】



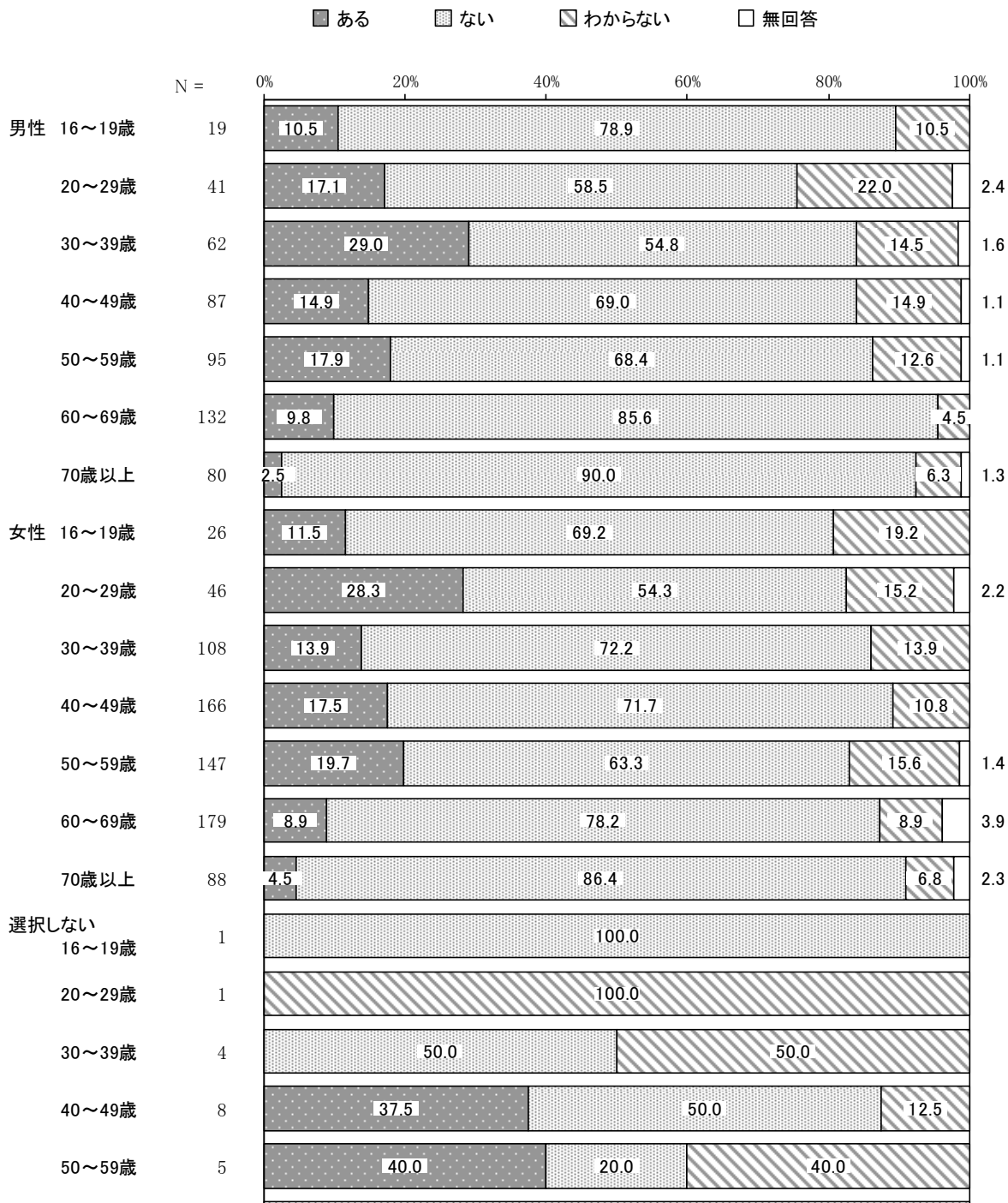
【性別】

性別でみると、男性と女性で大きな差異はみられません。



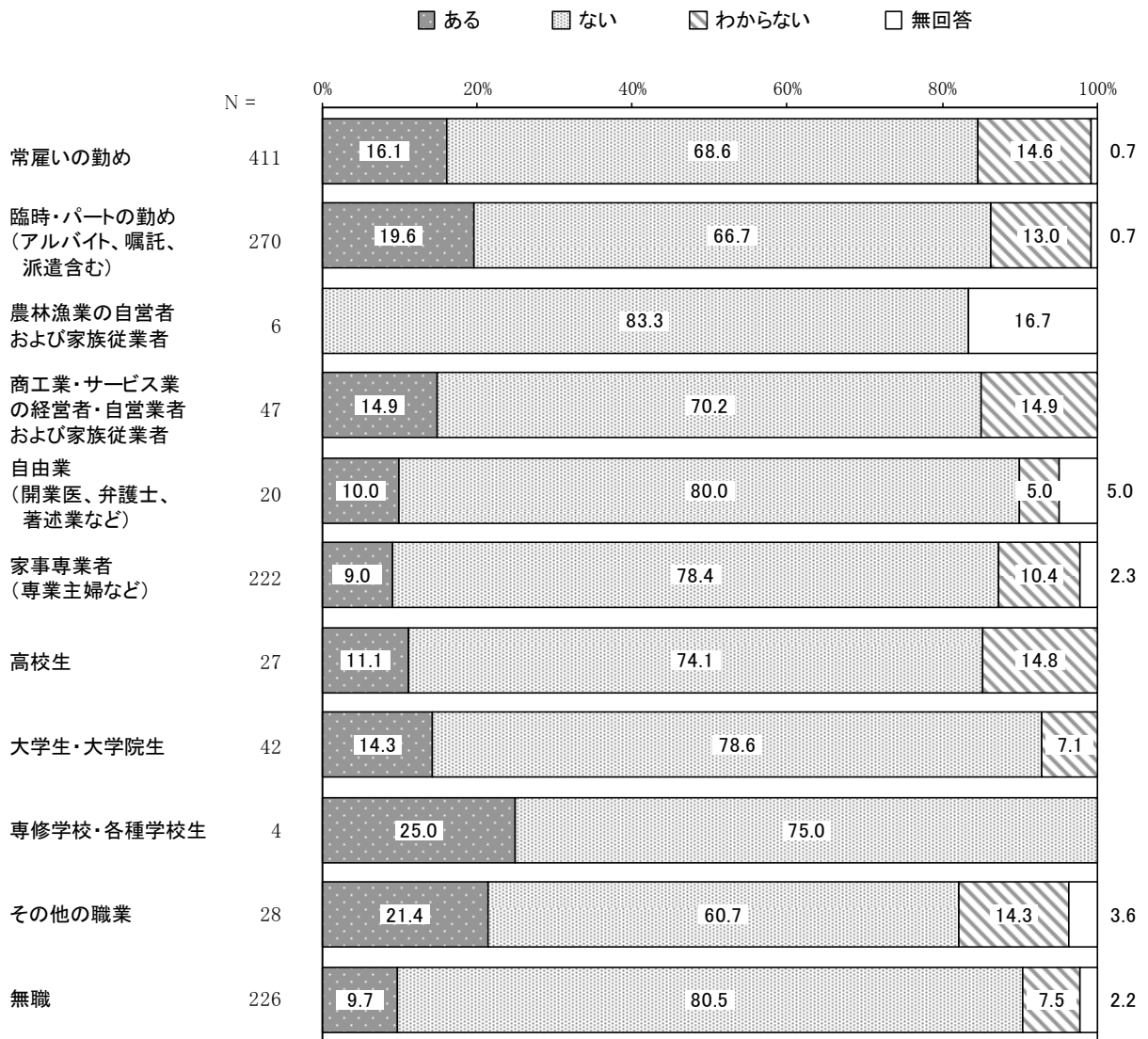
【性・年齢別】

性・年齢別でみると、男性の30～39歳、女性の20～29歳で「あり」の割合が高く、約3割となっています。



【職業別】

職業別でみると、他に比べ、臨時・パートの勤め（アルバイト、嘱託、派遣含む）で「ある」の割合が高く、約2割となっています。



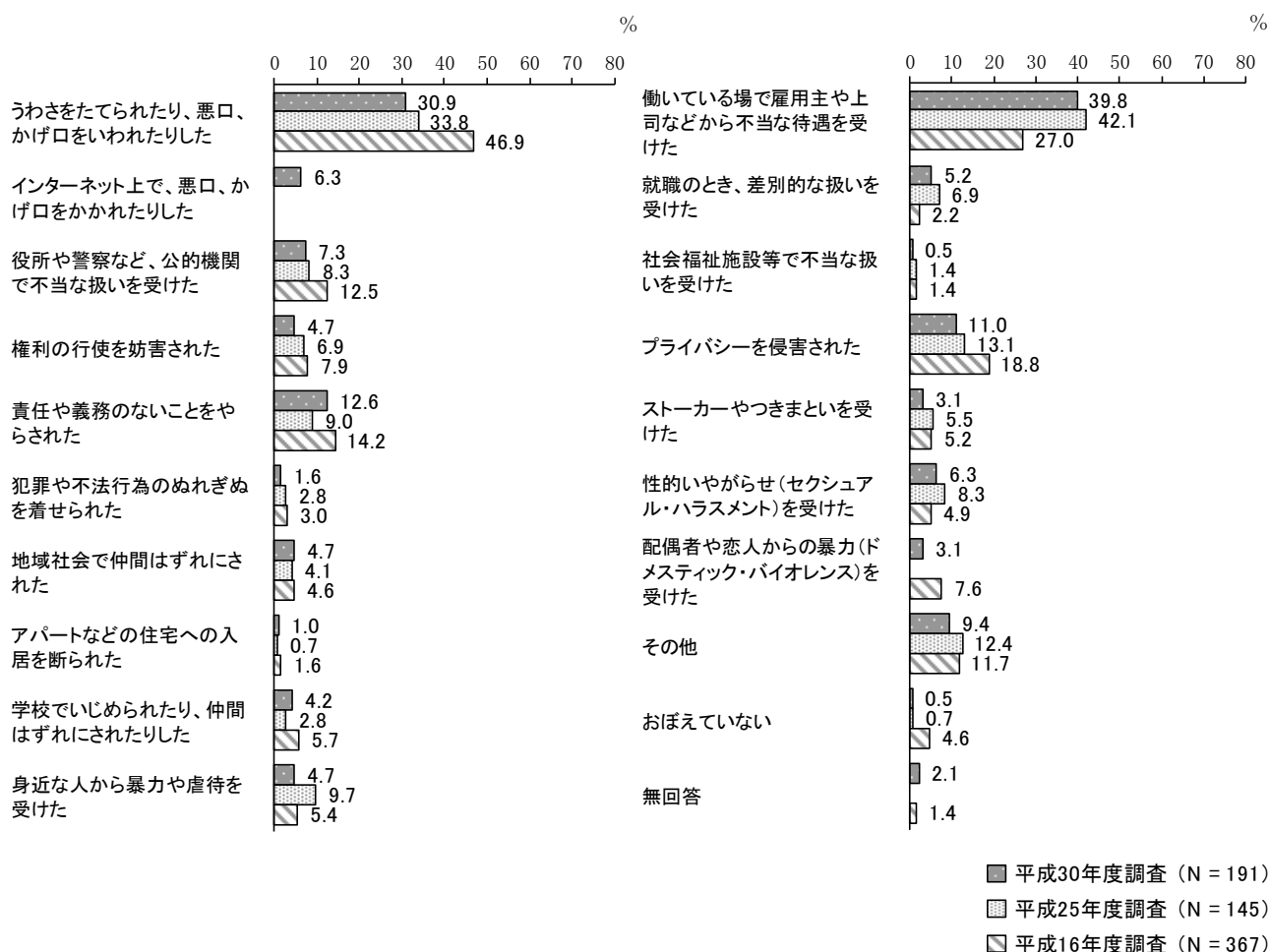
## (6) 人権侵害の内容

問5で「1 ある」と答えた方におうかがいします。

### 問6－(1) それほどのような内容でしたか。(〇はいくつでも)

人権侵害の内容については、「働いている場で雇用主や上司などから不当な待遇を受けた」の割合が39.8%と最も高く、次いで「うわさをたてられたり、悪口、かげ口をいわれたりした」の割合が30.9%、「責任や義務のないことをやらされた」の割合が12.6%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「身近な人から暴力や虐待を受けた」の割合が減少しています。また、平成16年度調査と比較すると、「働いている場で雇用主や上司などから不当な待遇を受けた」の割合が増加し、「うわさをたてられたり、悪口、かげ口をいわれたりした」「役所や警察など、公的機関で不当な扱いを受けた」「プライバシーを侵害された」が減少しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「うわさをたてられたり、悪口、かげ口をいわれたりした」「役所や警察など、公的機関で不当な扱いを受けた」「権利の行使を妨害された」「就職のとき、差別的な扱いを受けた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	うわさをたてられたり、悪口、かげ口をいわれたりした	インターネット上で、悪口、かげ口をかかれたりした	役所や警察など、公的機関で不当な扱いを受けた	権利の行使を妨害された	責任や義務のないことをやらされた	犯罪や不法行為のぬれぎぬを着せられた	地域社会で仲間はずれにされた	アパートなどの住宅への入居を断られた	学校でいじめられたり、仲間はずれにされたりした	身近な人から暴力や虐待を受けた
男性	73	34.2	8.2	11.0	9.6	15.1	4.1	5.5	1.4	5.5	2.7
女性	109	28.4	5.5	5.5	0.9	11.9	—	4.6	0.9	3.7	5.5
選択しない	5	20.0	—	—	20.0	—	—	—	—	—	20.0

区分	働いている場で雇用主や上司などから不当な待遇を受けた	就職のとき、差別的な扱いを受けた	社会福祉施設等で不当な扱いを受けた	プライバシーを侵害された	ストーカーやつきまといを受けた	性的いやがらせ(セクシュアル・ハラスメント)を受けた	配偶者や恋人からの暴力(ドメスティック・バイオレンス)を受けた	その他	おぼえていない	無回答
男性	41.1	9.6	—	9.6	1.4	4.1	1.4	8.2	—	—
女性	37.6	2.8	0.9	11.9	4.6	8.3	4.6	11.0	0.9	3.7
選択しない	40.0	—	—	20.0	—	—	—	—	—	—



【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、60～69歳で「うわさをたてられたり、悪口、かげ口をいわれたりした」の割合が高く、約4割となっています。また、20～39歳で「インターネット上で、悪口、かげ口をかかれたりした」の割合が、20～29歳で「性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	うわさをたてられたり、悪口、かげ口をいわれたりした	インターネット上で、悪口、かげ口をかかれたりした	役所や警察など、公的機関で不当な扱いを受けた	権利の行使を妨害された	責任や義務のないことをやらされた	犯罪や不法行為のぬれぎぬを着せられた	地域社会で仲間はずれにされた	アパートなどの住宅への入居を断られた	学校でいじめられたり、仲間はずれにされたりした	身近な人から暴力や虐待を受けた
16～19歳	5	60.0	40.0	—	—	20.0	20.0	—	—	60.0	—
20～29歳	20	20.0	10.0	5.0	10.0	15.0	—	—	—	—	10.0
30～39歳	33	33.3	12.1	9.1	9.1	15.2	6.1	6.1	—	3.0	6.1
40～49歳	45	33.3	4.4	13.3	2.2	13.3	—	2.2	—	4.4	2.2
50～59歳	48	20.8	4.2	6.3	2.1	8.3	—	8.3	2.1	2.1	6.3
60～69歳	29	37.9	—	—	3.4	17.2	—	6.9	3.4	—	—
70歳以上	6	50.0	—	—	—	—	—	—	—	16.7	16.7

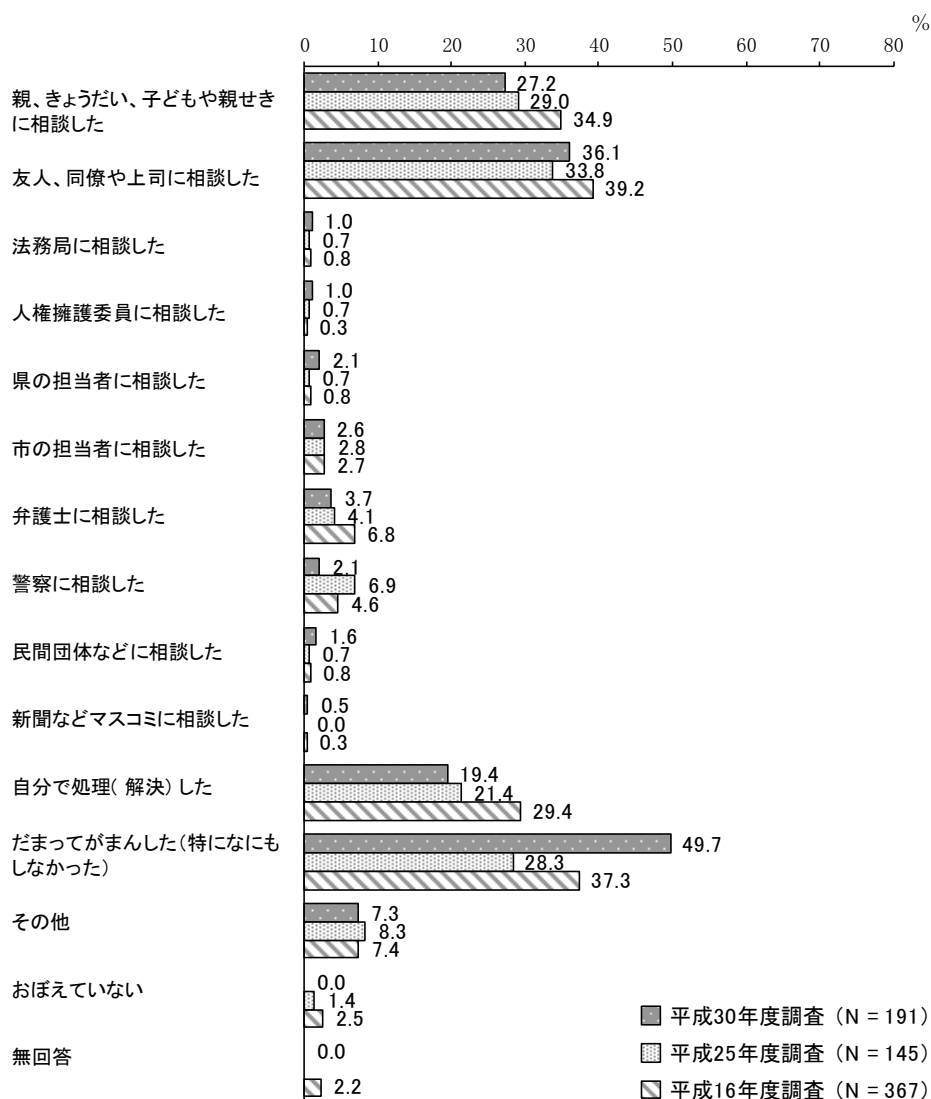
区分	働いている場で雇用主や上司などから不当な待遇を受けた	就職のとき、差別的な扱いを受けた	社会福祉施設等で不当な扱いを受けた	プライバシーを侵害された	ストーカーやつきまといを受けた	性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）を受けた	配偶者や恋人からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）を受けた	その他	おぼえていない	無回答
16～19歳	—	—	—	40.0	—	—	—	20.0	—	—
20～29歳	45.0	10.0	—	5.0	—	15.0	5.0	15.0	—	10.0
30～39歳	42.4	12.1	—	12.1	6.1	9.1	6.1	9.1	—	—
40～49歳	46.7	2.2	—	13.3	2.2	4.4	—	11.1	2.2	—
50～59歳	41.7	—	2.1	6.3	6.3	6.3	4.2	2.1	—	4.2
60～69歳	27.6	3.4	—	10.3	—	3.4	—	13.8	—	—
70歳以上	—	16.7	—	33.3	—	—	16.7	16.7	—	—

## (7) 対処方法

### 問6－(2) そのとき、どうされましたか。(〇はいくつでも)

人権侵害を受けたときの対応については、「だまっていた(特になにもしなかった)」の割合が49.7%と最も高く、次いで「友人、同僚や上司に相談した」の割合が36.1%、「親、きょうだい、子どもや親せきに相談した」の割合が27.2%となっています。

平成16年度調査、平成25年度調査と比較すると、「だまっていた(特になにもしなかった)」が増加している。また、平成16年度調査と比較すると、「親、きょうだい、子どもや親せきに相談した」「自分で処理(解決)した」の割合が減少しています。



【性別】

性別で見ると、他に比べ、男性で「自分で処理(解決)した」「だまっがまんした(特になにもしなかった)」の割合が高くなっています。また、女性で「親、きょうだい、子どもや親せきに相談した」「友人、同僚や上司に相談した」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	親、きょうだい、子どもや親せきに相談した	友人、同僚や上司に相談した	法務局に相談した	人権擁護委員に相談した	県の担当者に相談した	市の担当者に相談した	弁護士に相談した
男性	73	12.3	20.5	2.7	2.7	1.4	4.1	4.1
女性	109	38.5	45.9	—	—	1.8	1.8	3.7
選択しない	5	—	60.0	—	—	—	—	—

区分	警察に相談した	民間団体などに相談した	新聞などマスコミに相談した	自分で処理(解決)した	だまっがまんした(特になにもしなかった)	その他	おぼえていない	無回答
男性	2.7	1.4	1.4	24.7	57.5	6.8	—	—
女性	1.8	1.8	—	12.8	45.9	8.3	—	—
選択しない	—	—	—	40.0	20.0	—	—	—

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60～69歳で「だまっがまんした（特になにもしなかった）」の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、20～29歳で「親、きょうだい、子どもや親せきに相談した」「友人、同僚や上司に相談した」の割合が高く、4割台半ばとなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	親、きょうだい、子どもや親せきに相談した	友人、同僚や上司に相談した	法務局に相談した	人権擁護委員に相談した	県の担当者に相談した	市の担当者に相談した	弁護士に相談した
16～19歳	5	40.0	40.0	—	—	—	—	—
20～29歳	20	45.0	45.0	—	—	—	5.0	—
30～39歳	33	33.3	39.4	3.0	—	—	6.1	3.0
40～49歳	45	33.3	40.0	—	—	—	2.2	4.4
50～59歳	48	14.6	37.5	—	—	4.2	—	2.1
60～69歳	29	20.7	24.1	3.4	3.4	3.4	3.4	6.9
70歳以上	6	16.7	—	—	—	—	—	—

区分	警察に相談した	民間団体などに相談した	新聞などマスコミに相談した	自分で処理（解決）した	だまっがまんした（特になにもしなかった）	その他	おぼえていない	無回答
16～19歳	—	—	—	20.0	60.0	20.0	—	—
20～29歳	—	—	—	10.0	35.0	—	—	—
30～39歳	3.0	—	—	15.2	51.5	—	—	—
40～49歳	4.4	—	—	20.0	48.9	6.7	—	—
50～59歳	—	4.2	—	22.9	47.9	10.4	—	—
60～69歳	—	—	—	20.7	55.2	17.2	—	—
70歳以上	16.7	—	—	—	83.3	—	—	—

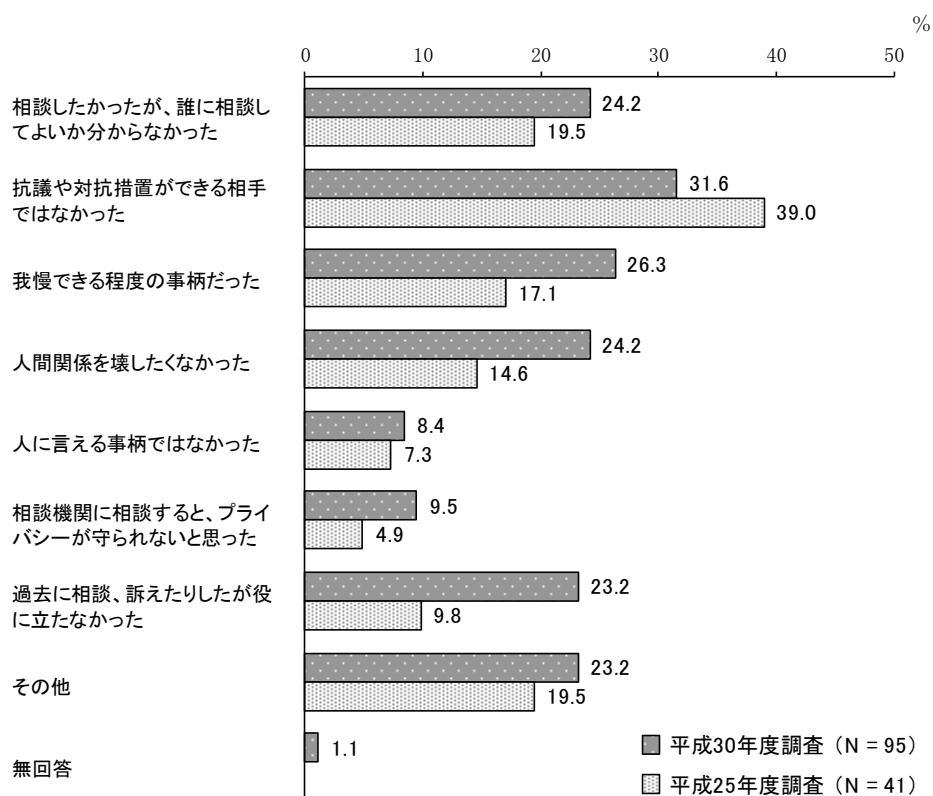
## (8) 対処しなかった理由

問6-(2)で「12 だまっただまんした(特になにもしなかった)」と答えられた方におたずねします。

### 問6-(3) その理由はなぜですか。(あてはまるものすべてに○)

人権侵害を受けながらも黙って我慢した理由としては、「抗議や対抗措置ができる相手ではなかった」の割合が31.6%と最も高く、次いで「我慢できる程度の事柄だった」の割合が26.3%、「相談したかったが、誰に相談してよいか分からなかった」「人間関係を壊したくなかった」の割合が24.2%となっています。

平成25年度調査と比較すると、「我慢できる程度の事柄だった」「人間関係を壊したくなかった」「過去に相談、訴えたりしたが役に立たなかった」の割合が増加し、「抗議や対抗措置ができる相手ではなかった」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「抗議や対抗措置ができる相手ではなかった」「人に言える事柄ではなかった」「過去に相談、訴えたりしたが役に立たなかった」の割合が高くなっています。また、女性で「人間関係を壊したくなかった」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	相談したかったが、誰に相談してよいか分からなかった	抗議や対抗措置ができる相手ではなかった	我慢できる程度の事柄だった	人間関係を壊したくなかった	人に言える事柄ではなかった	相談機関に相談すると、プライバシーが守られないと思った	過去に相談、訴えたりしたが役に立たなかった	その他	無回答
男性	42	26.2	42.9	26.2	14.3	11.9	9.5	28.6	26.2	2.4
女性	50	22.0	22.0	28.0	32.0	6.0	10.0	18.0	20.0	—
選択しない	1	—	100.0	—	—	—	—	—	—	—

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、60～69歳で「我慢できる程度の事柄だった」の割合が高く、約4割となっています。また、40～49歳で「相談したかったが、誰に相談してよいか分からなかった」の割合が、30～39歳で「相談機関に相談すると、プライバシーが守られないと思った」の割合が高くなっています。

単位：%

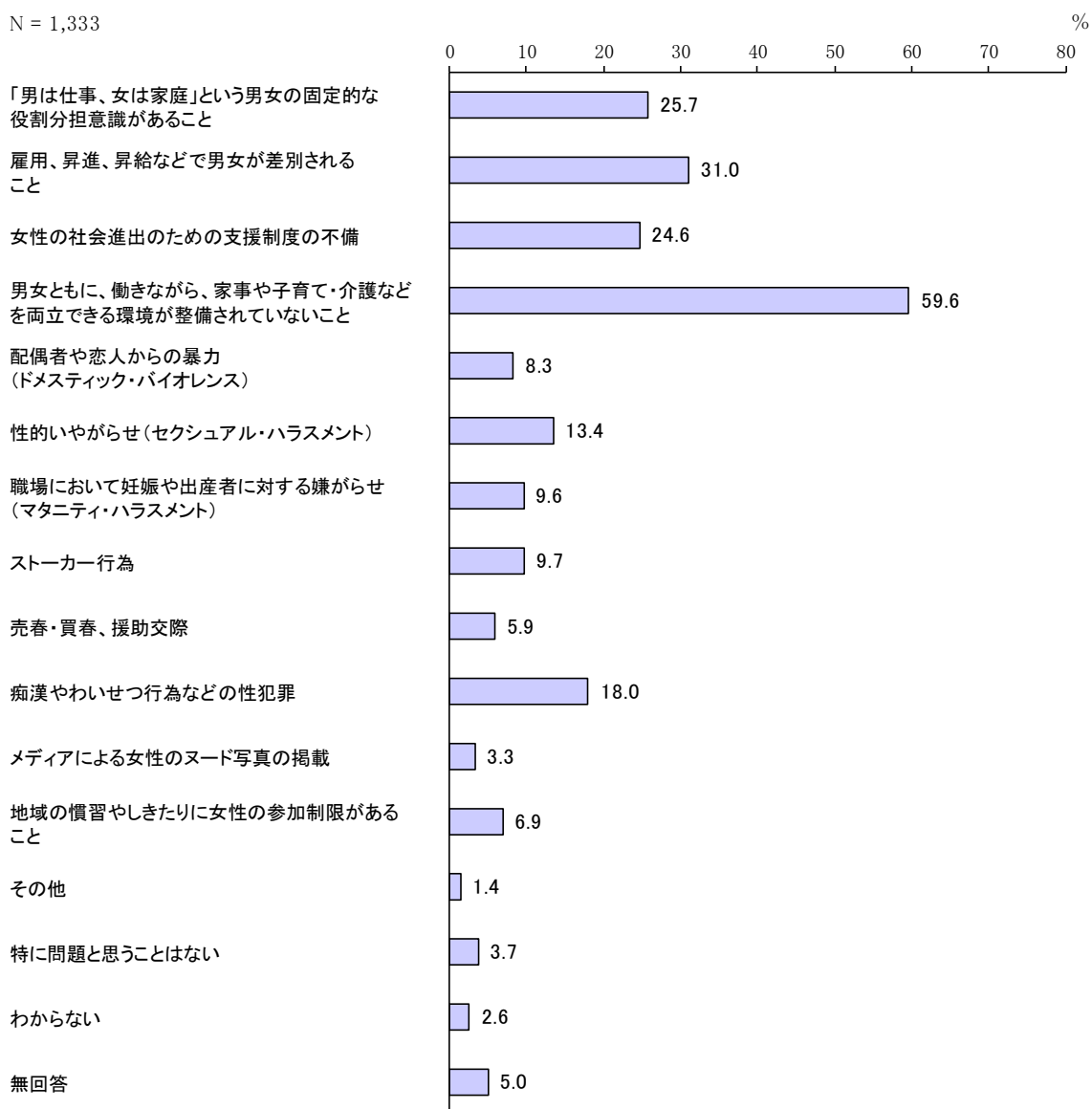
区分	有効回答数(件)	相談したかったが、誰に相談してよいか分からなかった	抗議や対抗措置ができる相手ではなかった	我慢できる程度の事柄だった	人間関係を壊したくなかった	人に言える事柄ではなかった	相談機関に相談すると、プライバシーが守られないと思った	過去に相談、訴えたりしたが役に立たなかった	その他	無回答
16～19歳	3	33.3	—	33.3	33.3	33.3	33.3	—	33.3	—
20～29歳	7	14.3	42.9	42.9	14.3	—	—	—	28.6	—
30～39歳	17	29.4	29.4	23.5	11.8	17.6	29.4	29.4	29.4	5.9
40～49歳	22	36.4	40.9	13.6	27.3	4.5	4.5	31.8	22.7	—
50～59歳	23	21.7	26.1	26.1	34.8	8.7	4.3	13.0	21.7	—
60～69歳	16	—	43.8	43.8	6.3	6.3	—	31.3	6.3	—
70歳以上	5	40.0	—	20.0	60.0	—	20.0	20.0	40.0	—

### 3 主な人権課題について

#### (1) 女性に関する人権問題

問7 あなたは、女性に関する人権問題について、現時点で特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

女性に関する人権問題については、「男女ともに、働きながら、家事や子育て・介護などを両立できる環境が整備されていないこと」の割合が59.6%と最も高く、次いで「雇用、昇進、昇給などで男女が差別されること」の割合が31.0%、「男は仕事、女は家庭」という男女の固定的な役割分担意識があること」の割合が25.7%となっています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）」「ストーカー行為」の割合が高くなっています。また、女性で「男女ともに、働きながら、家事や子育て・介護などを両立できる環境が整備されていないこと」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	「男は仕事、女は家庭」という男女の固定的な役割分担意識があること	雇用、昇進、昇給などで男女が差別されること	女性の社会進出のための支援制度の不備	男女ともに、働きながら、家事や子育て・介護などを両立できる環境が整備されていないこと	配偶者や恋人からの暴力（ドメスティック・バイオレンス）	性的いやがらせ（セクシュアル・ハラスメント）	職場において妊娠や出産者に対する嫌がらせ（マタニティ・ハラスメント）	ストーカー行為
男性	519	26.0	29.9	23.3	53.2	8.7	16.6	10.4	13.1
女性	765	25.9	32.0	25.8	64.3	7.8	11.2	9.2	7.7
選択しない	25	20.0	28.0	16.0	48.0	8.0	16.0	12.0	4.0

区分	売春・買春、援助交際	痴漢やわいせつ行為などの性犯罪	メディアによる女性のヌード写真の掲載	地域の慣習やしきたりに女性の参加制限があること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	7.1	16.6	2.5	9.6	2.1	3.3	2.9	4.0
女性	4.6	18.2	3.5	5.1	1.0	3.9	2.4	5.5
選択しない	8.0	36.0	4.0	8.0	—	8.0	4.0	4.0



【性・年齢別】

性・年齢別でみると、他に比べ、女性の30～39歳で「男女ともに、働きながら、家事や子育て・介護などを両立できる環境が整備されていないこと」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、男性の16～19歳で「男は仕事、女は家庭」という男女の固定的な役割分担意識があること」の割合が、女性の16～19歳で「雇用、昇進、昇給などで男女が差別されること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	「男は仕事、女は家庭」という男女の固定的な役割分担意識があること	雇用、昇進、昇給などで男女が差別されること	女性の社会進出のための支援制度の不備	男女ともに、働きながら、家事や子育て・介護などを両立できる環境が整備されていないこと	配偶者や恋人からの暴力(ドメスティック・バイオレンス)	性的いやがらせ(セクシュアル・ハラスメント)	職場において妊娠や出産者に対する嫌がらせ(マタニティ・ハラスメント)	ストーカー行為
男性 16～19歳	19	47.4	26.3	—	21.1	5.3	26.3	5.3	10.5
20～29歳	41	29.3	22.0	29.3	51.2	9.8	14.6	12.2	17.1
30～39歳	62	32.3	14.5	21.0	48.4	11.3	16.1	22.6	14.5
40～49歳	87	27.6	20.7	20.7	51.7	11.5	17.2	11.5	11.5
50～59歳	95	27.4	25.3	25.3	56.8	14.7	18.9	6.3	21.1
60～69歳	132	18.9	43.9	28.8	61.4	1.5	18.2	6.8	10.6
70歳以上	80	22.5	40.0	17.5	50.0	7.5	10.0	10.0	7.5
女性 16～19歳	26	26.9	46.2	11.5	57.7	7.7	11.5	11.5	19.2
20～29歳	46	30.4	30.4	32.6	63.0	4.3	15.2	15.2	19.6
30～39歳	108	24.1	28.7	33.3	74.1	3.7	13.9	15.7	7.4
40～49歳	166	23.5	29.5	19.9	62.0	11.4	16.9	9.6	7.8
50～59歳	147	21.1	33.3	27.9	64.6	6.8	9.5	11.6	7.5
60～69歳	179	29.6	31.8	26.3	64.8	6.7	5.6	3.4	4.5
70歳以上	88	30.7	35.2	23.9	60.2	10.2	9.1	4.5	4.5
選択しない									
16～19歳	1	—	—	—	100.0	—	—	—	—
20～29歳	1	—	—	—	—	—	—	—	—
30～39歳	4	25.0	25.0	50.0	75.0	25.0	25.0	—	—
40～49歳	8	12.5	37.5	12.5	37.5	—	25.0	25.0	—
50～59歳	5	20.0	40.0	20.0	60.0	20.0	—	20.0	20.0
60～69歳	2	50.0	50.0	—	—	—	—	—	—
70歳以上	3	—	—	—	33.3	—	—	—	—

【性・年齢別】（つづき）

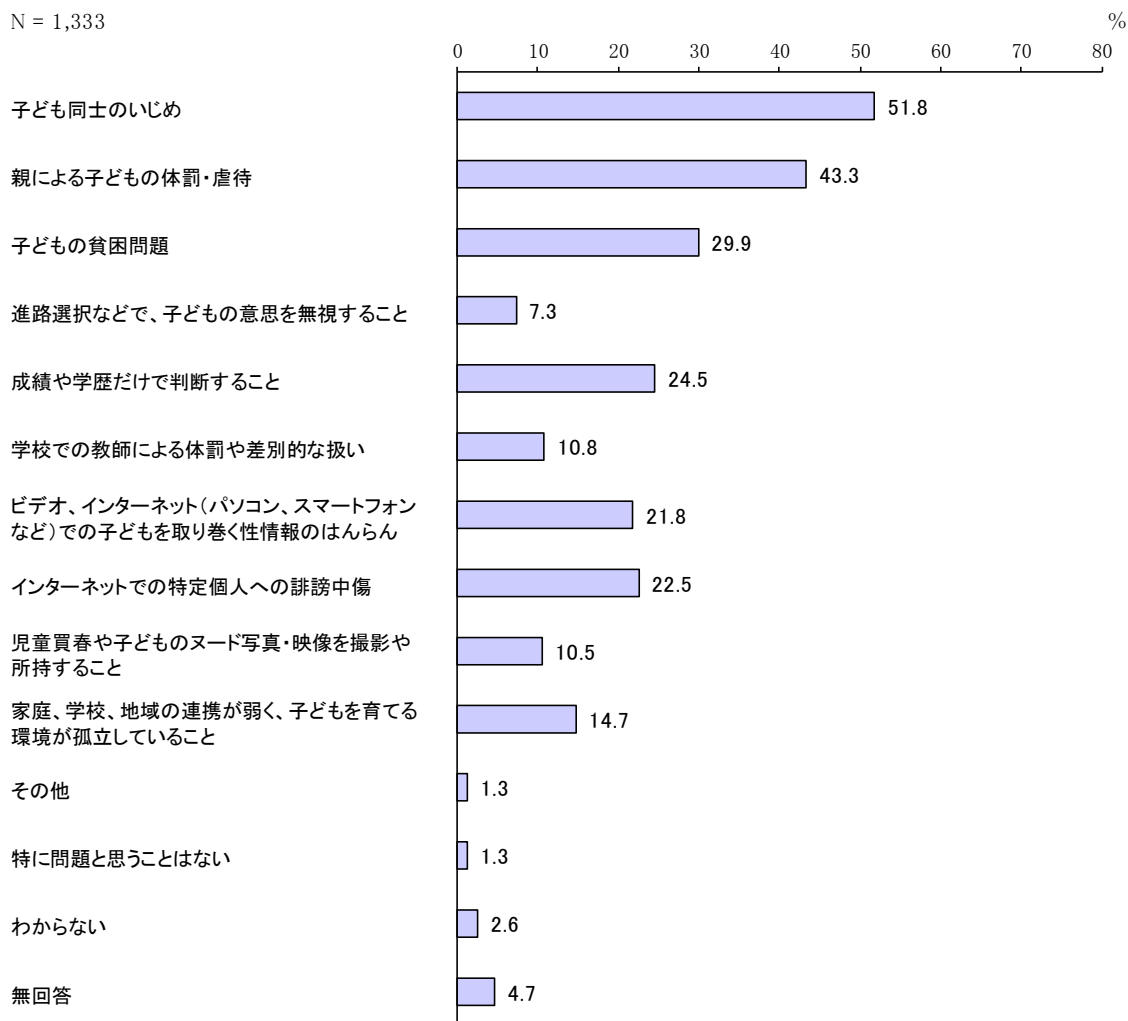
単位：％

区分	売春・買春、援助交際	痴漢やわいせつ行為などの 性犯罪	メディアによる女性の ヌード写真の掲載	地域の慣習やしきたりに女性の 参加制限があること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性 16～19 歳	15.8	15.8	—	15.8	—	5.3	5.3	10.5
20～29 歳	14.6	22.0	2.4	7.3	2.4	2.4	4.9	2.4
30～39 歳	8.1	14.5	6.5	4.8	6.5	—	4.8	6.5
40～49 歳	—	23.0	—	9.2	2.3	2.3	3.4	4.6
50～59 歳	8.4	16.8	4.2	11.6	1.1	1.1	2.1	—
60～69 歳	6.1	10.6	2.3	10.6	1.5	3.8	2.3	2.3
70 歳以上	7.5	17.5	1.3	10.0	1.3	8.8	1.3	8.8
女性 16～19 歳	3.8	23.1	—	11.5	—	—	11.5	—
20～29 歳	—	17.4	2.2	4.3	—	2.2	6.5	—
30～39 歳	2.8	21.3	2.8	2.8	0.9	1.9	0.9	3.7
40～49 歳	6.6	24.1	3.0	3.0	1.8	5.4	1.8	5.4
50～59 歳	3.4	18.4	3.4	8.2	2.0	2.7	1.4	6.8
60～69 歳	3.9	12.3	3.9	6.7	—	4.5	2.2	8.4
70 歳以上	9.1	13.6	6.8	2.3	1.1	6.8	2.3	4.5
選択しない 16～19 歳	—	100.0	—	—	—	—	—	—
20～29 歳	—	—	—	—	—	—	100.0	—
30～39 歳	—	75.0	—	—	—	—	—	—
40～49 歳	12.5	25.0	—	12.5	—	12.5	—	—
50～59 歳	20.0	40.0	—	—	—	—	—	—
60～69 歳	—	50.0	50.0	50.0	—	—	—	—
70 歳以上	—	—	—	—	—	33.3	—	33.3

## (2) 子どもに関する人権問題

問8 あなたは、子どもに関する人権問題について、現時点で特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

子どもに関する人権問題については、「子ども同士のいじめ」の割合が51.8%と最も高く、次いで「親による子どもの体罰・虐待」の割合が43.3%、「子どもの貧困問題」の割合が29.9%となっています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「ビデオ、インターネット（パソコン、スマートフォンなど）での子どもを取り巻く性情報のはんらん」「児童買春や子どものヌード写真・映像を撮影や所持すること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数（件）	子ども同士のいじめ	親による子どもの体罰・虐待	子どもの貧困問題	進路選択などで、子どもの意思を無視すること	成績や学歴だけで判断すること	学校での教師による体罰や差別的な扱い	ビデオ、インターネット（パソコン、スマートフォンなど）での子どもを取り巻く性情報のはんらん
男性	519	51.8	42.4	31.2	7.9	25.6	10.4	18.3
女性	765	52.3	43.9	29.3	6.8	24.1	10.7	24.2
選択しない	25	40.0	56.0	24.0	12.0	20.0	20.0	16.0

区分	誹謗中傷 インターネットでの特定個人への	児童買春や子どものヌード写真・ 映像を撮影や所持すること	家庭、学校、地域の連携が弱く、 子どもを育てる環境が孤立してい ること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	21.0	7.1	16.6	1.9	1.7	2.5	3.3
女性	23.1	12.7	13.9	0.9	1.0	2.5	5.4
選択しない	28.0	8.0	12.0	—	—	4.0	—

【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の16～19歳で「成績や学歴だけで判断すること」の割合が高く、約4割となっています。また、男性の16～19歳で「進路選択などで、子どもの意思を無視すること」の割合が、女性の30～39歳で「インターネットでの特定個人への誹謗中傷」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	子ども同士のいじめ	親による子どもの体罰・虐待	子どもの貧困問題	進路選択などで、子どもの意思を無視すること	成績や学歴だけで判断すること	学校での教師による体罰や差別的な扱い	ビデオ、インターネット(パソコン、スマートフォンなど)での子どもを取り巻く性情報のはんらん
男性 16～19 歳	19	57.9	47.4	5.3	26.3	31.6	21.1	—
20～29 歳	41	48.8	53.7	19.5	17.1	36.6	12.2	19.5
30～39 歳	62	56.5	46.8	37.1	4.8	19.4	8.1	16.1
40～49 歳	87	52.9	43.7	29.9	4.6	17.2	9.2	11.5
50～59 歳	95	57.9	36.8	37.9	7.4	22.1	8.4	21.1
60～69 歳	132	48.5	41.7	29.5	6.8	28.0	10.6	22.0
70 歳以上	80	45.0	38.8	36.3	7.5	33.8	11.3	22.5
女性 16～19 歳	26	46.2	46.2	26.9	19.2	42.3	19.2	—
20～29 歳	46	56.5	32.6	26.1	17.4	23.9	19.6	21.7
30～39 歳	108	58.3	49.1	31.5	5.6	12.0	15.7	25.9
40～49 歳	166	53.6	43.4	32.5	4.8	19.3	10.2	27.1
50～59 歳	147	50.3	46.3	33.3	7.5	22.4	4.8	26.5
60～69 歳	179	50.3	41.3	25.7	4.5	28.5	8.4	22.3
70 歳以上	88	50.0	45.5	22.7	6.8	36.4	11.4	26.1
選択しない 16～19 歳	1	100.0	100.0	—	—	—	—	—
20～29 歳	1	—	—	—	—	—	—	—
30～39 歳	4	50.0	75.0	—	25.0	—	25.0	25.0
40～49 歳	8	12.5	50.0	25.0	—	25.0	25.0	12.5
50～59 歳	5	20.0	60.0	40.0	40.0	20.0	20.0	20.0
60～69 歳	2	50.0	50.0	50.0	—	50.0	—	50.0
70 歳以上	3	100.0	33.3	33.3	—	33.3	33.3	—

【性・年齢別】（つづき）

単位：％

区分	誹謗中傷 インターネットでの特定個人への	児童買春や子どものヌード写真・ 映像を撮影や所持すること	家庭、学校、地域の連携が弱く、 子どもを育てる環境が孤立してい ること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性 16～19 歳	15.8	—	—	—	—	—	10.5
20～29 歳	19.5	4.9	14.6	9.8	—	4.9	4.9
30～39 歳	21.0	4.8	22.6	6.5	—	3.2	4.8
40～49 歳	25.3	9.2	9.2	—	3.4	3.4	3.4
50～59 歳	27.4	9.5	15.8	—	1.1	1.1	—
60～69 歳	14.4	6.8	22.0	0.8	3.0	3.0	3.0
70 歳以上	21.3	6.3	15.0	1.3	1.3	1.3	3.8
女性 16～19 歳	11.5	3.8	11.5	—	—	7.7	—
20～29 歳	21.7	13.0	19.6	—	—	2.2	2.2
30～39 歳	30.6	10.2	13.9	3.7	—	1.9	4.6
40～49 歳	23.5	16.3	12.0	1.2	1.8	1.2	5.4
50～59 歳	25.2	15.0	10.9	0.7	0.7	2.0	5.4
60～69 歳	19.0	12.3	13.4	—	1.1	3.9	7.8
70 歳以上	21.6	9.1	21.6	—	1.1	2.3	4.5
選択しない 16～19 歳	100.0	—	—	—	—	—	—
20～29 歳	—	—	—	—	—	100.0	—
30～39 歳	50.0	—	—	—	—	—	—
40～49 歳	37.5	12.5	12.5	—	—	—	—
50～59 歳	20.0	20.0	—	—	—	—	—
60～69 歳	—	—	50.0	—	—	—	—
70 歳以上	—	—	—	—	—	—	—

## 【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、ひとり暮らし世帯、夫婦だけの世帯、ひとり親と子どもからなる世帯で「子どもの貧困問題」の割合が高く、3割台半ばとなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	子ども同士のいじめ	親による子どもの体罰・虐待	子どもの貧困問題	進路選択などで、子どもの意思を無視すること	成績や学歴だけで判断すること	学校での教師による体罰や差別的な扱い	ビデオ、インターネット(パソコン、スマートフォンなど)での子どもを取り巻く性情報のはんらん
ひとり暮らし世帯	85	45.9	45.9	34.1	4.7	22.4	8.2	20.0
夫婦だけの世帯	368	50.0	42.1	34.0	6.3	27.7	12.0	21.5
夫婦と子どもからなる世帯	636	55.7	45.0	26.6	8.2	21.9	9.9	23.0
親と子ども、孫からなる世帯	97	42.3	44.3	26.8	8.2	29.9	13.4	19.6
ひとり親と子どもからなる世帯	60	53.3	43.3	35.0	11.7	30.0	8.3	16.7
その他	58	48.3	31.0	34.5	3.4	20.7	10.3	19.0

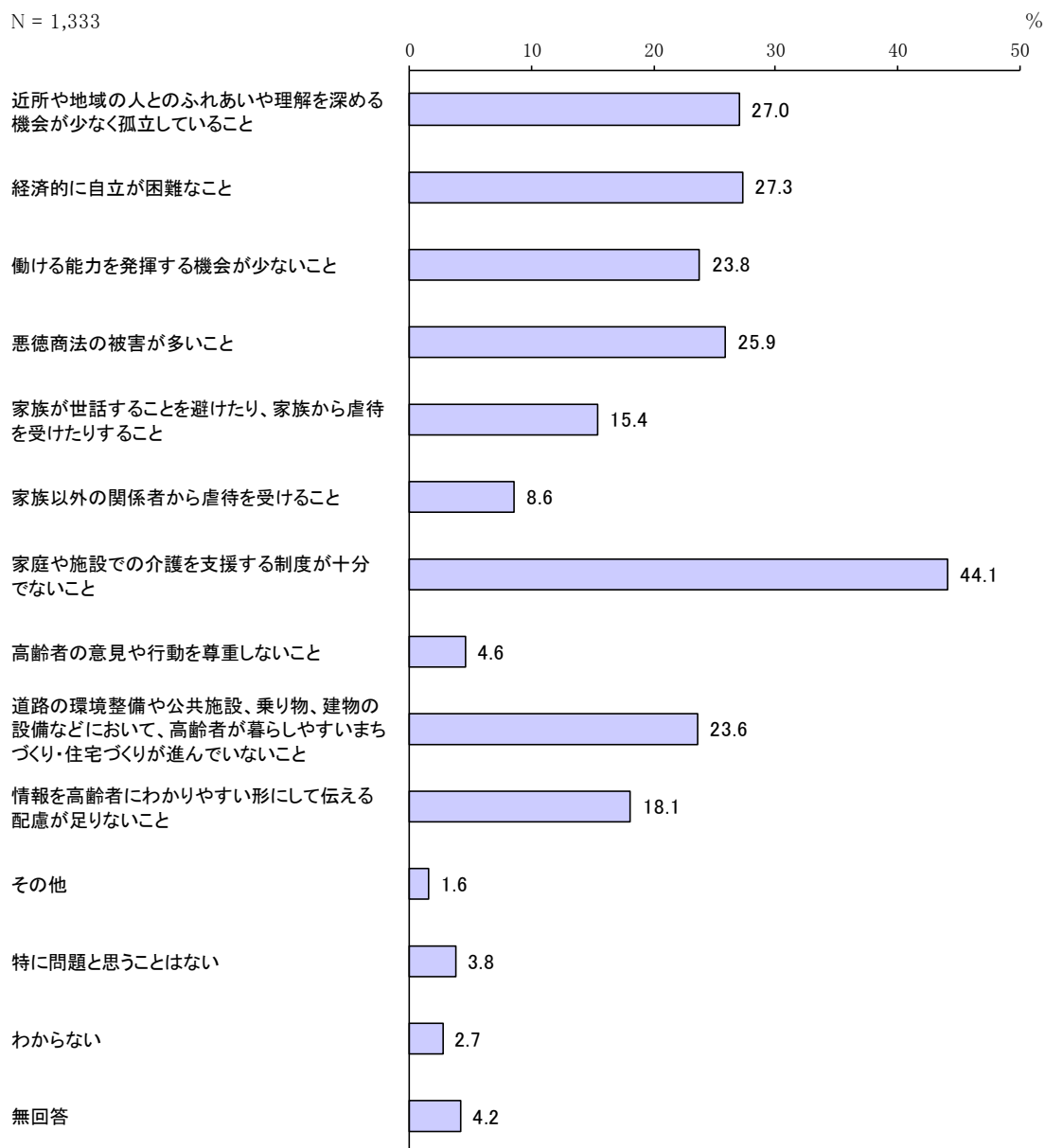
区分	誹謗中傷 インターネットでの特定個人への	児童買春や子どものヌード写真・映像を撮影や所持すること	家庭、学校、地域の連携が弱く、子どもを育てる環境が孤立していること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
ひとり暮らし世帯	17.6	9.4	17.6	—	3.5	3.5	9.4
夫婦だけの世帯	19.6	10.6	16.8	0.5	1.1	2.7	4.9
夫婦と子どもからなる世帯	24.4	11.3	13.2	1.7	1.1	1.6	3.8
親と子ども、孫からなる世帯	21.6	11.3	16.5	2.1	2.1	4.1	4.1
ひとり親と子どもからなる世帯	21.7	10.0	11.7	1.7	—	1.7	6.7
その他	27.6	3.4	17.2	1.7	—	8.6	1.7

### (3) 高齢者に関する人権問題

問9 あなたは、高齢者に関する人権問題について、現時点で特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

高齢者に関する人権問題については「家庭や施設での介護を支援する制度が十分でないこと」の割合が44.1%と最も高く、次いで「経済的に自立が困難なこと」の割合が27.3%、「近所や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少なく孤立していること」の割合が27.0%となっています。

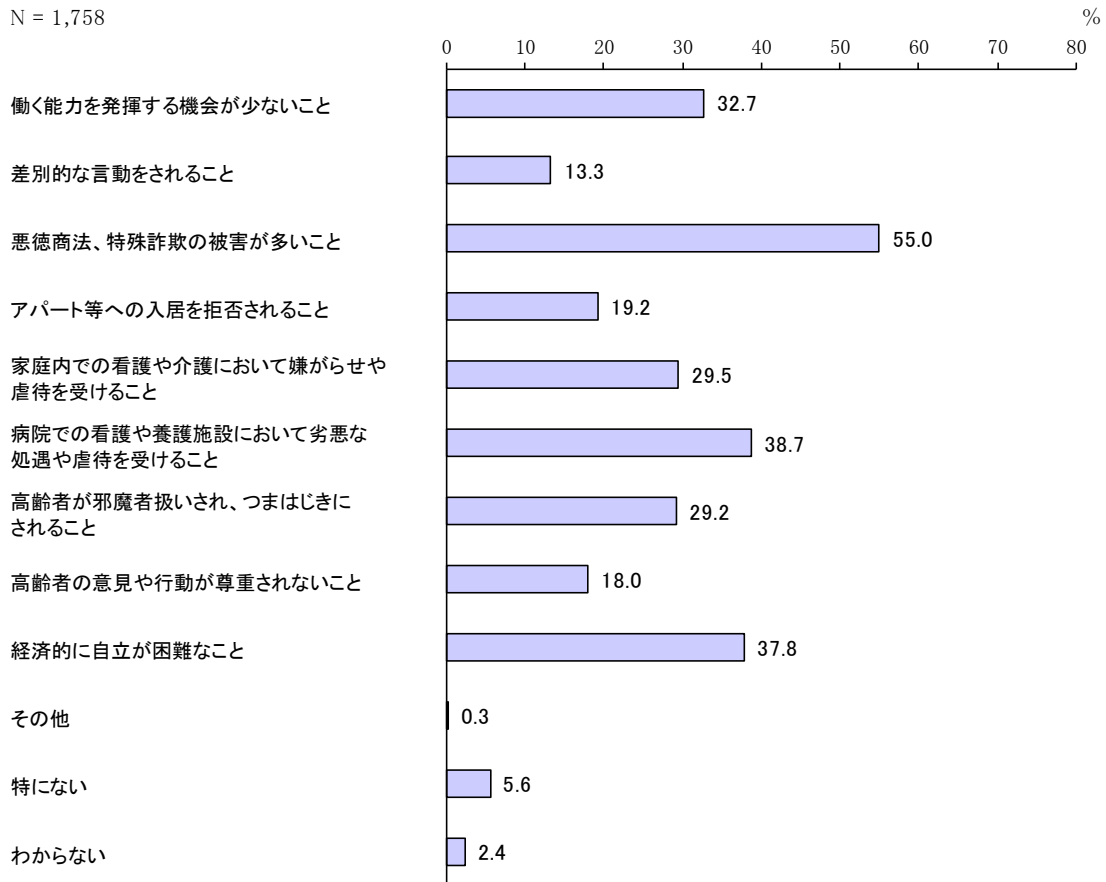
内閣府調査との比較は、選択肢が異なることと回答数が異なることから参考とします。





## 【内閣府調査】

N = 1,758



【性別】

性別でみると、男性と女性で大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	近所や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少なく孤立していること	経済的に自立が困難なこと	働ける能力を發揮する機会が少ないこと	悪徳商法の被害が多いこと	家族が世話することを避けたり、家族から虐待を受けたりすること	家族以外の関係者から虐待を受けること	家庭や施設での介護を支援する制度が十分でないこと
男性	519	28.9	28.5	24.3	23.9	16.4	7.7	41.6
女性	765	26.4	27.2	23.3	27.2	15.2	8.9	46.0
選択しない	25	8.0	16.0	32.0	24.0	12.0	12.0	36.0

区分	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	道路の環境整備や公共施設、乗り物、建物の設備などにおいて、高齢者が暮らしやすいまちづくり・住宅づくりが進んでいないこと	情報を高齢者にわかりやすい形にして伝える配慮が足りないこと	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	3.9	20.8	15.2	2.1	5.4	3.3	2.9
女性	5.0	24.7	20.0	1.0	2.9	2.2	4.7
選択しない	4.0	40.0	20.0	4.0	—	8.0	8.0

## 【性・年齢別】

性・年齢別でみると、他に比べ、女性の30～39歳で「近所や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少なく孤立していること」「働ける能力を発揮する機会が少ないこと」の割合が高くなっています。また、女性の60～69歳で「道路の環境整備や公共施設、乗り物、建物の設備などにおいて、高齢者が暮らしやすいまちづくり・住宅づくりが進んでいないこと」の割合が、女性の70歳以上で「情報を高齢者にわかりやすい形にして伝える配慮が足りないこと」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	近所や地域の人とのふれあいや理解を深める機会が少なく孤立していること	経済的に自立が困難なこと	働ける能力を発揮する機会が少ないこと	悪徳商法の被害が多いこと	家族が世話をすることを避けたり、家族から虐待を受けたりすること	家族以外の関係者から虐待を受けること	家庭や施設での介護を支援する制度が十分でないこと
男性 16～19歳	19	31.6	10.5	10.5	26.3	5.3	15.8	15.8
20～29歳	41	24.4	17.1	26.8	22.0	12.2	7.3	31.7
30～39歳	62	35.5	37.1	24.2	14.5	24.2	12.9	38.7
40～49歳	87	24.1	33.3	18.4	31.0	17.2	6.9	49.4
50～59歳	95	30.5	34.7	23.2	31.6	14.7	8.4	51.6
60～69歳	132	30.3	25.8	28.8	18.2	14.4	4.5	43.2
70歳以上	80	26.3	23.8	25.0	23.8	20.0	6.3	32.5
女性 16～19歳	26	26.9	19.2	19.2	30.8	23.1	7.7	46.2
20～29歳	46	23.9	21.7	15.2	32.6	19.6	8.7	54.3
30～39歳	108	40.7	29.6	33.3	20.4	13.9	8.3	50.0
40～49歳	166	27.1	32.5	27.1	26.5	15.7	7.2	50.0
50～59歳	147	27.9	27.2	21.1	28.6	14.3	10.9	48.3
60～69歳	179	17.9	26.3	19.6	26.8	14.5	8.4	40.8
70歳以上	88	23.9	21.6	21.6	30.7	13.6	9.1	36.4
選択しない 16～19歳	1	—	—	100.0	100.0	—	—	100.0
20～29歳	1	—	—	—	—	—	—	—
30～39歳	4	—	25.0	—	75.0	—	—	75.0
40～49歳	8	—	—	37.5	12.5	25.0	12.5	25.0
50～59歳	5	—	40.0	20.0	—	20.0	40.0	60.0
60～69歳	2	50.0	50.0	50.0	—	—	—	—
70歳以上	3	—	—	66.7	—	—	—	—

【性・年齢別（つづき）】

単位：％

区分	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	道路の環境整備や公共施設、乗り物・建物の設備などにおいて、高齢者が暮らしやすいまちづくり・住宅づくりが進んでいないこと	情報を高齢者にわかりやすい形にして伝える配慮が足りないこと	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性 16～19 歳	10.5	—	15.8	5.3	10.5	10.5	10.5
20～29 歳	7.3	34.1	9.8	4.9	12.2	4.9	2.4
30～39 歳	4.8	14.5	11.3	4.8	3.2	1.6	8.1
40～49 歳	2.3	11.5	11.5	2.3	5.7	3.4	1.1
50～59 歳	2.1	22.1	12.6	—	2.1	2.1	1.1
60～69 歳	3.0	23.5	18.9	1.5	6.1	3.8	1.5
70 歳以上	5.0	27.5	21.3	1.3	5.0	2.5	3.8
女性 16～19 歳	11.5	23.1	3.8	—	—	7.7	—
20～29 歳	2.2	23.9	13.0	—	6.5	2.2	2.2
30～39 歳	4.6	13.9	15.7	1.9	2.8	3.7	4.6
40～49 歳	3.0	24.1	21.1	1.8	1.8	1.8	3.6
50～59 歳	4.8	23.1	22.4	—	2.0	0.7	6.1
60～69 歳	5.6	33.5	18.4	1.1	3.4	2.2	6.1
70 歳以上	6.8	26.1	30.7	1.1	4.5	2.3	4.5
選択しない 16～19 歳	—	—	—	—	—	—	—
20～29 歳	—	—	—	—	—	100.0	—
30～39 歳	25.0	25.0	25.0	—	—	—	—
40～49 歳	—	50.0	25.0	12.5	—	12.5	12.5
50～59 歳	—	60.0	—	—	—	—	—
60～69 歳	—	—	—	—	—	—	50.0
70 歳以上	—	66.7	33.3	—	—	—	—

【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、親と子ども、孫からなる世帯で「経済的に自立が困難なこと」の割合が高く、3割台半ばとなっています。また、夫婦だけの世帯で「道路の環境整備や公共施設、乗り物、建物の設備などにおいて、高齢者が暮らしやすいまちづくり・住宅づくりが進んでいないこと」の割合が、ひとり暮らし世帯で「特に問題と思うことはない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	近所や地域のひとのふれあいや理解を深める機会が少なく孤立していること	経済的に自立が困難なこと	働ける能力を発揮する機会が少ないこと	悪徳商法の被害が多いこと	家族が世話をすることを避けたり、家族から虐待を受けたりすること	家族以外の関係者から虐待を受けること	家庭や施設での介護を支援する制度が十分でないこと
ひとり暮らし世帯	85	27.1	28.2	25.9	27.1	18.8	8.2	32.9
夫婦だけの世帯	368	28.5	24.2	24.7	24.7	13.6	8.4	43.2
夫婦と子どもからなる世帯	636	27.4	26.6	24.2	27.5	16.0	9.0	46.4
親と子ども、孫からなる世帯	97	26.8	35.1	19.6	23.7	17.5	7.2	41.2
ひとり親と子どもからなる世帯	60	21.7	31.7	18.3	25.0	16.7	3.3	43.3
その他	58	19.0	39.7	25.9	17.2	13.8	10.3	44.8

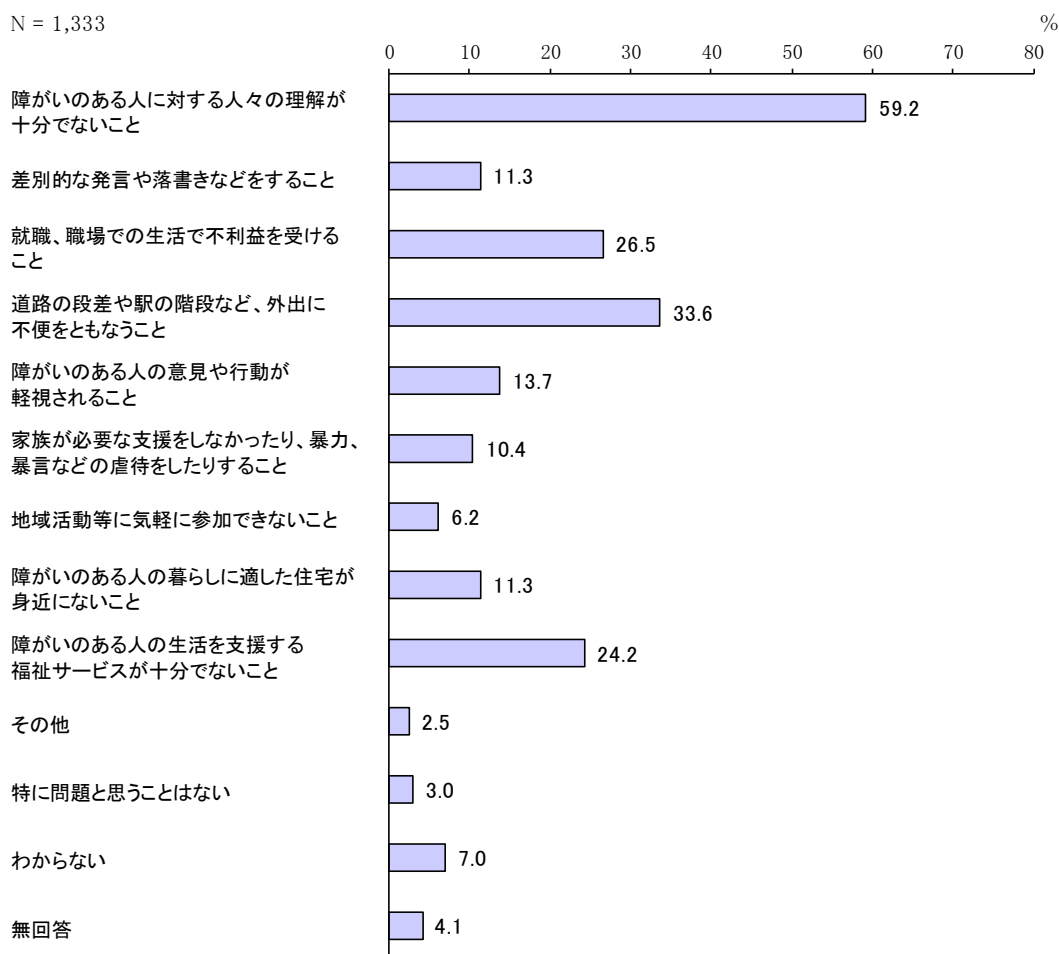
区分	高齢者の意見や行動を尊重しないこと	道路の環境整備や公共施設、乗り物、建物の設備などにおいて、高齢者が暮らしやすいまちづくり・住宅づくりが進んでいないこと	情報を高齢者にわかりやすい形にして伝える配慮が足りないこと	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
ひとり暮らし世帯	8.2	18.8	12.9	—	9.4	2.4	4.7
夫婦だけの世帯	4.1	27.7	21.5	1.6	3.0	2.2	4.6
夫婦と子どもからなる世帯	4.9	21.4	16.5	1.6	3.5	3.1	3.3
親と子ども、孫からなる世帯	3.1	22.7	15.5	2.1	4.1	2.1	5.2
ひとり親と子どもからなる世帯	3.3	21.7	23.3	—	6.7	3.3	6.7
その他	1.7	27.6	15.5	5.2	1.7	3.4	5.2

#### (4) 障がい者に関する人権問題

問10 あなたは、障がいのある人に関する人権問題について、現時点で特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

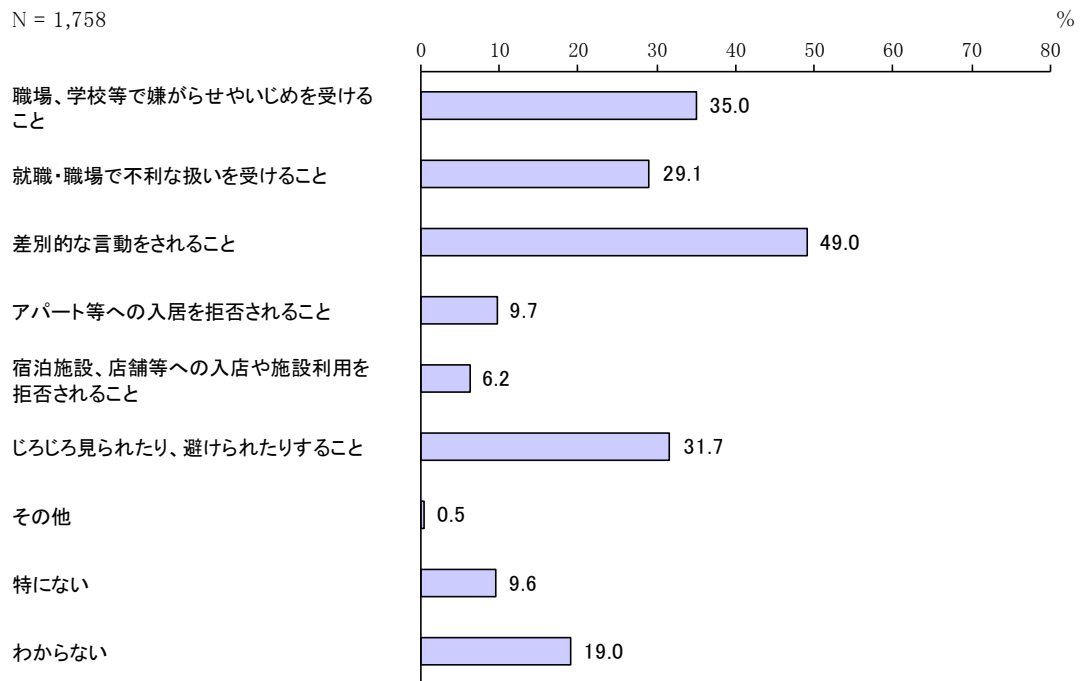
障がいのある人に関する人権問題については、「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」の割合が59.2%と最も高く、次いで「道路の段差や駅の階段など、外出に不便をともなうこと」の割合が33.6%、「就職、職場での生活で不利益を受けること」の割合が26.5%となっています。

内閣府調査との比較は、選択肢が異なることと回答数が異なることから参考とします。



## 【内閣府調査】

N = 1,758



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「道路の段差や駅の階段など、外出に不便をともなうこと」の割合が高く、3割台半ばとなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと	差別的な発言や落書きなどをすること	就職、職場での生活で不利益を受けること	道路の段差や駅の階段など、外出に不便をともなうこと	障がいのある人の意見や行動が軽視されること	家族が必要な支援をしなかったり、暴力、暴言などの虐待をしたりすること
男性	519	59.0	12.5	25.4	29.1	13.1	10.2
女性	765	59.6	10.8	27.5	36.5	14.2	10.5
選択しない	25	60.0	4.0	20.0	44.0	12.0	8.0

区分	地域活動等に気軽に参加できないこと	障がいのある人の暮らしに適した住宅が身近にないこと	障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	7.1	11.2	25.4	3.5	3.3	6.6	3.3
女性	5.8	11.0	23.4	1.8	2.9	7.3	4.4
選択しない	8.0	16.0	16.0	4.0	—	12.0	—



【性・年齢別】

性・年齢別でみると、男性の50～59歳、女性の30～39歳で「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、男性の60～69歳で「障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと」の割合が高く、3割台半ばとなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと	差別的な発言や落書きなどをすること	就職、職場での生活で不利益を受けること	道路の段差や駅の階段など、外出に不便をとまなうこと	障がいのある人の意見や行動が軽視されること	家族が必要な支援をしなかったり、暴力、暴言などの虐待をしたりすること
男性 16～19歳	19	47.4	21.1	15.8	10.5	26.3	—
20～29歳	41	58.5	22.0	24.4	19.5	14.6	9.8
30～39歳	62	64.5	8.1	30.6	22.6	16.1	11.3
40～49歳	87	60.9	10.3	14.9	27.6	13.8	9.2
50～59歳	95	64.2	16.8	24.2	34.7	13.7	10.5
60～69歳	132	57.6	9.1	25.8	34.1	9.1	9.1
70歳以上	80	52.5	12.5	35.0	28.8	12.5	15.0
女性 16～19歳	26	61.5	26.9	34.6	7.7	19.2	19.2
20～29歳	46	56.5	15.2	32.6	32.6	19.6	10.9
30～39歳	108	65.7	13.9	32.4	31.5	22.2	13.0
40～49歳	166	58.4	20.5	30.1	38.0	12.0	13.9
50～59歳	147	61.2	6.1	22.4	42.2	12.2	8.2
60～69歳	179	59.8	3.9	27.4	38.0	13.4	5.6
70歳以上	88	52.3	2.3	21.6	37.5	10.2	12.5
選択しない 16～19歳	1	—	—	—	100.0	—	100.0
20～29歳	1	—	—	—	—	—	—
30～39歳	4	50.0	25.0	—	100.0	—	—
40～49歳	8	62.5	—	12.5	37.5	12.5	—
50～59歳	5	80.0	—	20.0	40.0	—	20.0
60～69歳	2	50.0	—	50.0	50.0	—	—
70歳以上	3	66.7	—	33.3	—	33.3	—

【性・年齢別（つづき）】

単位：％

区分	地域活動等に気軽に参加できないこと	障がいのある人の暮らしに適した住宅が身近にないこと	障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性 16～19 歳	10.5	5.3	5.3	10.5	—	15.8	10.5
20～29 歳	9.8	17.1	12.2	4.9	4.9	7.3	4.9
30～39 歳	9.7	4.8	24.2	4.8	—	4.8	6.5
40～49 歳	6.9	10.3	21.8	6.9	3.4	8.0	2.3
50～59 歳	6.3	11.6	27.4	4.2	3.2	4.2	1.1
60～69 歳	5.3	12.1	34.8	—	4.5	6.8	2.3
70 歳以上	6.3	13.8	23.8	1.3	3.8	6.3	3.8
女性 16～19 歳	7.7	11.5	3.8	3.8	3.8	11.5	—
20～29 歳	4.3	13.0	17.4	6.5	6.5	2.2	—
30～39 歳	5.6	6.5	23.1	0.9	0.9	5.6	3.7
40～49 歳	7.2	7.8	22.9	2.4	1.8	6.0	3.6
50～59 歳	6.8	12.9	20.4	1.4	3.4	6.8	4.8
60～69 歳	3.9	11.7	29.1	—	2.2	10.1	6.7
70 歳以上	5.7	17.0	28.4	3.4	4.5	9.1	5.7
選択しない 16～19 歳	—	100.0	—	—	—	—	—
20～29 歳	—	—	—	—	—	100.0	—
30～39 歳	25.0	25.0	25.0	—	—	—	—
40～49 歳	—	25.0	12.5	12.5	—	12.5	—
50～59 歳	—	—	40.0	—	—	—	—
60～69 歳	50.0	—	—	—	—	—	—
70 歳以上	—	—	—	—	—	33.3	—

## 【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、親と子ども、孫からなる世帯で「障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと」の割合が高く、約7割となっています。また、夫婦だけの世帯で「道路の段差や駅の階段など、外出に不便をとまうこと」の割合が高く、約4割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	障がいのある人に対する人々の理解が十分でないこと	差別的な発言や落書きなどをすること	就職、職場での生活で不利益を受けること	道路の段差や駅の階段など、外出に不便をとまうこと	障がいのある人の意見や行動が軽視されること	家族が必要な支援をしなかったり、暴力、暴言などの虐待をしたりすること
ひとり暮らし世帯	85	54.1	11.8	25.9	32.9	14.1	12.9
夫婦だけの世帯	368	55.2	9.0	25.5	37.8	11.7	9.2
夫婦と子どもからなる世帯	636	62.9	13.1	28.1	32.2	14.8	9.1
親と子ども、孫からなる世帯	97	67.0	11.3	22.7	29.9	14.4	16.5
ひとり親と子どもからなる世帯	60	48.3	11.7	28.3	31.7	15.0	18.3
その他	58	55.2	8.6	19.0	31.0	12.1	8.6

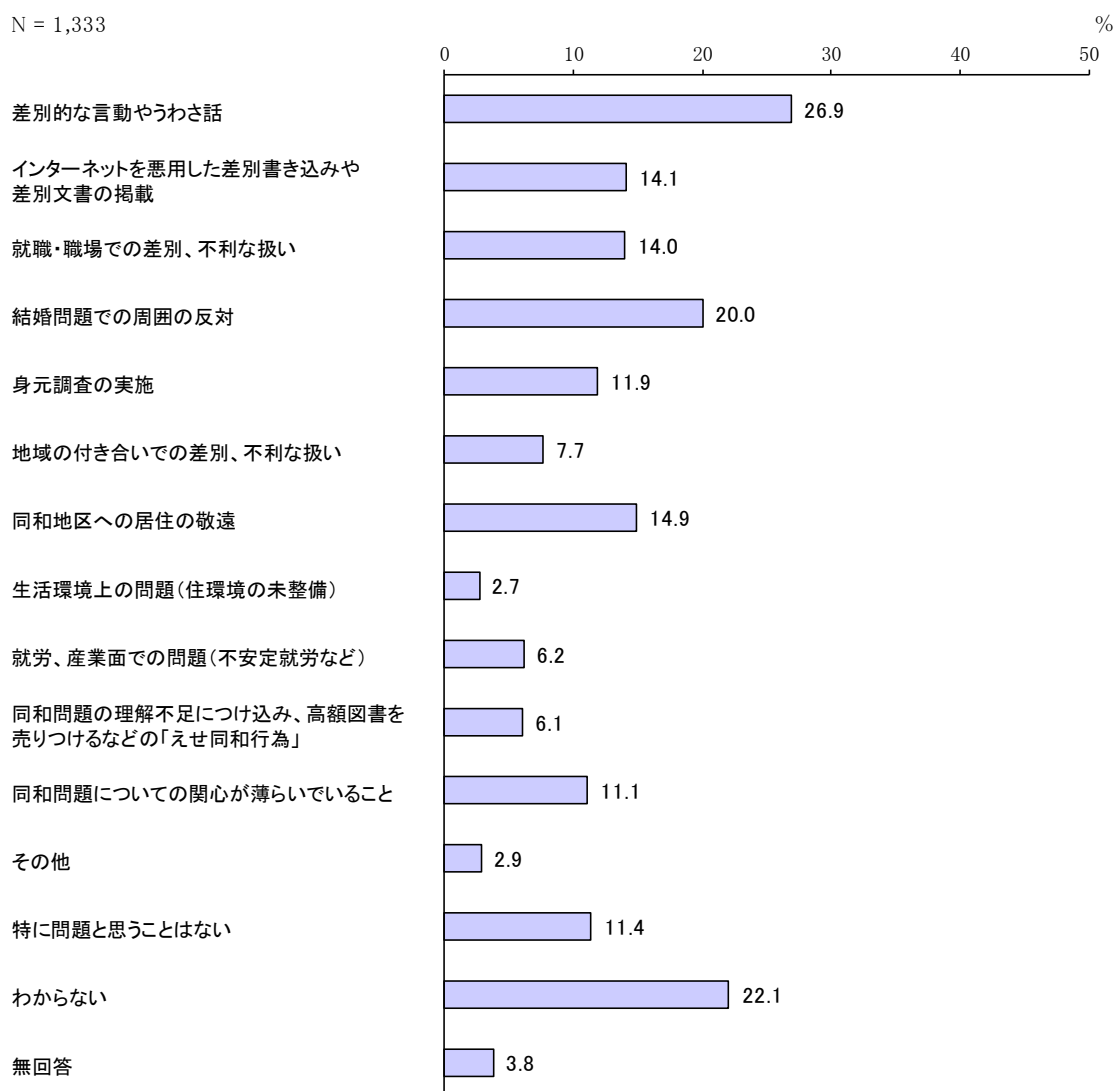
  

区分	地域活動等に気軽に参加できないこと	障がいのある人の暮らしに適した住宅が身近にないこと	障がいのある人の生活を支援する福祉サービスが十分でないこと	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
ひとり暮らし世帯	5.9	12.9	23.5	2.4	8.2	5.9	4.7
夫婦だけの世帯	6.3	13.3	28.5	1.6	1.9	6.5	4.1
夫婦と子どもからなる世帯	6.9	10.1	22.8	3.1	2.4	7.1	3.6
親と子ども、孫からなる世帯	7.2	10.3	21.6	1.0	2.1	6.2	4.1
ひとり親と子どもからなる世帯	5.0	5.0	11.7	3.3	6.7	11.7	5.0
その他	1.7	13.8	24.1	3.4	5.2	10.3	5.2

## (5) 同和問題に関する人権問題

問11 あなたは、同和問題に関する人権問題について、現時点で特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

同和問題に関する人権問題については、「差別的な言動やうわさ話」の割合が26.9%と最も高く、次いで「わからない」の割合が22.1%、「結婚問題での周囲の反対」の割合が20.0%となっています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「同和問題の理解不足につけ込み、高額図書を売りつけるなどの「えせ同和行為」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	差別的な言動やうわさ話	インターネットを悪用した差別書き込みや差別文書の掲載	就職・職場での差別、不利な扱い	結婚問題での周囲の反対	身元調査の実施	地域の付き合いでの差別、不利な扱い	同和地区への居住の敬遠
男性	519	26.6	15.6	14.1	18.3	10.8	10.4	14.5
女性	765	28.4	12.9	14.4	21.4	12.8	5.9	14.9
選択しない	25	8.0	20.0	8.0	12.0	4.0	8.0	12.0

区分	生活環境上の問題(住環境の未整備)	就労、産業面での問題(不安定就労など)	同和問題の理解不足につけ込み、高額図書を売りつけるなどの「えせ同和行為」	同和問題についての関心が薄らいでいること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	3.5	6.9	9.4	10.4	4.2	13.5	17.5	2.9
女性	2.2	6.0	3.8	11.5	2.0	10.1	25.2	3.9
選択しない	—	4.0	4.0	8.0	4.0	12.0	40.0	—

【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、男性の16～19歳、女性の30～39歳で「差別的な言動やうわさ話」の割合が高く、約4割となっています。また、男性の30～39歳、女性の40～49歳で「就職・職場での差別、不利な扱い」の割合が、男性の40～59歳で「同和問題の理解不足につけ込み、高額図書を売りつけるなどの「えせ同和行為」」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	差別的な言動やうわさ話	インターネットを悪用した差別書き込みや差別文書の掲載	就職・職場での差別、不利な扱い	結婚問題での周囲の反対	身元調査の実施	地域の付き合いでの差別、不利な扱い	同和地区への居住の敬遠
男性 16～19歳	19	42.1	21.1	15.8	15.8	—	—	10.5
20～29歳	41	26.8	24.4	7.3	7.3	12.2	17.1	9.8
30～39歳	62	33.9	19.4	25.8	19.4	8.1	12.9	9.7
40～49歳	87	26.4	10.3	12.6	13.8	12.6	8.0	11.5
50～59歳	95	27.4	22.1	17.9	17.9	12.6	9.5	13.7
60～69歳	132	22.7	12.1	10.6	21.2	9.8	12.9	16.7
70歳以上	80	23.8	11.3	10.0	22.5	11.3	7.5	21.3
女性 16～19歳	26	11.5	7.7	7.7	15.4	7.7	3.8	—
20～29歳	46	28.3	8.7	19.6	21.7	17.4	13.0	10.9
30～39歳	108	39.8	22.2	15.7	23.1	15.7	10.2	17.6
40～49歳	166	34.3	15.1	22.3	27.1	16.3	9.0	14.5
50～59歳	147	27.9	10.9	16.3	17.7	8.8	4.1	19.0
60～69歳	179	25.1	10.6	8.9	19.6	12.8	2.8	12.8
70歳以上	88	17.0	10.2	5.7	21.6	9.1	1.1	15.9
選択しない								
16～19歳	1	—	100.0	—	—	—	—	—
20～29歳	1	—	—	—	—	—	—	—
30～39歳	4	—	25.0	25.0	—	25.0	—	—
40～49歳	8	12.5	12.5	12.5	12.5	—	—	12.5
50～59歳	5	—	20.0	—	20.0	—	40.0	20.0
60～69歳	2	—	50.0	—	—	—	—	50.0
70歳以上	3	33.3	—	—	—	—	—	—

【性・年齢別（つづき）】

単位：％

区分	生活環境上の問題（住環境の未整備）	就労、産業面での問題（不安定就労など）	同和問題の理解不足につけ込み、高額図書を売りつけるなどの「えせ同和行為」	同和問題についての関心が薄らいでいること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性 16～19 歳	—	10.5	5.3	10.5	10.5	10.5	21.1	—
20～29 歳	7.3	12.2	2.4	7.3	2.4	12.2	26.8	—
30～39 歳	—	12.9	4.8	9.7	4.8	9.7	16.1	3.2
40～49 歳	4.6	1.1	14.9	10.3	10.3	6.9	21.8	2.3
50～59 歳	5.3	6.3	16.8	9.5	2.1	11.6	14.7	2.1
60～69 歳	3.0	3.0	8.3	10.6	1.5	22.0	12.9	4.5
70 歳以上	2.5	12.5	5.0	13.8	2.5	13.8	20.0	3.8
女性 16～19 歳	—	3.8	3.8	11.5	3.8	3.8	50.0	—
20～29 歳	6.5	6.5	4.3	8.7	2.2	17.4	21.7	—
30～39 歳	4.6	9.3	2.8	9.3	1.9	7.4	15.7	2.8
40～49 歳	1.2	5.4	6.0	12.7	3.6	7.8	18.7	3.0
50～59 歳	2.7	5.4	4.8	12.9	1.4	9.5	29.3	2.7
60～69 歳	—	5.0	1.7	7.8	1.1	11.7	32.4	5.6
70 歳以上	3.4	6.8	3.4	19.3	1.1	12.5	21.6	8.0
選択しない								
16～19 歳	—	—	—	—	—	—	—	—
20～29 歳	—	—	—	—	—	—	100.0	—
30～39 歳	—	—	—	—	—	25.0	50.0	—
40～49 歳	—	—	—	12.5	—	—	62.5	—
50～59 歳	—	20.0	20.0	—	—	20.0	20.0	—
60～69 歳	—	—	—	—	—	50.0	—	—
70 歳以上	—	—	—	33.3	—	—	33.3	—

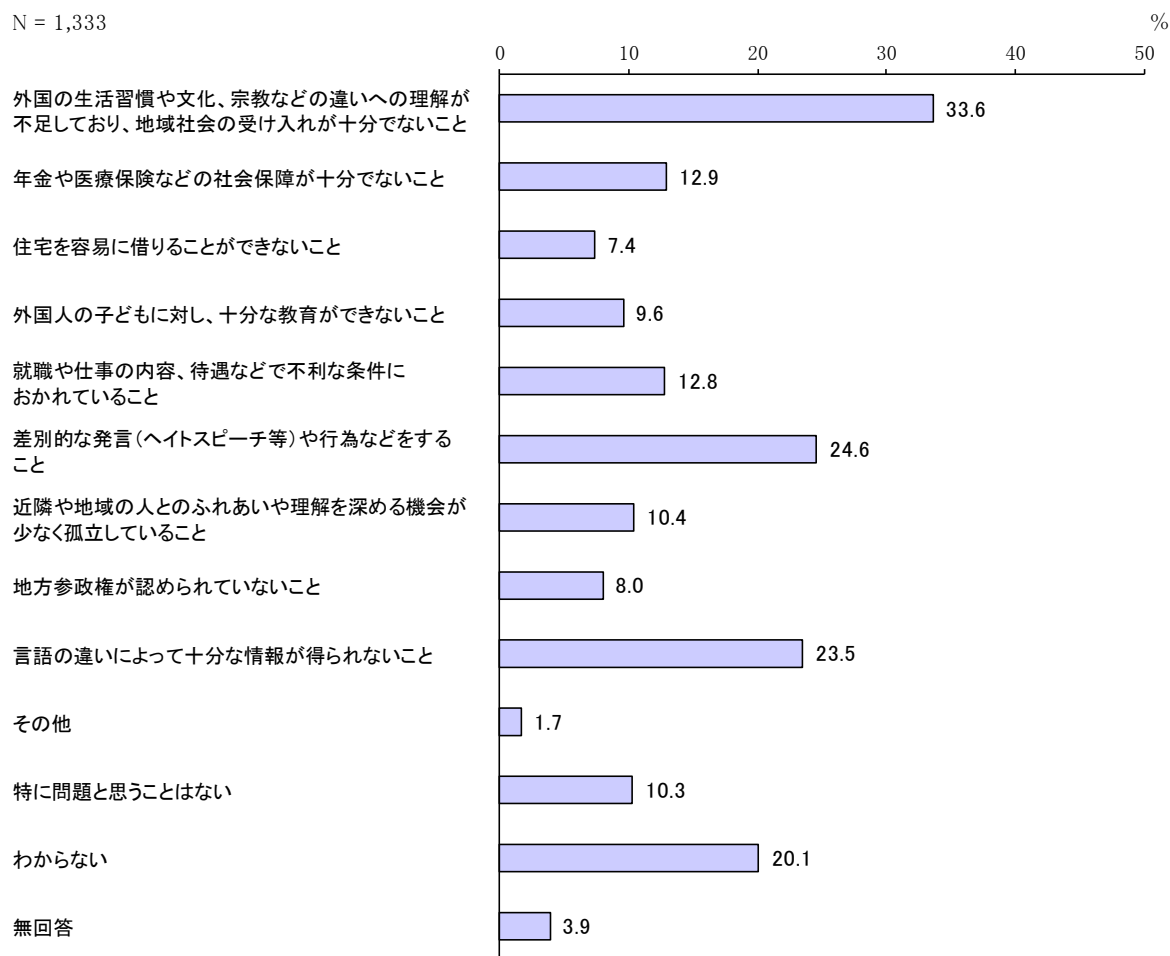
## (6) 在日外国人に関する人権問題

問 12 あなたは、在日外国人に関する人権問題について、現時点で特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

在日外国人に関する人権問題については、「外国の生活習慣や文化、宗教などの違いへの理解が不足しており、地域社会の受け入れが十分でないこと」の割合が 33.6%と最も高く、次いで「差別的な発言（ヘイトスピーチ等）や行為などをすること」の割合が 24.6%、「言語の違いによって十分な情報が得られないこと」の割合が 23.5%となっています。

内閣府調査との比較は、選択肢が異なることと回答数が異なることから参考とします。

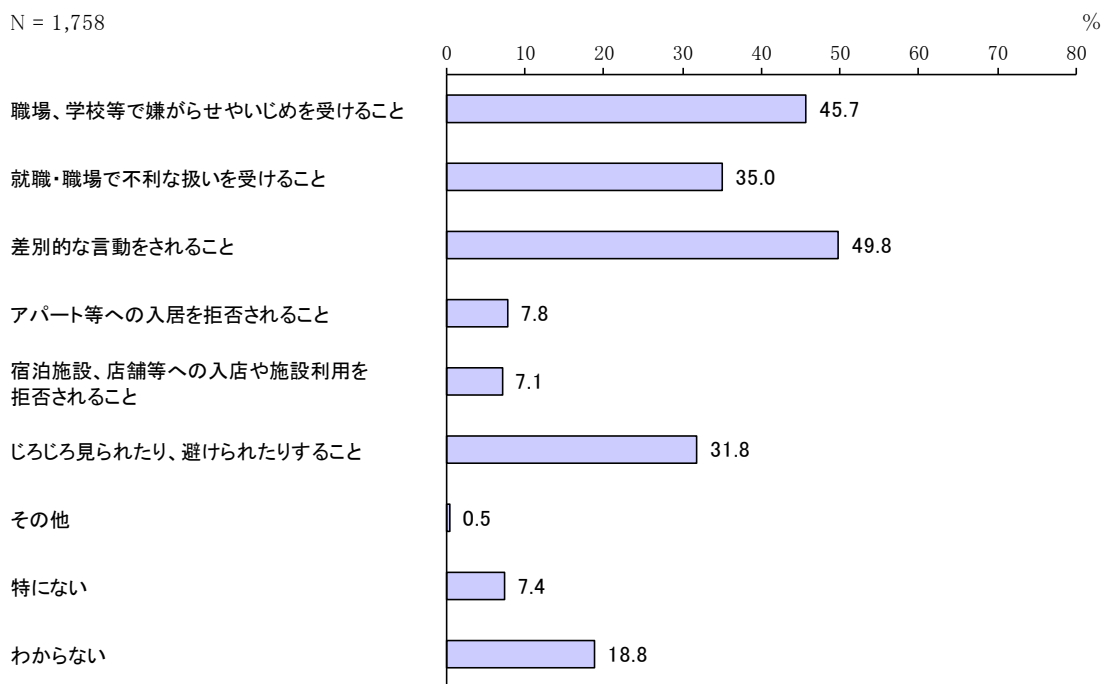
N = 1,333





## 【内閣府調査】

N = 1,758



【性別】

性別でみると、男性と女性とで大きな差異はみられません。

単位：%

区分	有効回答数(件)	外国の生活習慣や文化、宗教などの違いへの理解が不足しており、地域社会の受け入れが十分でないこと	年金や医療保険などの社会保障が十分でないこと	住宅を容易に借りることができないこと	外国人の子どもに対し、十分な教育ができないこと	就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること	差別的な発言(ヘイトスピーチ等)や行為などをすること	
男性	519	36.4	12.1	7.5	10.2	14.3	24.5	
女性	765	32.2	13.6	7.2	9.0	12.2	25.2	
選択しない	25	24.0	4.0	12.0	12.0	4.0	20.0	
区分	孤立していること	近隣や地域のひととのふれあいや理解を深める機会が少なく	地方参政権が認められていないこと	言語の違いによって十分な情報が得られないこと	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	13.1	8.7	23.3	2.7	12.9	13.5	3.1	
女性	8.6	7.6	23.8	1.0	8.1	24.7	3.9	
選択しない	4.0	8.0	20.0	—	16.0	36.0	—	

【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、男性の16～19歳で「外国の生活習慣や文化、宗教などの違いへの理解が不足しており、地域社会の受け入れが十分でないこと」の割合が、男性の50～59歳で「差別的な発言（ヘイトスピーチ等）や行為などをする事」の割合が高く、約4割となっています。また、男性の20～29歳、60～69歳で「特に問題と思うことはない」の割合が高く、約2割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	外国の生活習慣や文化、宗教などの違いへの理解が不足しており、地域社会の受け入れが十分でないこと	年金や医療保険などの社会保障が十分でないこと	住宅を容易に借りることができないこと	外国人の子どもに対し、十分な教育ができないこと	就職や仕事の内容、待遇などで不利な条件におかれていること	差別的な発言(ヘイトスピーチ等)や行為などをする事
男性 16～19 歳	19	42.1	10.5	—	—	26.3	36.8
20～29 歳	41	34.1	12.2	2.4	7.3	14.6	19.5
30～39 歳	62	35.5	14.5	11.3	12.9	17.7	25.8
40～49 歳	87	32.2	8.0	5.7	5.7	13.8	25.3
50～59 歳	95	36.8	15.8	9.5	17.9	15.8	38.9
60～69 歳	132	37.9	11.4	6.8	10.6	9.8	14.4
70 歳以上	80	38.8	11.3	8.8	6.3	15.0	21.3
女性 16～19 歳	26	34.6	19.2	7.7	11.5	7.7	34.6
20～29 歳	46	39.1	13.0	8.7	8.7	23.9	26.1
30～39 歳	108	36.1	17.6	8.3	11.1	13.0	25.0
40～49 歳	166	31.3	12.7	9.0	7.2	15.7	28.3
50～59 歳	147	33.3	16.3	6.1	12.9	10.2	26.5
60～69 歳	179	30.2	8.9	7.3	6.7	9.5	22.3
70 歳以上	88	26.1	14.8	3.4	8.0	8.0	21.6
選択しない							
16～19 歳	1	—	—	—	—	—	—
20～29 歳	1	—	—	—	—	—	—
30～39 歳	4	—	—	—	25.0	—	25.0
40～49 歳	8	—	12.5	25.0	12.5	12.5	—
50～59 歳	5	60.0	—	20.0	20.0	—	20.0
60～69 歳	2	—	—	—	—	—	50.0
70 歳以上	3	66.7	—	—	—	—	33.3

【性・年齢別（つづき）】

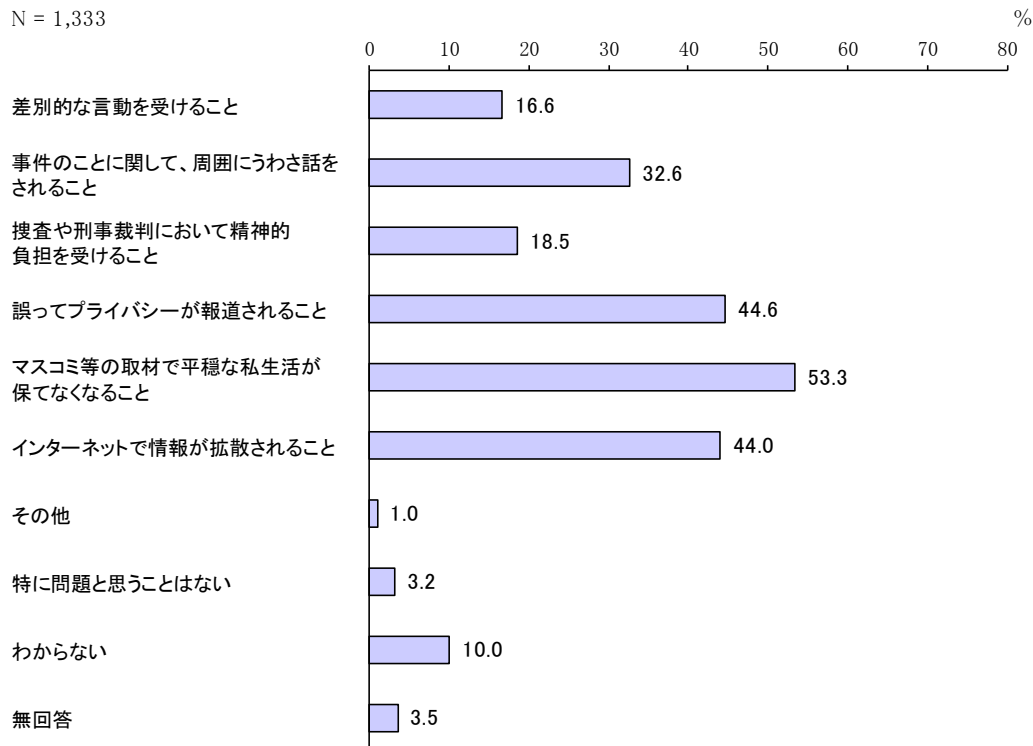
単位：％

区分	近隣や地域の人のふれあい や理解を深める機会が少なく 孤立していること	地方参政権が認められてい ないこと	言語の違いによって十分な情 報が得られないこと	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性 16～19 歳	—	21.1	21.1	—	15.8	10.5	5.3
20～29 歳	14.6	2.4	29.3	4.9	22.0	12.2	—
30～39 歳	12.9	6.5	17.7	4.8	8.1	14.5	4.8
40～49 歳	10.3	11.5	20.7	4.6	12.6	18.4	1.1
50～59 歳	12.6	9.5	23.2	2.1	9.5	7.4	1.1
60～69 歳	16.7	4.5	30.3	1.5	18.2	11.4	4.5
70 歳以上	13.8	13.8	16.3	1.3	7.5	20.0	5.0
女性 16～19 歳	11.5	15.4	19.2	—	3.8	23.1	—
20～29 歳	10.9	8.7	19.6	2.2	15.2	15.2	2.2
30～39 歳	8.3	9.3	21.3	—	5.6	25.0	3.7
40～49 歳	10.2	6.6	21.1	1.2	8.4	19.9	4.2
50～59 歳	8.8	6.1	24.5	1.4	9.5	25.2	1.4
60～69 歳	6.7	8.9	25.7	1.1	6.1	31.3	4.5
70 歳以上	6.8	4.5	29.5	1.1	9.1	25.0	9.1
選択しない	—	—	—	—	—	100.0	—
16～19 歳	—	—	—	—	—	100.0	—
20～29 歳	—	—	—	—	—	100.0	—
30～39 歳	—	25.0	25.0	—	25.0	25.0	—
40～49 歳	—	—	12.5	—	25.0	50.0	—
50～59 歳	20.0	—	40.0	—	—	20.0	—
60～69 歳	—	—	—	—	50.0	—	—
70 歳以上	—	—	33.3	—	—	33.3	—

## (7) 犯罪被害者に関する人権問題

問13 あなたは、犯罪被害者の方やその家族に関する人権問題について、現時点で特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

犯罪被害者の方やその家族に関する人権問題については、「マスコミ等の取材で平穏な私生活が保てなくなる事」の割合が53.3%と最も高く、次いで「誤ってプライバシーが報道されること」の割合が44.6%、「インターネットで情報が拡散されること」の割合が44.0%となっています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「インターネットで情報が拡散されること」の割合が高く、約5割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	差別的な言動を受けること	事件のことに關して、周囲にうわさ話をされること	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	誤ってプライバシーが報道されること	マスコミ等の取材で平穩な私生活が保てなくなること	インターネットで情報が拡散されること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	519	18.7	32.8	19.7	43.7	52.8	39.7	1.7	5.2	9.1	2.3
女性	765	15.3	33.2	17.5	45.6	54.1	47.2	0.5	2.0	10.7	3.5
選択しない	25	8.0	24.0	24.0	44.0	40.0	44.0	—	4.0	16.0	8.0

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、他に比べ、男性の50～59歳、女性の20～29歳で「誤ってプライバシーが報道されること」の割合が、男性の20～29歳、50～59歳、女性の20～29歳で「マスコミ等の取材で平穏な私生活が保てなくなること」の割合が高く、約6割となっています。また、女性の30～59歳で「インターネットで情報が拡散されること」の割合が高く、5割台半ばとなっています。

単位：%

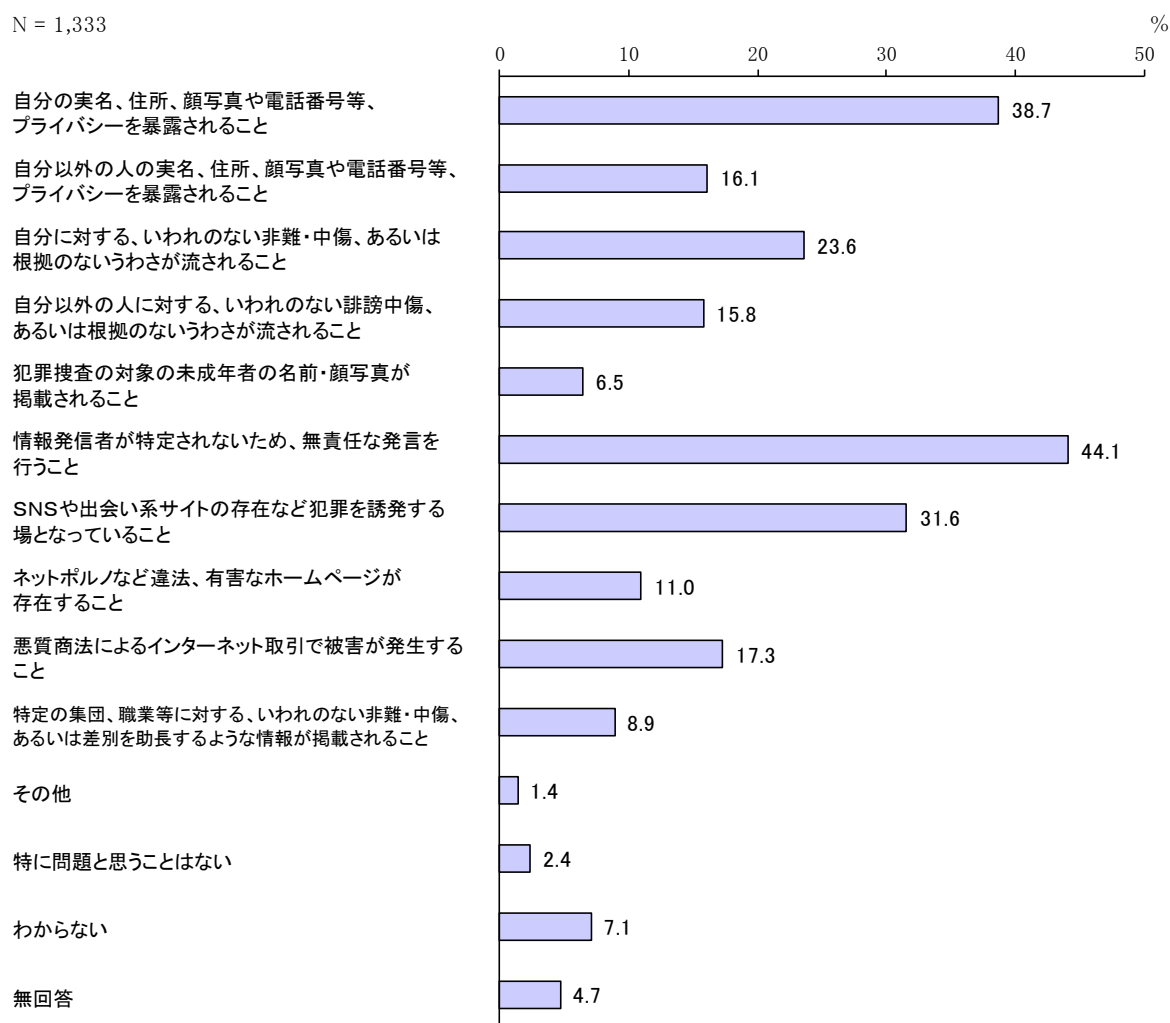
区分	有効回答数(件)	差別的な言動を受けること	事件のことにに関して、周囲にうわさ話をされること	捜査や刑事裁判において精神的負担を受けること	誤ってプライバシーが報道されること	マスコミ等の取材で平穏な私生活が保てなくなること	インターネットで情報が拡散されること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性 16～19歳	19	15.8	42.1	10.5	36.8	47.4	47.4	5.3	5.3	5.3	5.3
20～29歳	41	29.3	31.7	14.6	53.7	63.4	36.6	2.4	2.4	12.2	—
30～39歳	62	21.0	43.5	14.5	45.2	58.1	41.9	1.6	1.6	6.5	1.6
40～49歳	87	19.5	35.6	23.0	41.4	51.7	42.5	2.3	2.3	9.2	3.4
50～59歳	95	14.7	23.2	23.2	58.9	61.1	46.3	1.1	4.2	3.2	1.1
60～69歳	132	16.7	32.6	18.2	36.4	45.5	33.3	0.8	9.8	11.4	3.8
70歳以上	80	18.8	30.0	21.3	36.3	48.8	38.8	1.3	6.3	13.8	1.3
女性 16～19歳	26	7.7	50.0	15.4	30.8	53.8	34.6	—	—	15.4	—
20～29歳	46	19.6	41.3	23.9	60.9	63.0	34.8	2.2	—	2.2	4.3
30～39歳	108	24.1	33.3	17.6	52.8	54.6	54.6	—	1.9	6.5	3.7
40～49歳	166	15.1	33.7	13.9	48.8	53.0	56.0	0.6	4.2	7.2	4.2
50～59歳	147	12.2	32.7	17.0	48.3	57.8	53.7	1.4	—	10.2	1.4
60～69歳	179	14.0	30.2	16.2	38.0	52.0	41.3	—	0.6	15.6	5.6
70歳以上	88	13.6	31.8	26.1	40.9	50.0	34.1	—	3.4	15.9	2.3
選択しない											
16～19歳	1	—	—	—	100.0	100.0	100.0	—	—	—	—
20～29歳	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
30～39歳	4	—	25.0	25.0	50.0	50.0	50.0	—	—	—	25.0
40～49歳	8	25.0	25.0	25.0	25.0	37.5	50.0	—	—	25.0	—
50～59歳	5	—	20.0	40.0	40.0	20.0	40.0	—	20.0	20.0	—
60～69歳	2	—	50.0	50.0	100.0	50.0	—	—	—	—	—
70歳以上	3	—	33.3	—	33.3	33.3	33.3	—	—	—	33.3

## (8) インターネットに関する人権問題

問 14 あなたは、インターネットに関する人権問題について、現時点で特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

インターネットに関する人権問題については、「情報発信者が特定されないため、無責任な発言を行うこと」の割合が 44.1%と最も高く、次いで「自分の実名、住所、顔写真や電話番号等、プライバシーを暴露されること」の割合が 38.7%、「SNSや出会い系サイトの存在など犯罪を誘発する場となっていること」の割合が 31.6%となっています。

N = 1,333





【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「自分に対する、いわれのない非難・中傷、あるいは根拠のないうわさが流されること」「自分以外の人に対する、いわれのない誹謗中傷、あるいは根拠のないうわさが流されること」の割合が高くなっています。また、女性で「SNSや出会い系サイトの存在など犯罪を誘発する場となっていること」「ネットポルノなど違法、有害なホームページが存在すること」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	自分の実名、住所、顔写真や電話番号等、プライバシーを暴露されること	自分以外の実名、住所、顔写真や電話番号等、プライバシーを暴露されること	自分に対する、いわれのない非難・中傷、あるいは根拠のないうわさが流されること	自分以外の人に対する、いわれのない誹謗中傷、あるいは根拠のないうわさが流されること	犯罪捜査の対象の未成年者の名前・顔写真が掲載されること	情報発信者が特定されないため、無責任な発言を行うこと	SNSや出会い系サイトの存在など犯罪を誘発する場となっていること
男性	519	40.7	16.2	27.0	19.5	5.8	43.9	24.3
女性	765	38.3	15.7	21.8	13.7	7.2	44.3	36.3
選択しない	25	28.0	20.0	16.0	12.0	—	44.0	40.0

区分	ネットポルノなど違法、有害なホームページが存在すること	悪質商法によるインターネット取引で被害が発生すること	特定の集団、職業等に対する、いわれのない非難・中傷、あるいは差別を助長するような情報が掲載されること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	6.2	17.7	10.0	1.7	4.0	6.9	3.3
女性	13.9	17.1	8.1	1.0	1.4	7.2	5.1
選択しない	12.0	16.0	8.0	4.0	—	16.0	—

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、他に比べ、男性の10～19歳、女性の20～39歳で「自分の実名、住所、顔写真や電話番号等、プライバシーを暴露されること」の割合が、女性の50～59歳で「SNSや出会い系サイトの存在など犯罪を誘発する場となっていること」の割合が高く、約5割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	自分の実名、住所、顔写真や電話番号等、プライバシーを暴露されること	自分以外の人の実名、住所、顔写真や電話番号等、プライバシーを暴露されること	自分に対する、いわれのない非難・中傷、あるいは根拠のないうわさが流されること	自分以外の人に対する、いわれのない誹謗中傷、あるいは根拠のないうわさが流されること	犯罪捜査の対象の未成年者の名前・顔写真が掲載されること	情報発信者が特定されないため、無責任な発言を行うこと	SNSや出会い系サイトの存在など犯罪を誘発する場となっていること
男性 16～19歳	19	52.6	15.8	31.6	15.8	5.3	31.6	10.5
20～29歳	41	46.3	31.7	12.2	31.7	4.9	39.0	22.0
30～39歳	62	43.5	19.4	33.9	17.7	11.3	46.8	16.1
40～49歳	87	49.4	19.5	27.6	23.0	5.7	40.2	23.0
50～59歳	95	41.1	15.8	36.8	23.2	7.4	55.8	21.1
60～69歳	132	34.1	12.1	22.7	12.9	3.8	40.9	29.5
70歳以上	80	32.5	10.0	22.5	18.8	3.8	41.3	32.5
女性 16～19歳	26	46.2	7.7	23.1	11.5	15.4	30.8	34.6
20～29歳	46	52.2	23.9	28.3	8.7	6.5	32.6	21.7
30～39歳	108	50.9	33.3	24.1	18.5	8.3	42.6	35.2
40～49歳	166	44.6	18.1	32.5	17.5	4.8	51.8	28.9
50～59歳	147	31.3	17.7	18.4	17.0	8.2	49.0	47.6
60～69歳	179	27.9	5.6	16.2	8.9	8.4	43.0	37.4
70歳以上	88	33.0	5.7	12.5	9.1	4.5	38.6	40.9
選択しない								
16～19歳	1	100.0	—	—	—	—	—	100.0
20～29歳	1	—	—	—	—	—	—	—
30～39歳	4	50.0	50.0	50.0	25.0	—	50.0	25.0
40～49歳	8	25.0	37.5	—	—	—	62.5	25.0
50～59歳	5	20.0	—	20.0	20.0	—	60.0	40.0
60～69歳	2	50.0	—	50.0	—	—	—	100.0
70歳以上	3	—	—	—	—	—	33.3	33.3

【性・年齢別】

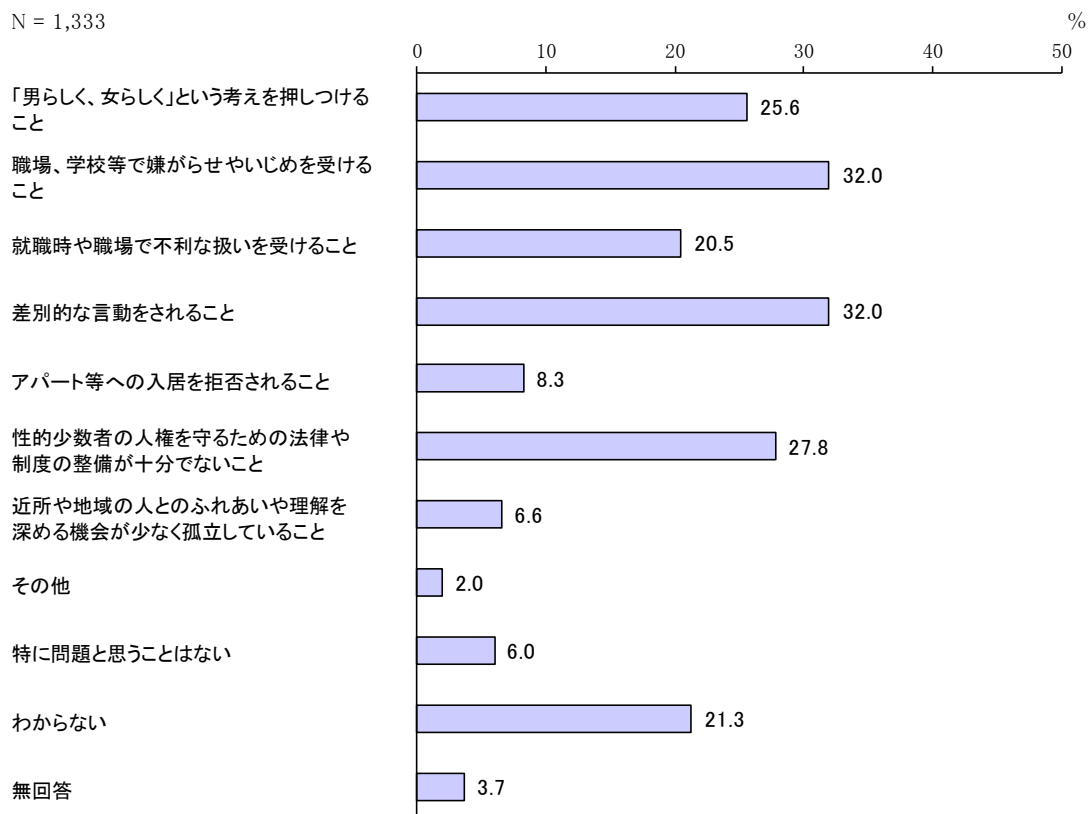
単位：％

区分	ネットポルノなど違法、有害なホームページが存在すること	悪質商法によるインターネット取引で被害が発生すること	特定の集団、職業等に対する、いわれのない非難・中傷、あるいは差別を助長するような情報が掲載されること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性 16～19 歳	5.3	5.3	5.3	—	—	5.3	5.3
20～29 歳	2.4	7.3	22.0	4.9	—	7.3	—
30～39 歳	6.5	19.4	6.5	—	4.8	3.2	6.5
40～49 歳	1.1	16.1	5.7	2.3	2.3	6.9	3.4
50～59 歳	7.4	17.9	12.6	1.1	4.2	1.1	1.1
60～69 歳	6.8	18.9	10.6	3.0	7.6	8.3	3.0
70 歳以上	10.0	23.8	7.5	—	2.5	15.0	5.0
女性 16～19 歳	3.8	23.1	3.8	—	—	3.8	3.8
20～29 歳	10.9	13.0	13.0	—	2.2	6.5	4.3
30～39 歳	13.0	6.5	9.3	0.9	—	1.9	4.6
40～49 歳	19.3	13.3	5.4	0.6	1.2	2.4	5.4
50～59 歳	10.9	23.8	7.5	2.0	—	5.4	3.4
60～69 歳	14.0	21.8	11.2	0.6	1.1	14.0	6.1
70 歳以上	14.8	18.2	4.5	2.3	5.7	12.5	6.8
選択しない 16～19 歳	—	100.0	—	—	—	—	—
20～29 歳	—	—	—	—	—	100.0	—
30～39 歳	25.0	—	—	—	—	—	—
40～49 歳	12.5	12.5	12.5	—	—	12.5	—
50～59 歳	20.0	—	20.0	—	—	20.0	—
60～69 歳	—	100.0	—	—	—	—	—
70 歳以上	—	—	—	—	—	33.3	—

## (9) LGBTなどの性的少数者に関する人権問題

問15 あなたは、LGBT（異性愛、同性愛、両性愛、性同一性障がいなど）などの性的少数者に関する人権問題について、現時点で特に問題があると思われるのはどのようなことですか。（〇は3つまで）

LGBTなどの性的少数者に関する人権問題については、「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」「差別的な言動をされること」の割合が32.0%と最も高く、次いで「性的少数者の人権を守るための法律や制度の整備が十分でないこと」の割合が27.8%となっています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「特に問題と思うことはない」の割合が高くなっています。また、女性で「男らしく、女らしく」という考えを押しつけること」「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」「就職時や職場で不利な扱いを受けること」「差別的な言動をされること」の割合が高くなっています。

区分	有効回答数(件)	「男らしく、女らしく」という考えを押しつけること	職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	就職時や職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アパート等への入居を拒否されること
男性	519	22.2	28.5	17.3	28.7	6.0
女性	765	27.6	34.9	23.3	34.4	9.8
選択しない	25	24.0	20.0	12.0	28.0	12.0

区分	性的少数者の人権を守るための法律や制度の整備が十分でないこと	近所や地域の人のふれあいや理解を深める機会が少なく孤立していること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	27.2	8.3	2.7	11.2	20.4	3.1
女性	28.9	5.5	1.6	2.5	22.1	3.4
選択しない	20.0	—	4.0	—	32.0	4.0

【性・年齢別】

性・年齢別でみると、他に比べ、男性の16～19歳、女性の30～39歳で「職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること」の割合が高く、約5割となっています。また、女性の30～39歳で「差別的な言動をされること」の割合が、女性の20～29歳で「性的少数者の人権を守るための法律や制度の整備が十分でないこと」の割合が高く、4割台半ばとなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	「男らしく、女らしく」という考えを押しつけること	職場、学校等で嫌がらせやいじめを受けること	就職時や職場で不利な扱いを受けること	差別的な言動をされること	アパート等への入居を拒否されること
男性 16～19歳	19	21.1	52.6	15.8	42.1	5.3
20～29歳	41	36.6	36.6	17.1	43.9	12.2
30～39歳	62	27.4	37.1	24.2	32.3	8.1
40～49歳	87	24.1	24.1	8.0	13.8	5.7
50～59歳	95	21.1	31.6	16.8	32.6	7.4
60～69歳	132	15.9	24.2	17.4	26.5	3.0
70歳以上	80	18.8	20.0	22.5	30.0	3.8
女性 16～19歳	26	34.6	38.5	26.9	38.5	15.4
20～29歳	46	34.8	39.1	17.4	43.5	13.0
30～39歳	108	32.4	50.0	23.1	46.3	13.0
40～49歳	166	37.3	35.5	24.1	35.5	14.5
50～59歳	147	23.8	38.8	24.5	34.0	10.9
60～69歳	179	20.1	26.3	22.9	30.7	3.9
70歳以上	88	19.3	22.7	23.9	20.5	3.4
選択しない 16～19歳	1	—	—	—	—	—
20～29歳	1	—	—	—	—	—
30～39歳	4	50.0	25.0	—	75.0	25.0
40～49歳	8	12.5	12.5	—	12.5	12.5
50～59歳	5	40.0	60.0	20.0	—	20.0
60～69歳	2	—	—	50.0	50.0	—
70歳以上	3	—	—	33.3	33.3	—

【性・年齢別】

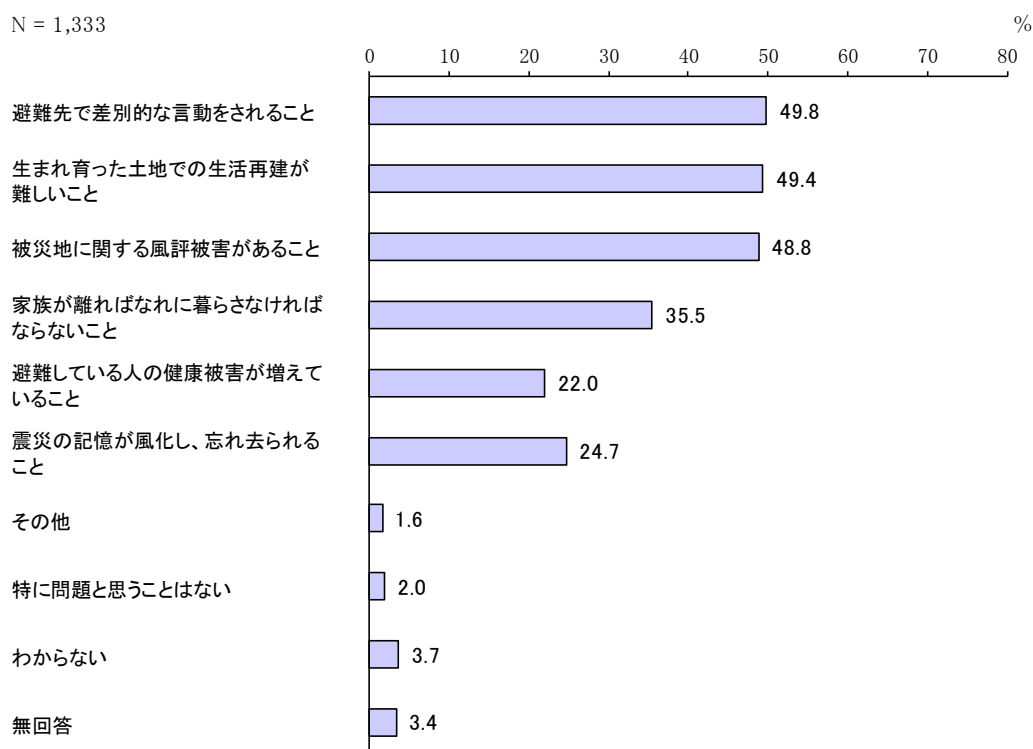
単位：％

区分	性的少数者の人権を守るための法律や制度の整備が十分でないこと	近所や地域の人のふれあいや理解を深める機会が少なく孤立していること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性 16～19 歳	21.1	5.3	5.3	—	15.8	5.3
20～29 歳	39.0	7.3	—	4.9	14.6	—
30～39 歳	29.0	11.3	3.2	4.8	19.4	3.2
40～49 歳	23.0	3.4	3.4	12.6	27.6	2.3
50～59 歳	28.4	9.5	4.2	11.6	12.6	3.2
60～69 歳	23.5	8.3	1.5	17.4	20.5	3.8
70 歳以上	31.3	11.3	—	10.0	27.5	3.8
女性 16～19 歳	30.8	3.8	3.8	3.8	11.5	—
20～29 歳	45.7	6.5	6.5	4.3	8.7	—
30～39 歳	35.2	5.6	1.9	—	10.2	1.9
40～49 歳	24.7	5.4	2.4	1.2	19.9	3.0
50～59 歳	28.6	4.1	0.7	2.0	22.4	1.4
60～69 歳	28.5	6.7	—	2.8	28.5	6.7
70 歳以上	22.7	5.7	1.1	5.7	36.4	5.7
選択しない 16～19 歳	—	—	—	—	100.0	—
20～29 歳	—	—	—	—	100.0	—
30～39 歳	—	—	—	—	—	—
40～49 歳	37.5	—	12.5	—	37.5	—
50～59 歳	20.0	—	—	—	40.0	—
60～69 歳	—	—	—	—	—	—
70 歳以上	—	—	—	—	33.3	33.3

## (10) 東日本大震災や福島第1原子力発電所事故に関する人権問題

問16 あなたは、東日本大震災や福島第1原子力発電所事故に関する人権問題について、現時点で特に問題があると思われるのはどのようなことですか。(〇は3つまで)

東日本大震災や福島第1原子力発電所事故に関する人権問題については、「避難先で差別的な言動をされること」の割合が49.8%と最も高く、次いで「生まれ育った土地での生活再建が難しいこと」の割合が49.4%、「被災地に関する風評被害があること」の割合が48.8%となっています。





【性別】

性別でみると、他に比べ、女性で「避難先で差別的な言動をされること」「家族が離ればなれに暮らさなければならぬこと」「避難している人の健康被害が増えていること」「震災の記憶が風化し、忘れ去られること」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	避難先で差別的な言動をされること	生まれ育った土地での生活再建が難しいこと	被災地に関する風評被害があること	家族が離ればなれに暮らさなければならぬこと	避難している人の健康被害が増えていること	震災の記憶が風化し、忘れ去られること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性	519	45.3	50.5	50.9	31.6	18.9	21.8	3.1	3.3	4.4	2.3
女性	765	53.3	49.7	48.0	38.4	24.6	26.9	0.7	1.2	2.5	3.5
選択しない	25	52.0	16.0	40.0	32.0	20.0	20.0	—	—	28.0	—

【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の40～49歳で「避難先で差別的な言動をされること」の割合が高く、6割台半ばとなっています。また、男性の60～69歳、女性の50～59歳で「生まれ育った土地での生活再建が難しいこと」の割合が、男性の60～69歳で「被災地に関する風評被害があること」の割合が高く、約6割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	避難先で差別的な言動をされること	生まれ育った土地での生活再建が難しいこと	被災地に関する風評被害があること	家族が離ればなれに暮らさなければならぬこと	避難している人の健康被害が増えていること	震災の記憶が風化し、忘れ去られること	その他	特に問題と思うことはない	わからない	無回答
男性 16～19 歳	19	26.3	31.6	26.3	36.8	—	10.5	5.3	5.3	10.5	5.3
20～29 歳	41	41.5	41.5	48.8	34.1	14.6	22.0	7.3	4.9	7.3	—
30～39 歳	62	40.3	43.5	40.3	25.8	19.4	30.6	4.8	6.5	9.7	3.2
40～49 歳	87	46.0	41.4	54.0	19.5	14.9	17.2	6.9	2.3	4.6	2.3
50～59 歳	95	48.4	51.6	55.8	29.5	20.0	30.5	1.1	2.1	3.2	2.1
60～69 歳	132	46.2	62.1	57.6	37.9	21.2	13.6	0.8	3.0	1.5	2.3
70 歳以上	80	48.8	55.0	46.3	36.3	23.8	25.0	1.3	2.5	3.8	2.5
女性 16～19 歳	26	46.2	30.8	38.5	19.2	19.2	38.5	—	3.8	7.7	—
20～29 歳	46	52.2	43.5	41.3	34.8	26.1	34.8	2.2	2.2	6.5	—
30～39 歳	108	53.7	52.8	55.6	37.0	20.4	17.6	—	—	1.9	4.6
40～49 歳	166	66.3	42.2	47.0	34.9	27.1	23.5	0.6	1.8	1.8	4.2
50～59 歳	147	51.0	57.1	51.0	42.9	25.2	25.2	0.7	—	1.4	2.7
60～69 歳	179	44.7	52.5	46.9	41.3	25.1	31.3	—	1.7	2.2	5.0
70 歳以上	88	52.3	52.3	46.6	42.0	25.0	33.0	2.3	—	2.3	2.3
選択しない 16～19 歳	1	100.0	—	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—
20～29 歳	1	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—
30～39 歳	4	50.0	—	25.0	50.0	—	50.0	—	—	25.0	—
40～49 歳	8	50.0	25.0	50.0	25.0	25.0	12.5	—	—	25.0	—
50～59 歳	5	40.0	—	40.0	—	20.0	40.0	—	—	40.0	—
60～69 歳	2	50.0	50.0	—	50.0	—	—	—	—	50.0	—
70 歳以上	3	66.7	33.3	100.0	66.7	—	—	—	—	—	—

## 4. 人権学習や行政への要望等

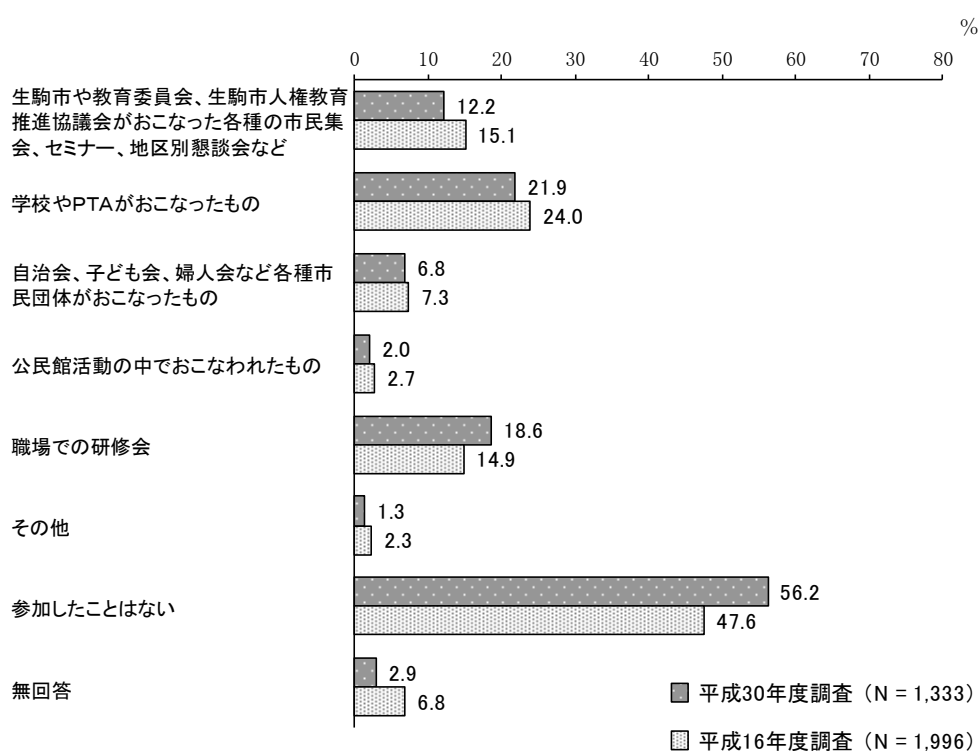
### (1) 人権問題の講演会や研修会への参加状況

問 17 あなたは、人権問題の講演会や研修会のうち、どのようなものに参加しましたか。今までとこの1年間のそれぞれについてお答えください。

問 17- (1) 今までに参加したものはどのようなものですか。(〇はいくつでも)

人権問題の講演会や研修会への参加については、「参加したことはない」の割合が56.2%と最も高く、次いで「学校やPTAがおこなったもの」の割合が21.9%、「職場での研修会」の割合が18.6%となっています。

平成16年度調査と比較すると、「参加したことはない」の割合が増加しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「職場での研修会」「参加したことはない」の割合が高くなっています。また、女性で「生駒市や教育委員会、生駒市人権教育推進協議会がおこなった各種の市民集会、セミナー、地区別懇談会など」「学校やPTAがおこなったもの」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	生駒市や教育委員会、生駒市人権教育推進協議会がおこなった各種の市民集会、セミナー、地区別懇談会など	学校やPTAがおこなったもの	自治会、子ども会、婦人会など各種市民団体がおこなったもの	公民館活動の中でおこなわれたもの	職場での研修会	その他	参加したことはない	無回答
男性	519	8.1	12.1	5.2	1.7	23.3	1.2	62.0	1.7
女性	765	15.6	28.6	7.8	2.0	15.7	1.3	52.3	3.7
選択しない	25	—	24.0	4.0	4.0	12.0	4.0	60.0	—

## 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が上がるにつれ「生駒市や教育委員会、生駒市人権教育推進協議会がおこなった各種の市民集会、セミナー、地区別懇談会など」の割合が高くなっています。また、他に比べ、16～19歳で「学校やPTAがおこなったもの」の割合が、20～39歳で「参加したことはない」の割合が高くなっています。

単位：％

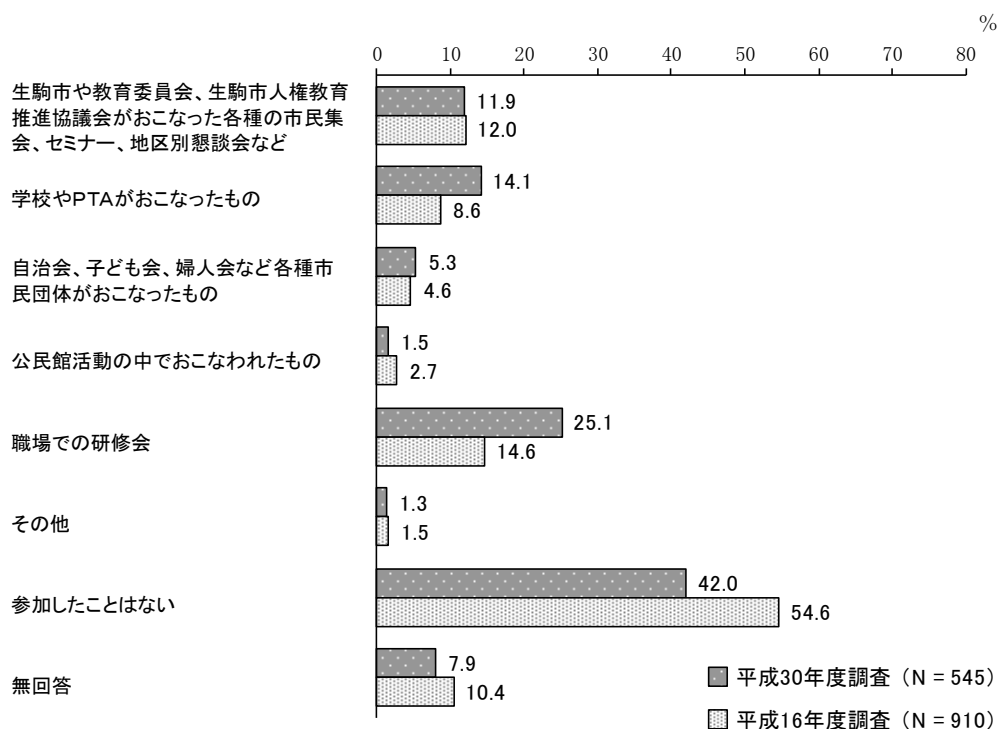
区分	有効回答数(件)	生駒市や教育委員会、生駒市人権教育推進協議会がおこなった各種の市民集会、セミナー、地区別懇談会など	学校やPTAがおこなったもの	自治会、子ども会、婦人会など各種市民団体がおこなったもの	公民館活動の中でおこなわれたもの	職場での研修会	その他	参加したことはない	無回答
16～19歳	46	4.3	60.9	6.5	—	—	2.2	30.4	—
20～29歳	88	4.5	21.6	2.3	1.1	18.2	1.1	65.9	2.3
30～39歳	174	4.6	14.9	2.9	0.6	21.3	1.1	67.2	1.1
40～49歳	263	8.7	25.5	3.8	0.8	19.4	1.9	56.3	1.5
50～59歳	248	10.1	25.0	6.9	2.0	25.8	0.4	53.2	2.4
60～69歳	314	19.7	19.4	10.5	2.9	19.1	1.9	52.5	4.1
70歳以上	171	21.1	15.2	9.9	4.1	8.8	0.6	57.3	5.8

## (2) 最近1年間の参加状況

問17ー(2) そのうち、この1年間に参加したものはどのようなものですか。  
(〇はいくつでも)

最近1年間の参加状況については、「参加したことはない」の割合が42.0%と最も高く、次いで「職場での研修会」の割合が25.1%、「学校やPTAがおこなったもの」の割合が14.1%となっています。

平成16年度調査と比較すると、「学校やPTAがおこなったもの」「職場での研修会」の割合が増加しています。また、「参加したことはない」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「職場での研修会」の割合が高くなっています。また、女性で「学校やPTAがおこなったもの」「参加したことはない」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	生駒市や教育委員会、生駒市人権教育推進協議会がおこなった各種の市民集会、セミナー、地区別懇談会など	学校やPTAがおこなったもの	自治会、子ども会、婦人会など各種市民団体がおこなったもの	公民館活動の中でおこなわれたもの	職場での研修会	その他	参加したことはない	無回答
男性	188	13.8	8.0	5.9	1.1	36.2	1.1	36.7	4.3
女性	337	11.3	17.2	4.7	1.8	19.0	1.2	45.4	10.1
選択しない	10	—	30.0	—	—	10.0	10.0	40.0	10.0

## 【年齢別】

年齢別で見ると、他に比べ、16～19歳で「学校やPTAがおこなったもの」の割合が高く、7割台半ばとなっています。また、30～39歳、50～59歳で「職場での研修会」の割合が、60～69歳で「参加したことはない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	生駒市や教育委員会、生駒市人権教育推進協議会がおこなった各種の市民集会、セミナー、地区別懇談会など	学校やPTAがおこなったもの	自治会、子ども会、婦人会など各種市民団体がおこなったもの	公民館活動の中でおこなわれたもの	職場での研修会	その他	参加したことはない	無回答
16～19歳	32	3.1	75.0	—	—	3.1	3.1	15.6	—
20～29歳	28	7.1	17.9	7.1	—	32.1	—	35.7	7.1
30～39歳	55	7.3	20.0	1.8	—	41.8	—	30.9	5.5
40～49歳	111	6.3	18.0	3.6	—	32.4	1.8	37.8	9.0
50～59歳	110	6.4	10.0	1.8	1.8	40.9	0.9	40.9	6.4
60～69歳	136	15.4	1.5	5.9	2.9	12.5	2.2	57.4	10.3
70歳以上	63	34.9	4.8	15.9	3.2	4.8	—	46.0	9.5



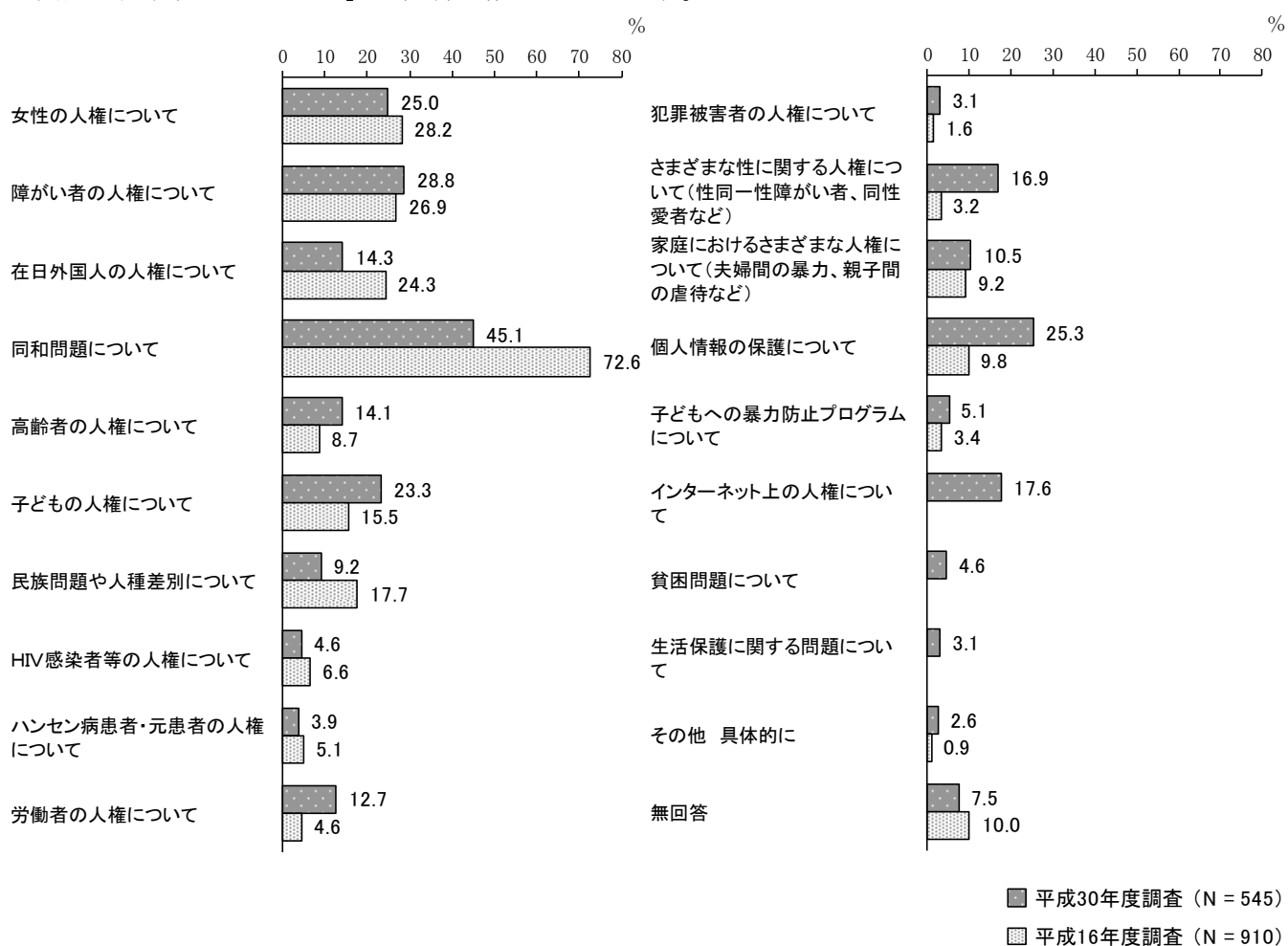
### (3) 今まで参加した講演会の内容

問17で今までに参加したことがあると答えた方におうかがいします。

問18- (1) 今までに参加した講演会や研修会の内容は、どのようなものでしたか。  
(〇はいくつでも)

今までに参加した講演会等の内容については、「同和問題について」の割合が45.1%と最も高く、次いで「障がい者の人権について」の割合が28.8%、「個人情報保護について」の割合が25.3%となっています。

平成16年度調査と比較すると、「高齢者の人権について」「子どもの人権について」「労働者の人権について」「さまざまな性に関する人権について(性同一性障がい者、同性愛者など)」「個人情報の保護について」の割合が増加し、「在日外国人の人権について」「同和問題について」「民族問題や人種差別について」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「労働者の人権について」「個人情報の保護について」の割合が高くなっています。また、女性で「子どもの人権について」「家庭におけるさまざまな人権について（夫婦間の暴力、親子間の虐待など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	女性の人権について	障がい者の人権について	在日外国人の人権について	同和問題について	高齢者の人権について	子どもの人権について	民族問題や人種差別について	HIV感染者等の人権について	ハンセン病患者・元患者の人権について	労働者の人権について
男性	188	23.9	29.8	14.9	44.7	13.8	16.5	11.7	5.9	4.3	19.1
女性	337	26.1	28.8	14.5	45.7	15.1	27.3	8.3	3.9	3.6	9.5
選択しない	10	10.0	10.0	—	30.0	—	10.0	—	10.0	—	—

区分	犯罪被害者の人権について	さまざまな性に関する人権について（性同一性障がい者、同性愛者など）	家庭におけるさまざまな人権について（夫婦間の暴力、親子間の虐待など）	個人情報の保護について	子どもへの暴力防止プログラムについて	インターネット上の人権について	貧困問題について	生活保護に関する問題について	その他 具体的に	無回答
男性	2.1	17.6	5.9	30.9	2.1	18.6	1.6	3.2	2.1	6.4
女性	3.6	16.6	12.2	22.8	6.5	17.8	5.9	3.0	2.7	8.3
選択しない	10.0	20.0	10.0	10.0	—	10.0	—	—	—	10.0

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「障がい者の人権について」の割合が、60歳以上で「同和問題について」の割合が、16～19歳で「インターネット上の人権について」の割合が高く、約6割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	女性の人権について	障がい者の人権について	在日外国人の人権について	同和問題について	高齢者の人権について	子どもの人権について	民族問題や人種差別について	HIV感染者等の人権について	ハンセン病患者・元患者の人権について	労働者の人権について
16～19歳	32	28.1	56.3	34.4	37.5	6.3	18.8	31.3	12.5	12.5	9.4
20～29歳	28	21.4	60.7	25.0	53.6	17.9	17.9	14.3	14.3	7.1	14.3
30～39歳	55	21.8	27.3	10.9	45.5	12.7	40.0	5.5	5.5	1.8	25.5
40～49歳	111	25.2	28.8	13.5	27.9	10.8	30.6	6.3	1.8	0.9	9.0
50～59歳	110	26.4	23.6	12.7	40.0	10.9	22.7	8.2	2.7	1.8	18.2
60～69歳	136	27.9	25.0	14.7	58.1	19.1	16.2	8.8	4.4	3.7	8.1
70歳以上	63	20.6	20.6	6.3	57.1	20.6	15.9	6.3	4.8	9.5	9.5

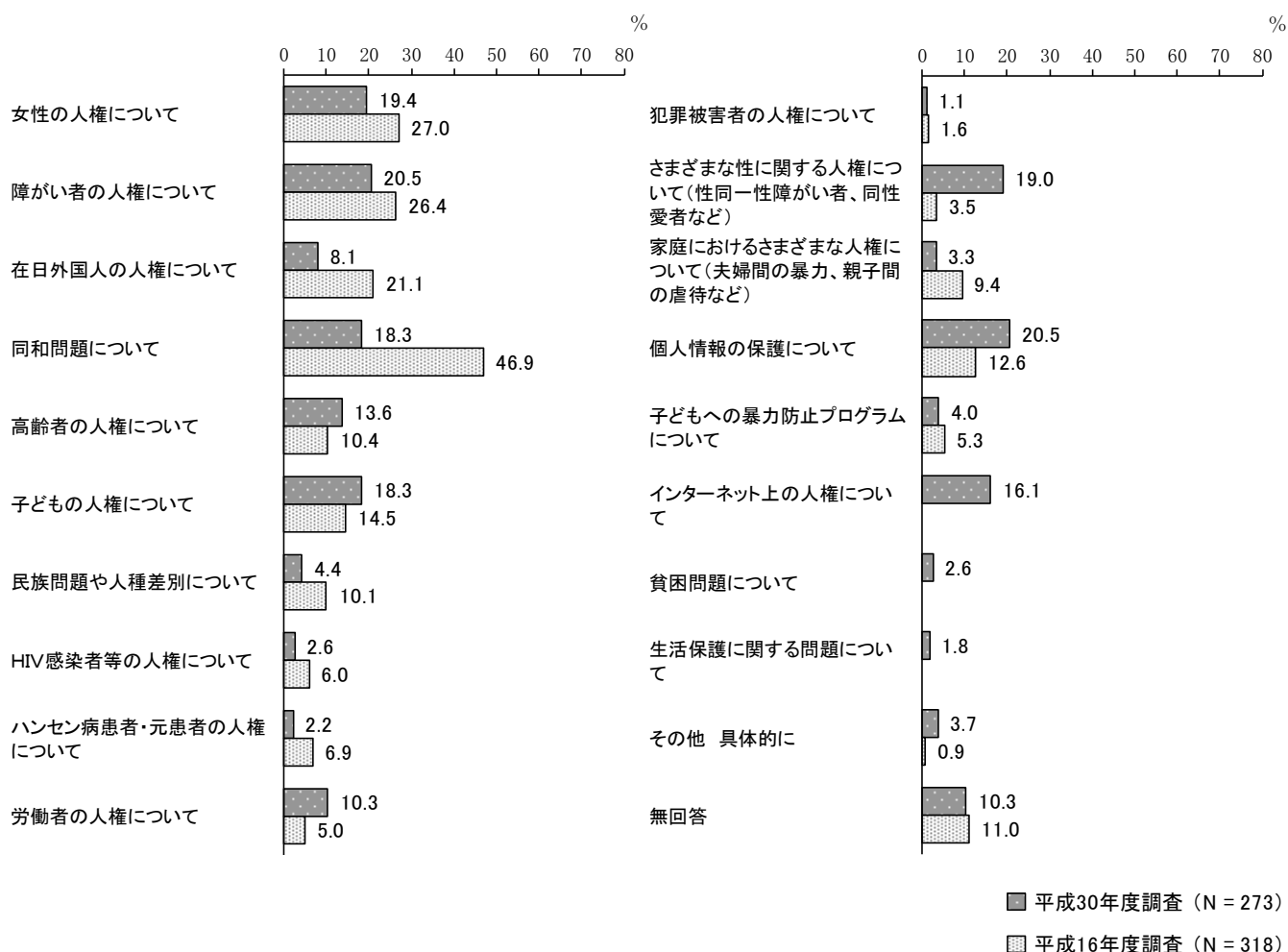
区分	犯罪被害者の人権について	さまざまな性に関する人権について(性同一性障がい者、同性愛者など)	親子間の虐待など)	家庭におけるさまざまな人権について(夫婦間の暴力、)	個人情報保護について	子どもへの暴力防止プログラムについて	インターネット上の人権について	貧困問題について	生活保護に関する問題について	その他 具体的に	無回答
16～19歳	6.3	34.4	15.6	28.1	3.1	59.4	3.1	6.3	—	3.1	
20～29歳	10.7	32.1	14.3	32.1	7.1	17.9	21.4	—	3.6	10.7	
30～39歳	1.8	27.3	10.9	32.7	5.5	25.5	3.6	1.8	5.5	7.3	
40～49歳	1.8	14.4	9.0	25.2	8.1	23.4	2.7	3.6	3.6	8.1	
50～59歳	1.8	18.2	13.6	30.0	5.5	18.2	4.5	2.7	2.7	3.6	
60～69歳	5.1	11.8	6.6	19.9	3.7	5.9	2.2	3.7	0.7	9.6	
70歳以上	—	6.3	6.3	17.5	—	6.3	4.8	1.6	1.6	9.5	

#### (4) 最近1年間に参加した講演会の内容

問 18- (2) そのうち、この1年間に参加した講演会や研修会の内容は、どのようなものでしたか。(〇はいくつでも)

最近1年間に参加した講演会の内容は、「障がい者の人権について」「個人情報の保護について」の割合が20.5%と最も高く、次いで「女性の人権について」の割合が19.4%となっています。

平成16年度調査と比較すると、「労働者の人権について」「さまざまな性に関する人権について(性同一性障がい者、同性愛者など)」「個人情報の保護について」の割合が増加し、「女性の人権について」「障がい者の人権について」「在日外国人の人権について」「同和問題について」「民族問題や人種差別について」「家庭におけるさまざまな人権について(夫婦間の暴力、親子間の虐待など)」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「労働者の人権について」「個人情報の保護について」の割合が高くなっています。また、女性で「インターネット上の人権について」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	女性の人権について	障がい者の人権について	在日外国人の人権について	同和問題について	高齢者の人権について	子どもの人権について	民族問題や人種差別について	HIV感染者等の人権について	ハンセン病患者・元患者の人権について	労働者の人権について
男性	111	19.8	19.8	7.2	17.1	14.4	15.3	5.4	1.8	2.7	15.3
女性	150	20.0	21.3	9.3	19.3	14.0	20.0	4.0	2.7	2.0	6.7
選択しない	5	—	—	—	20.0	—	—	—	20.0	—	—

区分	犯罪被害者の人権について	さまざまな性に関する人権について(性同一性障がい者、同性愛者など)	家庭におけるさまざまな人権について(夫婦間の暴力、親子間の虐待など)	個人情報の保護について	子どもへの暴力防止プログラムについて	インターネット上の人権について	貧困問題について	生活保護に関する問題について	その他 具体的に	無回答
男性	1.8	18.9	0.9	24.3	1.8	12.6	0.9	1.8	2.7	9.9
女性	0.7	19.3	4.7	18.0	4.7	19.3	2.7	1.3	4.0	8.7
選択しない	—	20.0	—	—	—	20.0	—	—	—	40.0

【年齢別】

年齢別でみると、年齢が下がるにつれ「インターネット上の人権について」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、16～19歳で「障がい者の人権について」「さまざまな性に関する人権について（性同一性障がい者、同性愛者など）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	女性の人権について	障がい者の人権について	在日外国人の人権について	同和問題について	高齢者の人権について	子どもの人権について	民族問題や人種差別について	HIV感染者等の人権について	ハンセン病患者・元患者の人権について	労働者の人権について
16～19歳	27	22.2	29.6	18.5	25.9	7.4	11.1	14.8	7.4	7.4	7.4
20～29歳	16	6.3	18.8	6.3	25.0	12.5	6.3	—	12.5	12.5	6.3
30～39歳	35	22.9	20.0	2.9	31.4	14.3	31.4	2.9	—	—	14.3
40～49歳	59	15.3	22.0	8.5	11.9	10.2	23.7	5.1	1.7	—	5.1
50～59歳	58	13.8	19.0	10.3	12.1	8.6	10.3	3.4	1.7	1.7	22.4
60～69歳	44	34.1	18.2	6.8	13.6	20.5	18.2	2.3	—	—	4.5
70歳以上	28	17.9	14.3	3.6	25.0	28.6	14.3	3.6	3.6	3.6	3.6

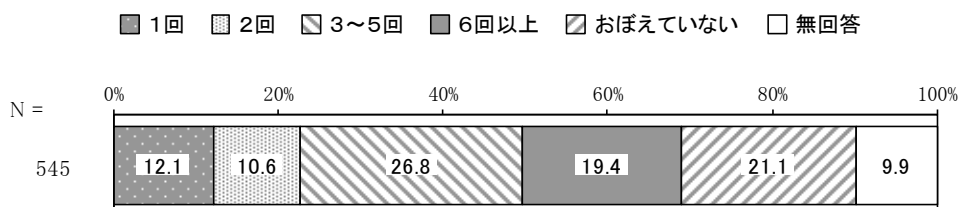
区分	犯罪被害者の人権について	さまざまな性に関する人権について（性同一性障がい者、同性愛者など）	親子間の虐待など	家庭におけるさまざまな人権について（夫婦間の暴力、	個人情報の保護について	子どもへの暴力防止プログラムについて	インターネット上の人権について	貧困問題について	生活保護に関する問題について	その他 具体的に	無回答
16～19歳	3.7	37.0	3.7	22.2	—	29.6	3.7	3.7	—	—	3.7
20～29歳	—	12.5	12.5	25.0	—	25.0	—	—	6.3	6.3	6.3
30～39歳	2.9	20.0	—	34.3	2.9	17.1	—	—	2.9	14.3	14.3
40～49歳	—	15.3	1.7	15.3	6.8	18.6	1.7	—	6.8	8.5	8.5
50～59歳	1.7	22.4	3.4	20.7	3.4	15.5	—	3.4	1.7	8.6	8.6
60～69歳	—	13.6	4.5	15.9	4.5	9.1	4.5	2.3	2.3	15.9	15.9
70歳以上	—	14.3	—	14.3	—	7.1	3.6	—	3.6	10.7	10.7

## (5) 今までに参加した回数

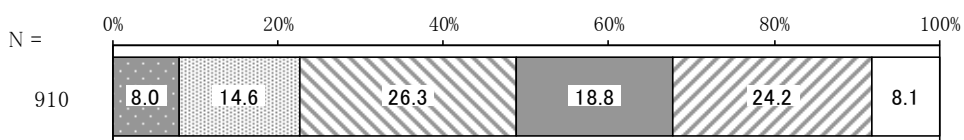
問 18- (3) 講演会や研修会には、今までに何回ぐらい参加しましたか。  
(〇は1つだけ)

講演会等に今までに参加した回数は、「3～5回」の割合が26.8%と最も高く、次いで「おぼえていない」の割合が21.1%、「6回以上」の割合が19.4%となっています。

平成16年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

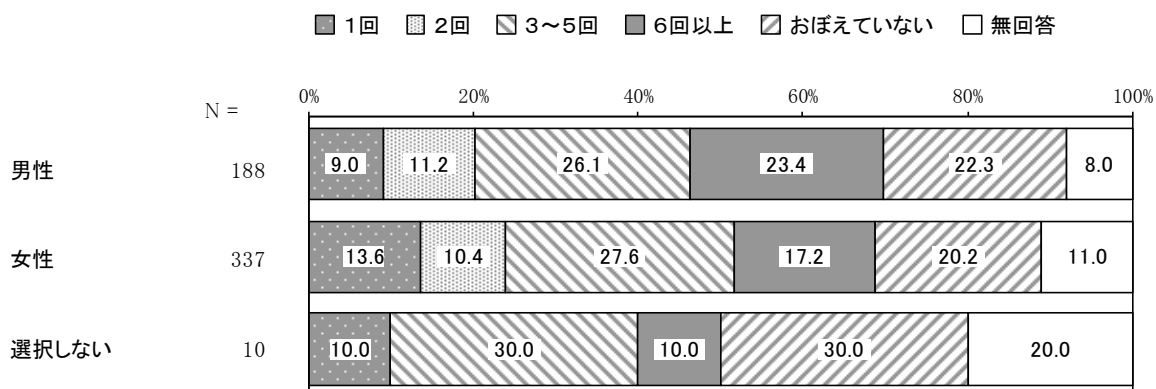


### 【平成16年度調査】



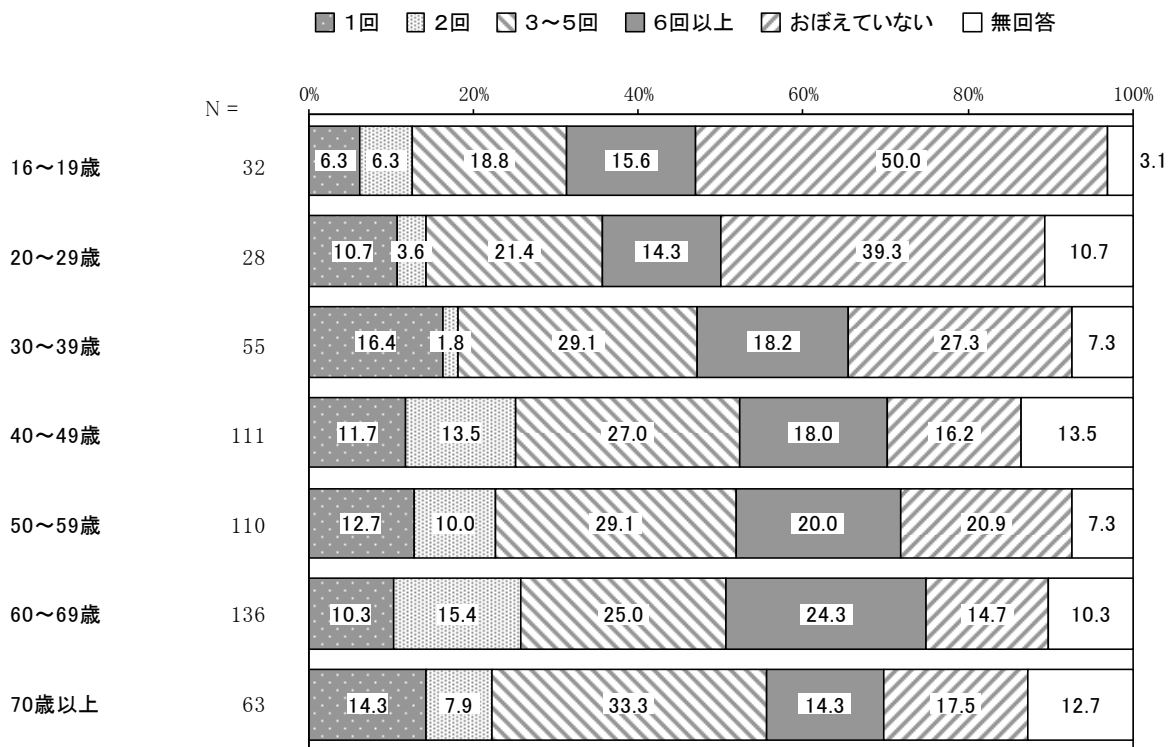
### 【性別】

性別で見ると、他に比べ、男性で「6回以上」の割合が高くなっています。



【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「3～5回」の割合が高く、3割を超えています。



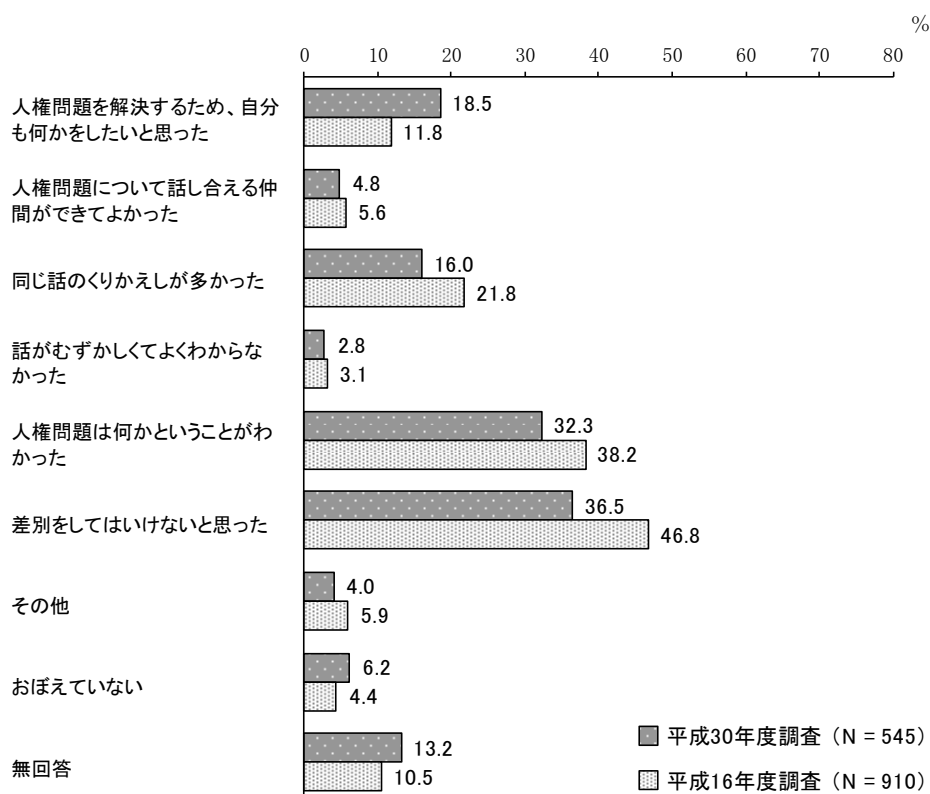


## (6) 参加しての印象や感想

### 問 18ー (4) 参加してどのような印象や感想を持ちましたか。(〇はいくつでも)

講演会等へ参加しての印象や感想は、「差別をしてはいけないと思った」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「人権問題は何かということがわかった」の割合が 32.3%、「人権問題を解決するため、自分も何かをしたいと思った」の割合が 18.5%となっています。

平成 16 年度調査と比較すると、「人権問題を解決するため、自分も何かをしたいと思った」の割合が増加し、「同じ話のくりかえしが多かった」「人権問題は何かということがわかった」「差別をしてはいけないと思った」の割合が減少しています。



## 【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「同じ話のくりかえしが多かった」の割合が高く、約2割となっています。

単位：％

区分	有効回答数（件）	人権問題を解決するため、自分も何かをしたいと思った	人権問題について話し合える仲間ができてよかった	同じ話のくりかえしが多かった	話がむずかしくてよくわからなかった	人権問題は何かというところがわかった	差別をしてはいけないと思った	その他	おぼえていない	無回答
男性	188	20.2	3.2	22.9	1.6	35.6	34.0	4.3	2.7	12.2
女性	337	17.8	5.3	11.9	2.7	31.5	38.9	3.9	8.0	13.9
選択しない	10	—	20.0	20.0	10.0	20.0	30.0	—	—	20.0

## 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、70歳以上で「差別をしてはいけないと思った」の割合が高く、4割台半ばとなっています。また、60～69歳で「同じ話のくりかえしが多かった」の割合が高く、約2割となっています。

単位：％

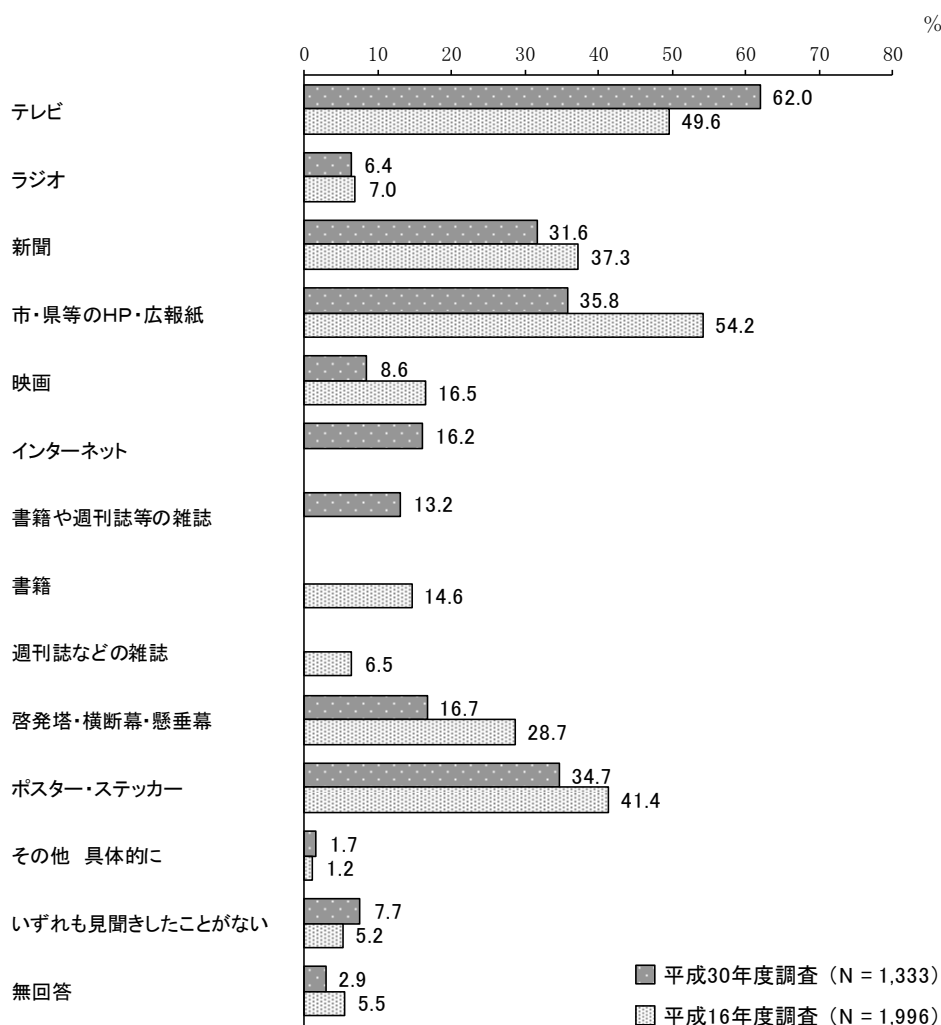
区分	有効回答数（件）	人権問題を解決するため、自分も何かをしたいと思った	人権問題について話し合える仲間ができてよかった	同じ話のくりかえしが多かった	話がむずかしくてよくわからなかった	人権問題は何かというところがわかった	差別をしてはいけないと思った	その他	おぼえていない	無回答
16～19歳	32	25.0	—	12.5	—	34.4	37.5	3.1	9.4	3.1
20～29歳	28	28.6	10.7	14.3	3.6	35.7	28.6	—	—	10.7
30～39歳	55	18.2	1.8	12.7	1.8	38.2	36.4	3.6	1.8	18.2
40～49歳	111	17.1	4.5	9.9	1.8	30.6	38.7	6.3	6.3	16.2
50～59歳	110	22.7	4.5	16.4	0.9	31.8	33.6	5.5	5.5	9.1
60～69歳	136	16.2	5.1	22.1	5.1	29.4	36.8	3.7	6.6	14.7
70歳以上	63	11.1	7.9	15.9	1.6	38.1	46.0	—	9.5	14.3

## (7) 見聞きしたことがある人権啓発活動

問19 人権問題について次のようなもので啓発活動がおこなわれていますが、あなたは、どのようなもので見聞きされましたか。(〇はいくつでも)

見聞きしたことがある人権啓発活動は、「テレビ」の割合が62.0%と最も高く、次いで「市・県等のHP・広報紙」の割合が35.8%、「ポスター・ステッカー」の割合が34.7%となっています。

平成16年度調査と比較すると、「テレビ」の割合が増加し、「新聞」「市・県等のHP・広報紙」「映画」「啓発塔・横断幕・懸垂幕」「ポスター・ステッカー」の割合が減少しています。



### 【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「新聞」「啓発塔・横断幕・懸垂幕」の割合が高くなっています。また、女性で「市・県等のHP・広報紙」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	テレビ	ラジオ	新聞	市・県等のHP・広報紙	映画	インターネット	書籍や週刊誌等の雑誌	啓発塔・横断幕・懸垂幕	ポスター・ステッカー	その他 具体的に	いずれも見聞きしたことがない	無回答
男性	519	61.5	9.1	35.3	32.9	6.7	18.1	11.2	20.2	32.9	1.9	10.2	1.7
女性	765	62.2	4.6	28.9	38.0	9.9	14.9	14.2	14.1	35.6	1.4	5.9	3.3
選択しない	25	60.0	4.0	28.0	20.0	8.0	16.0	16.0	20.0	44.0	—	12.0	8.0

### 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が上がるにつれ「新聞」の割合が高く、20歳以上で年齢が下がるにつれ「インターネット」の割合が高くなっています。また、他に比べ、50歳以上で「市・県等のHP・広報紙」の割合が高く、約4割となっています。

単位：％

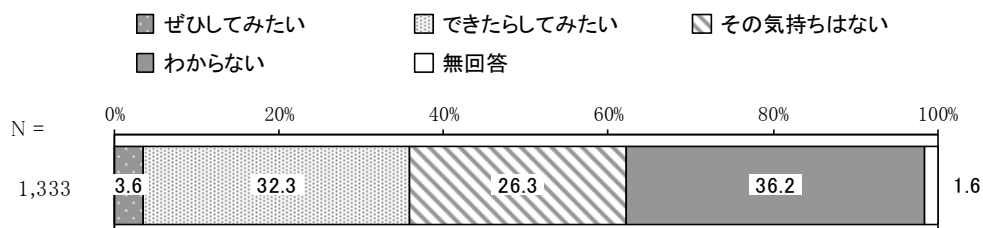
区分	有効回答数(件)	テレビ	ラジオ	新聞	市・県等のHP・広報紙	映画	インターネット	書籍や週刊誌等の雑誌	啓発塔・横断幕・懸垂幕	ポスター・ステッカー	その他 具体的に	いずれも見聞きしたことがない	無回答
16～19歳	46	41.3	—	10.9	10.9	10.9	17.4	10.9	15.2	43.5	4.3	13.0	2.2
20～29歳	88	60.2	4.5	15.9	15.9	15.9	37.5	6.8	10.2	33.0	1.1	14.8	1.1
30～39歳	174	64.4	6.3	20.1	30.5	6.9	31.0	12.1	14.4	39.7	1.1	10.9	0.6
40～49歳	263	62.7	3.4	24.0	36.1	3.8	14.4	9.5	16.0	40.7	1.9	9.1	3.0
50～59歳	248	61.7	5.2	30.6	40.7	9.3	17.7	14.9	19.4	38.3	2.0	4.8	2.4
60～69歳	314	63.4	8.0	41.7	39.8	10.5	7.6	15.9	19.4	28.0	1.6	5.7	2.9
70歳以上	171	61.4	10.5	49.7	42.1	8.2	5.3	14.6	13.5	25.7	0.6	5.3	5.8

## (8) 人権問題に関する読書や学習の意向

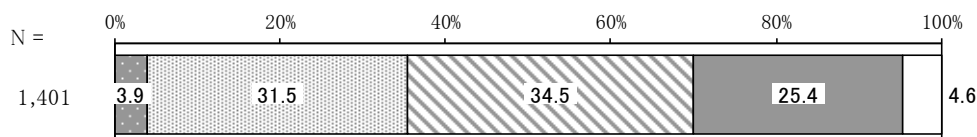
問 20 あなたは、人権問題の理解を深めるために、今後読書や学習（講演会や研修会の参加を含む）をしてみたいと思いますか。（1つに○）

人権問題に関する読書や学習の意向については、「わからない」の割合が36.2%と最も高く、次いで「できたらしてみたい」の割合が32.3%、「その気持ちはない」の割合が26.3%となっています。

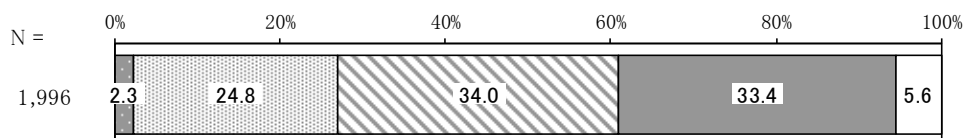
平成16年度調査、平成25年度調査と比較すると、「その気持ちはない」の割合が減少しています。また、平成16年度調査と比較すると、「できたらしてみたい」の割合が増加しています。



### 【平成25年度調査】

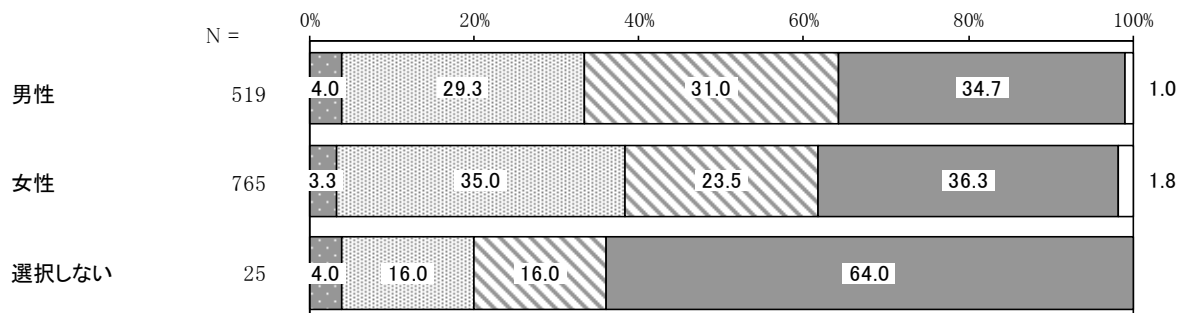


### 【平成16年度調査】



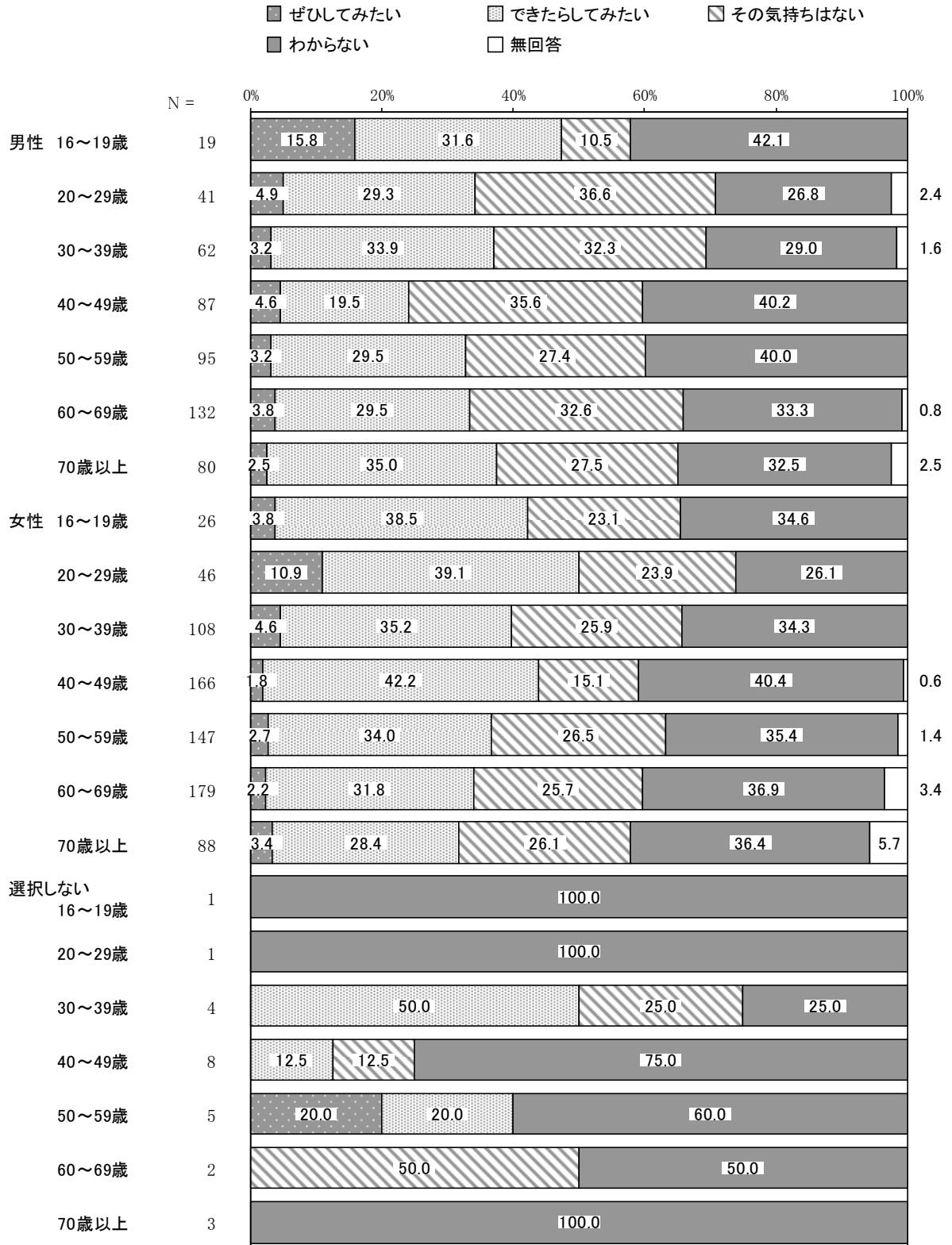
### 【性別】

性別で見ると、他に比べ、男性で「その気持ちはない」の割合が高くなっています。また、女性で「できたらしてみたい」の割合が高くなっています。



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、男性の20～49歳で「その気持ちはない」の割合が高く、3割を超えています。また、男性の16～19歳で「ぜひしてみたい」の割合が高くなっています。



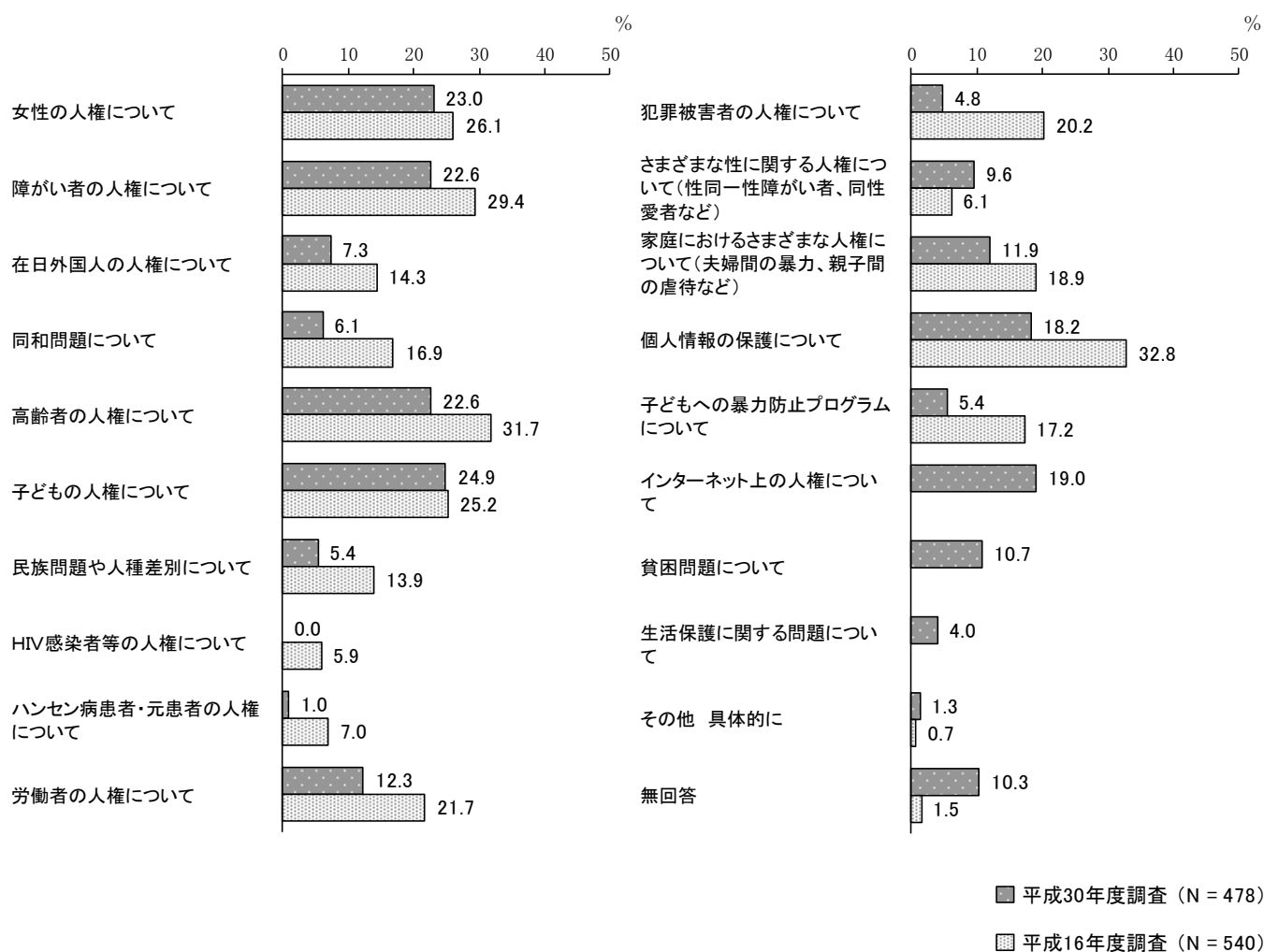
## (9) 特に理解を深めたい人権問題

問20で「1 ぜひしてみたい」または「2 できたらしてみたい」と答えた方におうかがいします。

### 問 21－(1) 特に理解を深めたいと思う問題はなんですか。(○は3つまで)

特に理解を深めたい人権問題は、「子どもの人権について」の割合が 24.9%と最も高く、次いで「女性の人権について」の割合が 23.0%、「障がい者の人権について」「高齢者の人権について」の割合が 22.6%となっています。

平成 16 年度調査と比較すると、「障がい者の人権について」「在日外国人の人権について」「同和問題について」「高齢者の人権について」「民族問題や人種差別について」「H I V感染者等の人権について」「ハンセン病患者・元患者の人権について」「労働者の人権について」「犯罪被害者の人権について」「家庭におけるさまざまな人権について(夫婦間の暴力、親子間の虐待など)」「個人情報保護について」「子どもへの暴力防止プログラムについて」の割合が減少しています。



【性別】

性別でみると、他に比べ、男性で「インターネット上の人権について」の割合が高くなっています。また、女性で「女性の人権について」「子どもの人権について」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	女性の人権について	障がい者の人権について	在日外国人の人権について	同和問題について	高齢者の人権について	子どもの人権について	民族問題や人種差別について	HIV感染者等の人権について	ハンセン病患者・元患者の人権について	労働者の人権について
男性	173	13.3	24.3	8.1	9.2	22.5	17.3	7.5	—	1.2	14.5
女性	293	28.0	22.2	7.2	4.4	22.5	28.7	4.4	—	1.0	11.3
選択しない	5	40.0	—	—	—	—	20.0	—	—	—	—

区分	犯罪被害者の人権について	さまざまな性に関する人権について(性同一性障がい者、同性愛者など)	家庭におけるさまざまな人権について(夫婦間の暴力、親子間の虐待など)	個人情報保護について	子どもへの暴力防止プログラムについて	インターネット上の人権について	貧困問題について	生活保護に関する問題について	その他 具体的に	無回答
男性	6.4	10.4	13.3	20.2	5.8	22.5	9.8	5.8	1.2	8.7
女性	3.8	9.2	11.3	17.1	5.1	17.1	11.6	3.1	1.4	10.6
選択しない	—	20.0	—	20.0	—	20.0	—	—	—	40.0



【性・年齢別】

性・年齢別で見ると、他に比べ、女性の30～49歳で「子どもの人権について」の割合が高く、特に40～49歳で4割台半ばとなっています。また、男性の50～59歳で「労働者の人権について」の割合が高く、約4割となっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	女性の人権について	障がい者の人権について	在日外国人の人権について	同和問題について	高齢者の人権について	子どもの人権について	民族問題や人種差別について	HIV感染者等の人権について	ハンセン病患者・元患者の人権について	労働者の人権について
男性 16～19歳	9	22.2	44.4	22.2	22.2	11.1	11.1	—	—	—	—
20～29歳	14	14.3	14.3	—	7.1	7.1	21.4	7.1	—	—	21.4
30～39歳	23	17.4	8.7	17.4	4.3	13.0	39.1	8.7	—	—	17.4
40～49歳	21	9.5	23.8	4.8	4.8	19.0	38.1	9.5	—	4.8	—
50～59歳	31	19.4	25.8	6.5	6.5	12.9	6.5	6.5	—	—	38.7
60～69歳	44	9.1	31.8	9.1	18.2	29.5	9.1	11.4	—	2.3	6.8
70歳以上	30	6.7	23.3	3.3	3.3	43.3	6.7	3.3	—	—	10.0
女性 16～19歳	11	18.2	18.2	27.3	—	9.1	18.2	—	—	—	—
20～29歳	23	30.4	30.4	13.0	17.4	4.3	26.1	4.3	—	—	21.7
30～39歳	43	32.6	11.6	14.0	7.0	14.0	41.9	4.7	—	—	7.0
40～49歳	73	23.3	23.3	5.5	6.8	16.4	45.2	1.4	—	—	13.7
50～59歳	54	31.5	24.1	3.7	—	16.7	22.2	1.9	—	—	16.7
60～69歳	61	31.1	26.2	1.6	1.6	34.4	18.0	9.8	—	1.6	8.2
70歳以上	28	21.4	17.9	7.1	—	57.1	7.1	7.1	—	7.1	3.6
選択しない	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
16～19歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20～29歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30～39歳	2	50.0	—	—	—	—	50.0	—	—	—	—
40～49歳	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
50～59歳	2	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	—
60～69歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
70歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【性・年齢別（つづき）】

単位：％

区分	て 犯罪被害者の人権につい	い者、同性愛者など） 権について（性同一性障が	さまさまな性に関する人 権について（夫婦間の暴	力、親子間の虐待など） 家庭におけるさまさまな 人権について	個人情報の保護について	子どもへの暴力防止プロ グラムについて	インターネット上の人権 について	貧困問題について	生活保護に関する問題に ついて	その他 具体的に	無回 答
男性 16～19 歳	—	33.3	—	11.1	—	33.3	—	—	—	—	11.1
20～29 歳	14.3	35.7	7.1	14.3	7.1	21.4	—	—	—	—	7.1
30～39 歳	8.7	8.7	21.7	—	8.7	21.7	21.7	—	—	4.3	4.3
40～49 歳	19.0	4.8	9.5	19.0	9.5	23.8	—	9.5	4.8	—	9.5
50～59 歳	3.2	6.5	9.7	29.0	3.2	32.3	16.1	3.2	—	—	3.2
60～69 歳	2.3	6.8	18.2	22.7	2.3	18.2	4.5	6.8	—	—	11.4
70 歳以上	3.3	6.7	13.3	30.0	10.0	16.7	13.3	13.3	—	—	13.3
女性 16～19 歳	9.1	18.2	—	9.1	9.1	—	18.2	—	—	—	18.2
20～29 歳	8.7	13.0	13.0	13.0	—	17.4	13.0	—	—	—	8.7
30～39 歳	4.7	9.3	4.7	9.3	11.6	4.7	11.6	9.3	—	—	11.6
40～49 歳	2.7	8.2	9.6	15.1	1.4	19.2	13.7	—	1.4	—	12.3
50～59 歳	1.9	13.0	9.3	22.2	9.3	25.9	11.1	3.7	1.9	—	11.1
60～69 歳	1.6	8.2	13.1	18.0	1.6	18.0	8.2	3.3	3.3	—	9.8
70 歳以上	7.1	—	28.6	28.6	7.1	17.9	10.7	3.6	—	—	3.6
選択しない 16～19 歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
20～29 歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
30～39 歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0
40～49 歳	—	—	—	100.0	—	100.0	—	—	—	—	—
50～59 歳	—	50.0	—	—	—	—	—	—	—	—	50.0
60～69 歳	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
70 歳以上	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

【世帯構成別】

世帯構成別で見ると、他に比べ、親と子ども、孫からなる世帯で「障がい者の人権について」「在日外国人の人権について」の割合が高くなっています。また、夫婦と子どもからなる世帯で「子どもの人権について」の割合が、ひとり親と子どもからなる世帯で「労働者の人権について」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	有効回答数(件)	女性の人権について	障がい者の人権について	在日外国人の人権について	同和問題について	高齢者の人権について	子どもの人権について	民族問題や人種差別について	HIV感染者等の人権について	ハンセン病患者・元患者の人権について	労働者の人権について
ひとり暮らし世帯	30	26.7	23.3	—	6.7	20.0	23.3	10.0	—	3.3	10.0
夫婦だけの世帯	128	18.8	20.3	9.4	6.3	28.1	15.6	10.2	—	2.3	13.3
夫婦と子どもからなる世帯	241	25.3	22.0	5.4	6.2	20.7	30.7	2.5	—	—	10.8
親と子ども、孫からなる世帯	33	21.2	39.4	21.2	6.1	24.2	24.2	9.1	—	—	6.1
ひとり親と子どもからなる世帯	24	12.5	16.7	8.3	8.3	8.3	20.8	4.2	—	4.2	33.3
その他	17	17.6	17.6	5.9	—	29.4	11.8	—	—	—	17.6

区分	犯罪被害者の人権について	さまざまな性に関する人権について(性同一性障がい者、同性愛者など)	家庭におけるさまざまな人権について(夫婦間の暴力、親子間の虐待など)	個人情報保護について	子どもへの暴力防止プログラムについて	インターネット上の人権について	貧困問題について	生活保護に関する問題について	その他 具体的に	無回答
ひとり暮らし世帯	10.0	6.7	16.7	20.0	3.3	16.7	16.7	10.0	3.3	13.3
夫婦だけの世帯	3.9	7.8	17.2	25.8	6.3	18.8	10.9	4.7	0.8	6.3
夫婦と子どもからなる世帯	5.0	10.4	8.7	14.1	6.2	19.9	8.7	2.1	1.2	11.6
親と子ども、孫からなる世帯	3.0	15.2	9.1	15.2	—	9.1	12.1	9.1	—	12.1
ひとり親と子どもからなる世帯	8.3	4.2	12.5	16.7	—	29.2	20.8	8.3	—	12.5
その他	—	17.6	11.8	17.6	5.9	17.6	11.8	—	5.9	11.8

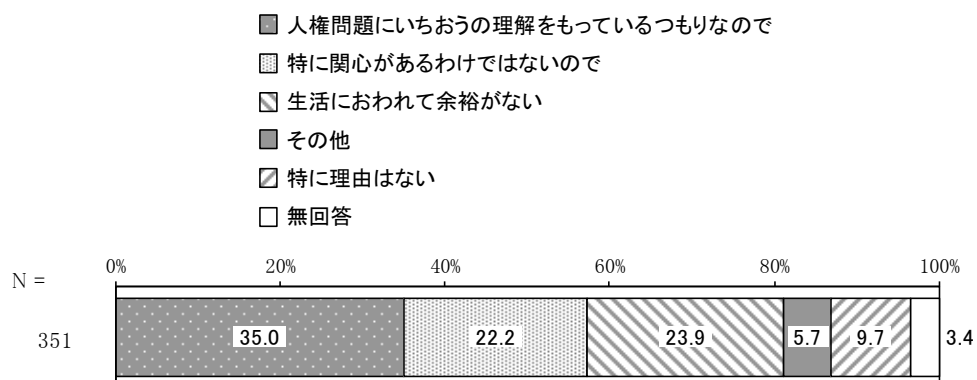
## (10) 意向がない人の理由

問 20 で「3 その気持ちはない」と答えた方におうかがいします。

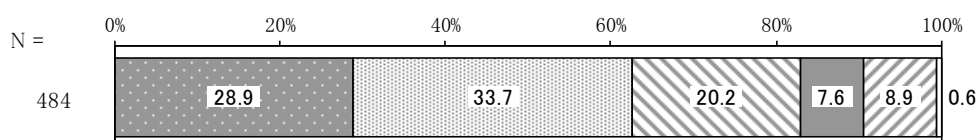
問 21ー (2) それはなぜですか。(1つに○)

人権問題の理解を深めるための学習の意向がない理由として、「人権問題にいちおうの理解をもっているつもりなので」の割合が 35.0%と最も高く、次いで「生活におわれて余裕がない」の割合が 23.9%、「特に関心があるわけではないので」の割合が 22.2%となっています。

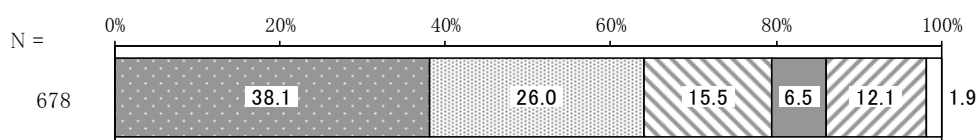
平成 25 年度調査と比較すると、「人権問題にいちおうの理解をもっているつもりなので」の割合が増加し、「特に関心があるわけではないので」の割合が減少しています。また、平成 16 年度調査と比較すると、「生活におわれて余裕がない」の割合が増加しています。



### 【平成 25 年度調査】

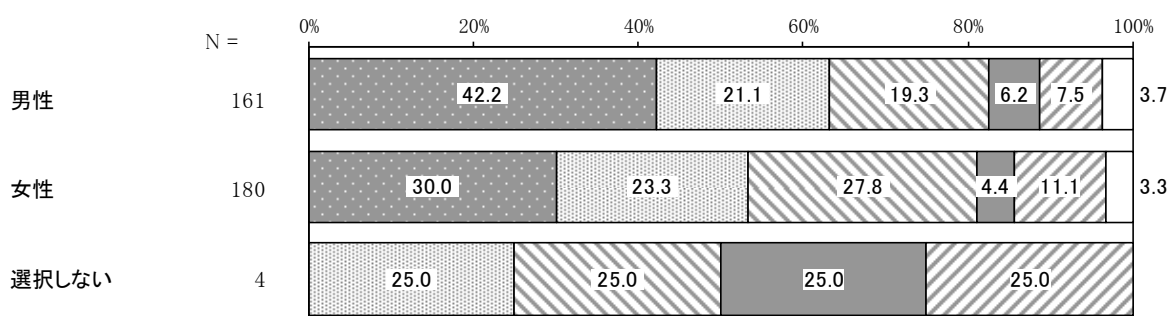


### 【平成 16 年度調査】



### 【性別】

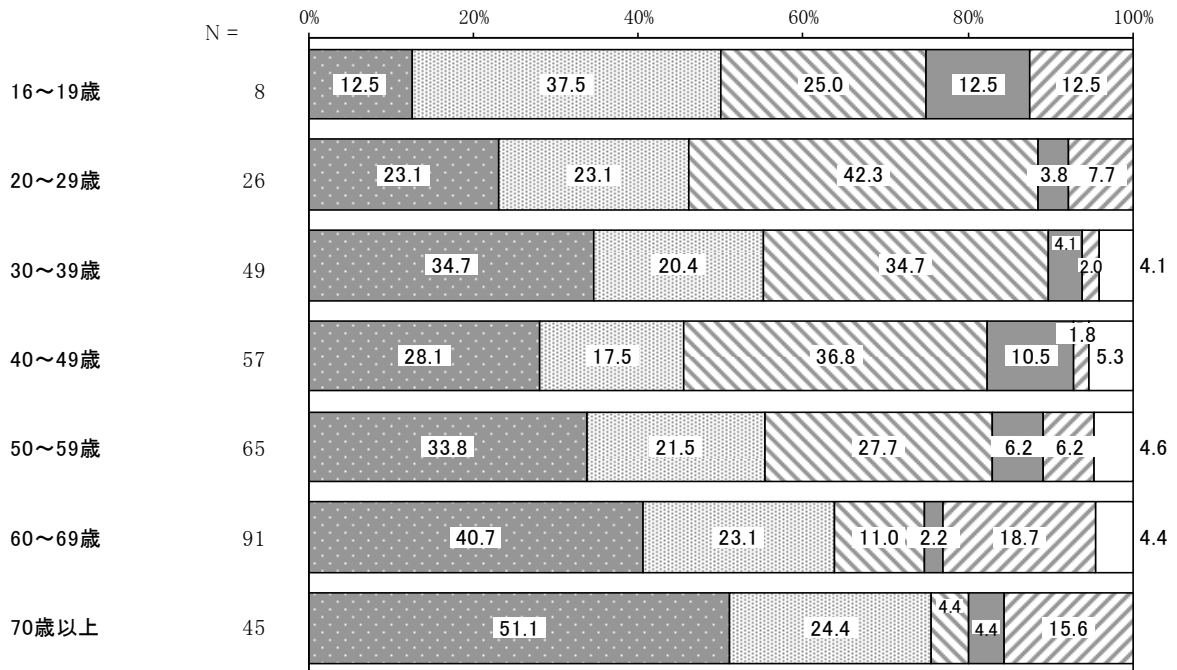
性別でみると、他に比べ、男性で「人権問題にいちおうの理解をもっているつもりなので」の割合が高くなっています。また、女性で「生活におわれて余裕がない」の割合が高くなっています。



**【年齢別】**

年齢別でみると、年齢が下がるにつれ「生活におわれて余裕がない」の割合が高くなる傾向がみられます。また、他に比べ、70歳以上で「人権問題にいちおうの理解をもっているつもりなので」の割合が高く、約5割となっています。

- 人権問題にいちおうの理解をもっているつもりなので
- ▨ 特に関心があるわけではないので
- ▩ 生活におわれて余裕がない
- その他
- ▨ 特に理由はない
- 無回答

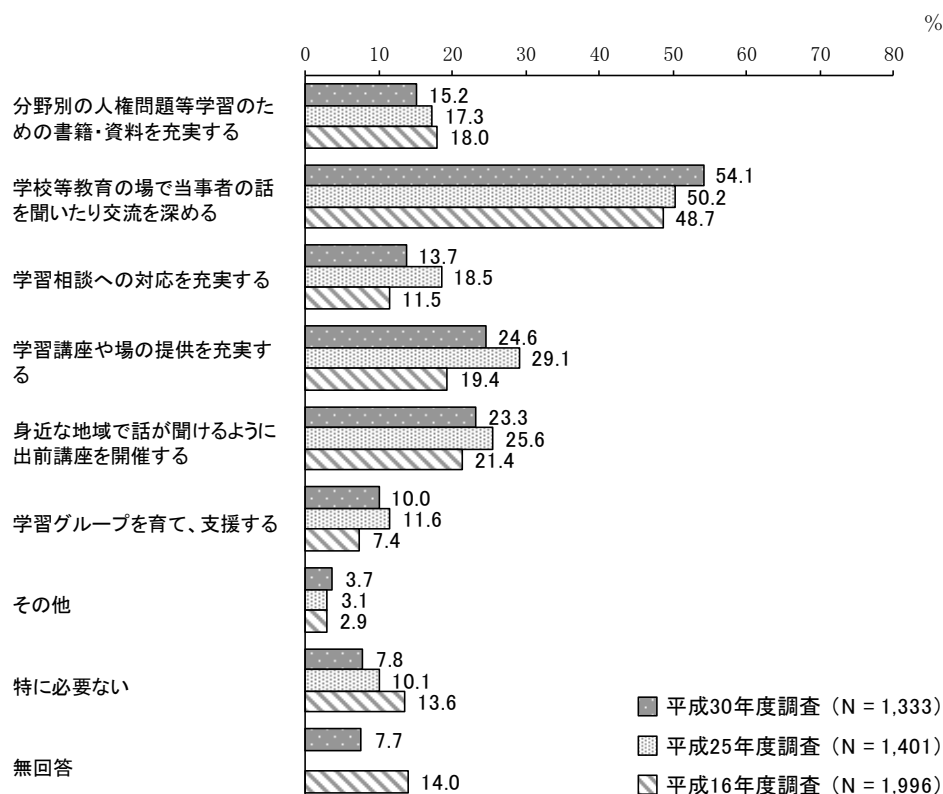


## (11) 人権学習を深めるための支援

問 22 人権学習を深めるための支援としては特にどのようなことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

人権学習を深めるための支援として重要なことについては、「学校等教育の場で当事者の話を聞いたり交流を深める」の割合が54.1%と最も高く、次いで「学習講座や場の提供を充実する」の割合が24.6%、「身近な地域で話が聞けるように出前講座を開催する」の割合が23.3%となっています。

平成25年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。また、平成16年度調査と比較すると、「学校等教育の場で当事者の話を聞いたり交流を深める」「学習講座や場の提供を充実する」の割合が増加し、「特に必要ない」の割合が減少しています。



【性別】

性別で見ると、他に比べ、男性で「分野別の人権問題等学習のための書籍・資料を充実する」の割合が高くなっています。また、女性で「学校等教育の場で当事者の話を聞いたり交流を深める」「身近な地域で話が聞けるように出前講座を開催する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	分野別の人権問題等学習のための書籍・資料を充実する	学校等教育の場で当事者の話を聞いたり交流を深める	学習相談への対応を充実する	学習講座や場の提供を充実する	身近な地域で話が聞けるように出前講座を開催する	学習グループを育て、支援する	その他	特に必要ない	無回答
男性	519	18.5	50.1	12.1	25.2	20.2	9.4	5.2	9.6	7.3
女性	765	13.1	57.3	14.5	24.4	25.4	10.1	2.7	6.5	7.5
選択しない	25	8.0	44.0	20.0	16.0	24.0	20.0	—	12.0	12.0

## 【年齢別】

年齢別でみると、20歳以上で年齢が下がるにつれ「学校等教育の場で当事者の話を聞いたり交流を深める」の割合が高くなっており、20～29歳で約7割となっています。また、他に比べ、70歳以上で「身近な地域で話が聞けるように出前講座を開催する」の割合が高く、約3割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	分野別の人権問題等学習のための書籍・資料を充実する	学校等教育の場で当事者の話を聞いたり交流を深める	学習相談への対応を充実する	学習講座や場の提供を充実する	身近な地域で話が聞けるように出前講座を開催する	学習グループを育て、支援する	その他	特に必要ない	無回答
16～19歳	46	10.9	47.8	13.0	21.7	19.6	4.3	4.3	2.2	6.5
20～29歳	88	12.5	68.2	14.8	26.1	13.6	11.4	5.7	8.0	3.4
30～39歳	174	14.9	59.2	11.5	29.9	20.1	6.3	4.6	6.9	3.4
40～49歳	263	13.3	58.2	15.6	27.4	17.5	10.3	3.8	8.0	6.8
50～59歳	248	16.9	56.0	14.5	27.4	26.6	9.3	5.2	4.4	4.0
60～69歳	314	16.9	49.4	13.7	20.7	25.8	13.4	2.2	10.2	8.6
70歳以上	171	13.5	45.6	12.3	19.3	31.6	9.4	1.8	10.5	16.4

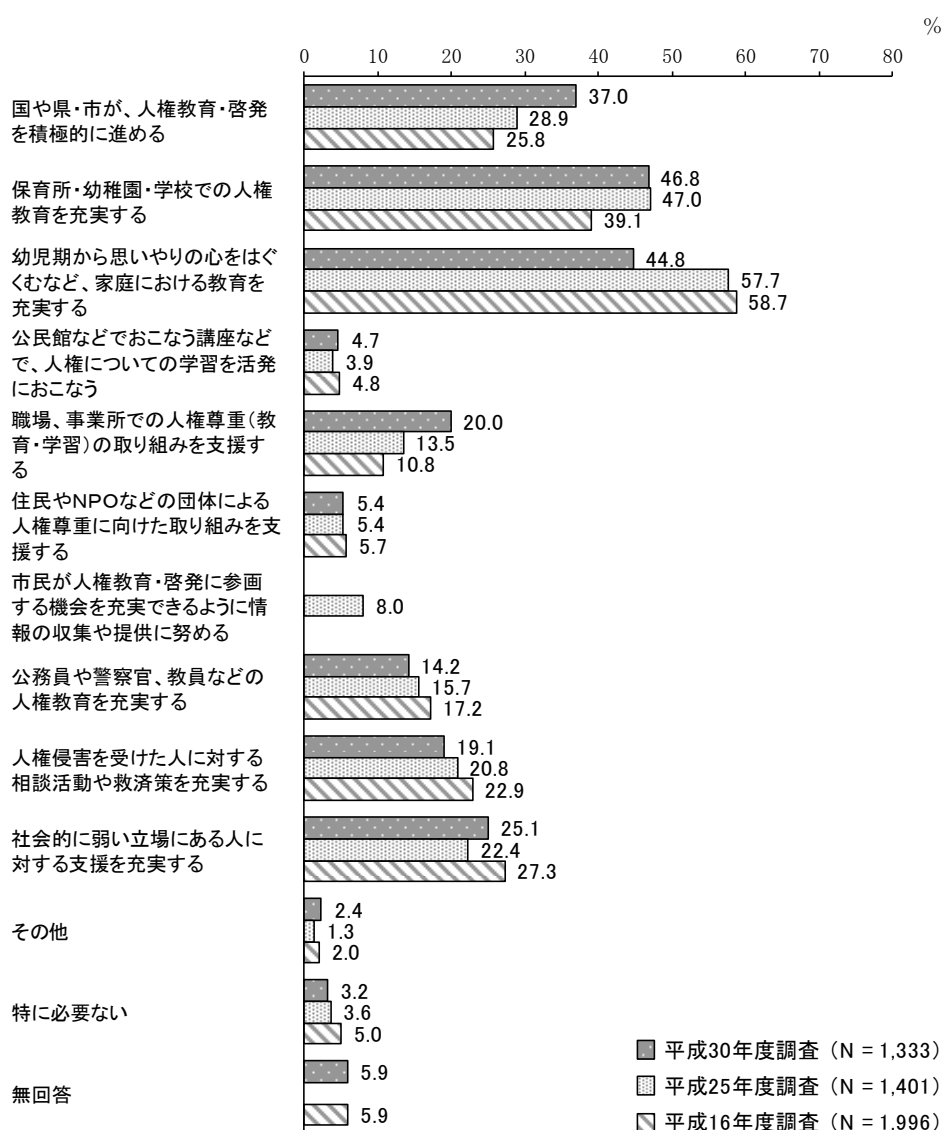


## (12) 人権が尊重される社会実現のための取り組み

問 23 あなたは、人権が尊重される社会を実現するためには、今後特にどのようなことに取り組んでいくことが重要だと思いますか。(〇は3つまで)

人権が尊重される社会実現のため取り組みについては、「保育所・幼稚園・学校での人権教育を充実する」の割合が46.8%と最も高く、次いで「幼児期から思いやりの心をはぐくむなど、家庭における教育を充実する」の割合が44.8%、「国や県・市が、人権教育・啓発を積極的に進める」の割合が37.0%となっています。

平成16年度調査、平成25年度調査と比較すると、「国や県・市が、人権教育・啓発を積極的に進める」「職場、事業所での人権尊重(教育・学習)の取り組みを支援する」の割合が増加し、「幼児期から思いやりの心をはぐくむなど、家庭における教育を充実する」の割合が減少しています。



【性別】

性別で見ると、他に比べ、女性で「保育所・幼稚園・学校での人権教育を充実する」「幼児期から思いやりの心をはぐくむなど、家庭における教育を充実する」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	国や県・市が、人権教育・啓発を積極的に進める	保育所・幼稚園・学校での人権教育を充実する	幼児期から思いやりの心をはぐくむなど、家庭における教育を充実する	公民館などでおこなう講座などで、人権についての学習を活発におこなう	職場、事業所での人権尊重(教育・学習)の取り組みを支援する	住民やNPOなどの団体による人権尊重に向けた取り組みを支援する
男性	519	37.8	43.5	39.1	4.6	22.7	4.0
女性	765	36.5	49.4	49.4	4.7	18.0	6.1
選択しない	25	32.0	36.0	36.0	—	12.0	4.0

区分	公務員や警察官、教員などの人権教育を充実する	人権侵害を受けた人に対する相談活動や救済策を充実する	社会的に弱い立場にある人に対する支援を充実する	その他	特に必要ない	無回答
男性	17.0	18.3	24.5	3.9	3.9	5.6
女性	12.3	19.6	25.5	1.4	2.6	5.6
選択しない	16.0	24.0	20.0	4.0	12.0	12.0

【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、30～49歳で「保育所・幼稚園・学校での人権教育を充実する」の割合が高く、5割台半ばとなっています。また、30～39歳で「幼児期から思いやりの心をはぐくむなど、家庭における教育を充実する」の割合が高く、約5割となっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	国や県・市が、人権教育・啓発を積極的に進める	保育所・幼稚園・学校での人権教育を充実する	幼児期から思いやりの心をはぐくむなど、家庭における教育を充実する	公民館などでおこなう講座などで、人権についての学習を活発におこなう	職場、事業所での人権尊重(教育・学習)の取り組みを支援する	住民やNPOなどの団体による人権尊重に向けた取り組みを支援する
16～19歳	46	37.0	41.3	34.8	—	13.0	2.2
20～29歳	88	35.2	51.1	37.5	2.3	33.0	6.8
30～39歳	174	36.8	55.7	52.3	2.9	19.5	5.2
40～49歳	263	36.1	53.2	45.2	5.3	20.9	5.7
50～59歳	248	35.9	49.2	44.4	3.6	29.4	4.8
60～69歳	314	38.2	40.1	44.3	5.4	15.3	5.4
70歳以上	171	39.2	37.4	46.2	7.6	8.8	5.8

区分	公務員や警察官、教員などの人権教育を充実する	人権侵害を受けた人に対する相談活動や救済策を充実する	社会的に弱い立場にある人に対する支援を充実する	その他	特に必要ない	無回答
16～19歳	28.3	10.9	21.7	4.3	2.2	6.5
20～29歳	11.4	22.7	26.1	3.4	5.7	1.1
30～39歳	10.9	18.4	21.3	3.4	2.9	4.0
40～49歳	15.2	17.9	21.7	3.4	2.3	4.9
50～59歳	12.1	23.8	25.0	2.0	1.2	4.4
60～69歳	13.1	18.8	28.0	1.6	5.4	6.1
70歳以上	19.9	17.0	28.7	0.6	3.5	10.5

【世帯構成別】

世帯構成別でみると、他に比べ、夫婦と子どもからなる世帯、親と子ども、孫からなる世帯で「保育所・幼稚園・学校での人権教育を充実する」の割合が高く、約5割となっています。また、夫婦だけの世帯、夫婦と子どもからなる世帯、親と子ども、孫からなる世帯で「幼児期から思いやりの心をはぐくむなど、家庭における教育を充実する」の割合が高く、4割台半ばとなっています。

単位：%

区分	有効回答数(件)	国や県・市が、人権教育・啓発を積極的に進める	保育所・幼稚園・学校での人権教育を充実する	幼児期から思いやりの心をはぐくむなど、家庭における教育を充実する	公民館などでおこなう講座などで、人権についての学習を活発におこなう	職場、事業所での人権尊重(教育・学習)の取り組みを支援する	住民やNPOなどの団体による人権尊重に向けた取り組みを支援する
ひとり暮らし世帯	85	42.4	36.5	35.3	10.6	14.1	4.7
夫婦だけの世帯	368	35.9	44.0	47.6	4.1	16.8	5.2
夫婦と子どもからなる世帯	636	36.9	50.3	46.2	4.1	22.0	5.7
親と子ども、孫からなる世帯	97	37.1	48.5	47.4	3.1	18.6	3.1
ひとり親と子どもからなる世帯	60	40.0	45.0	36.7	8.3	30.0	6.7
その他	58	34.5	46.6	36.2	1.7	15.5	5.2

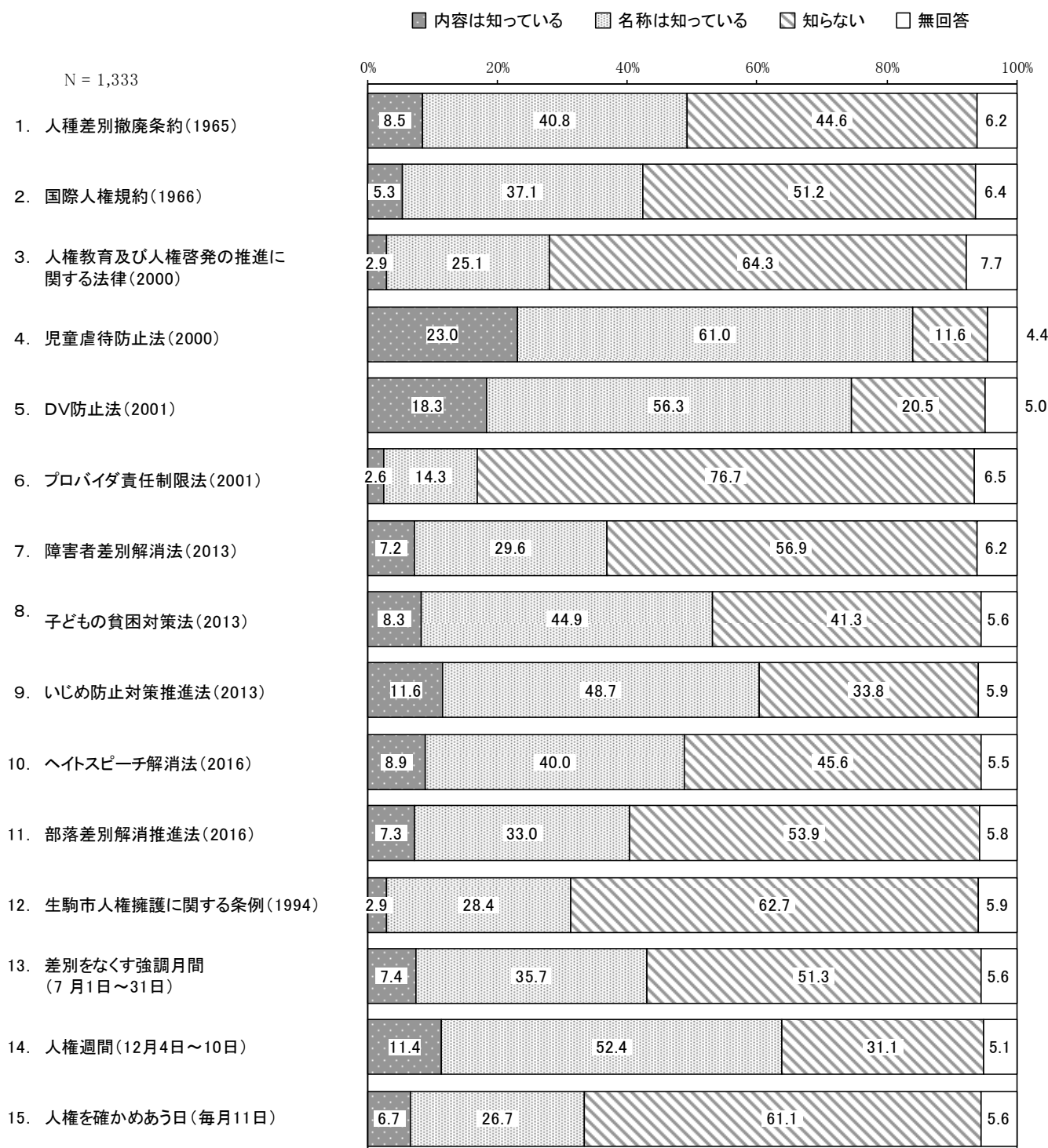
区分	公務員や警察官、教員などの人権教育を充実する	人権侵害を受けた人に対する相談活動や救済策を充実する	社会的に弱い立場にある人に対する支援を充実する	その他	特に必要ない	無回答
ひとり暮らし世帯	16.5	15.3	23.5	3.5	8.2	11.8
夫婦だけの世帯	13.3	20.4	25.0	1.4	3.5	6.0
夫婦と子どもからなる世帯	14.3	20.3	25.3	2.4	2.2	4.4
親と子ども、孫からなる世帯	12.4	14.4	28.9	3.1	5.2	3.1
ひとり親と子どもからなる世帯	18.3	15.0	28.3	1.7	3.3	5.0
その他	15.5	19.0	13.8	8.6	3.4	12.1

### (13) 人権に関する宣言や法律等の認知状況

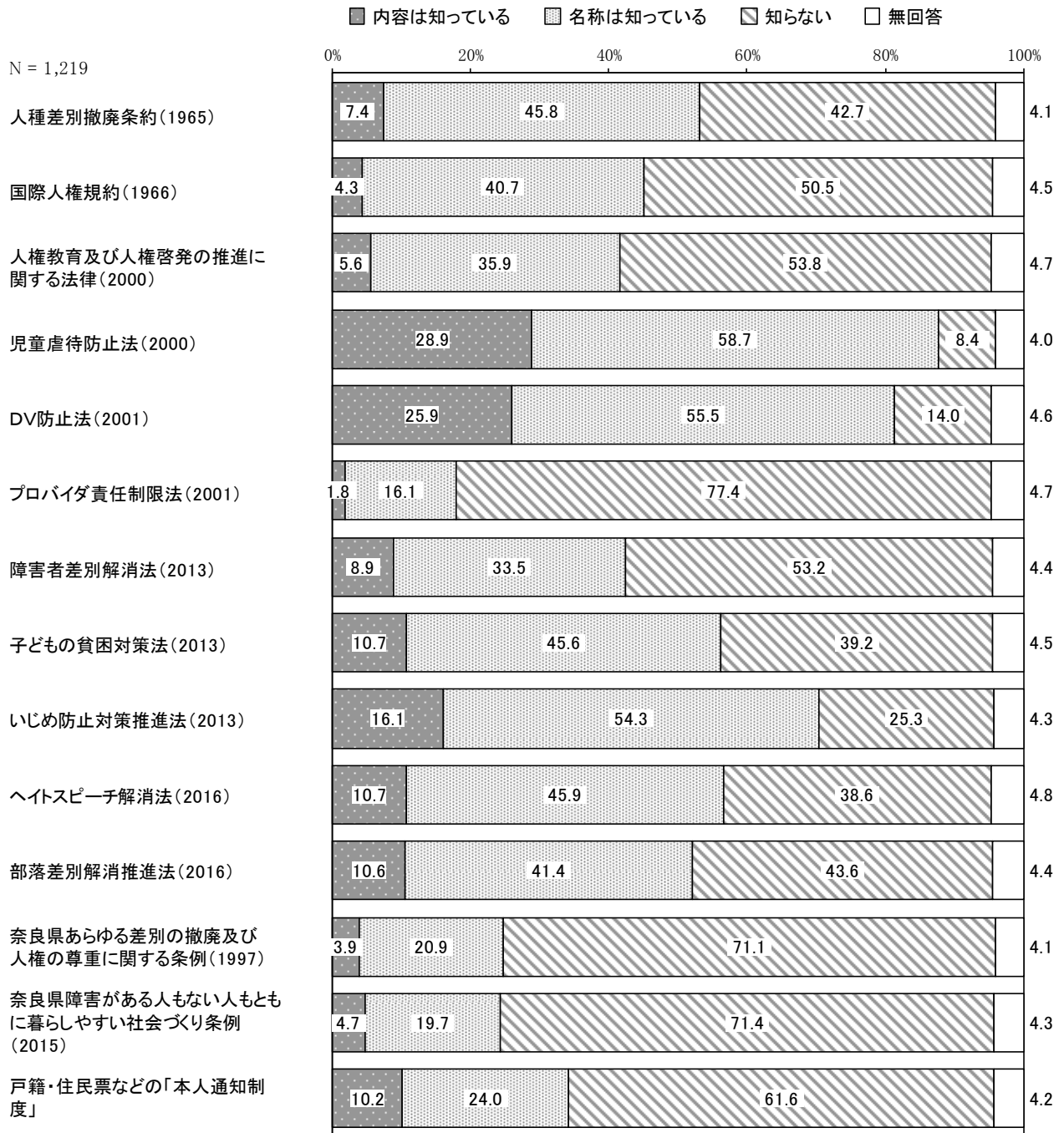
問 24 あなたは、人権問題にかかわる次のような法律や条例などを知っていますか。  
 1.～15.のそれぞれについて選んでください。(それぞれ1つに○)

人権問題に関する宣言や法律等を知っているかについては、4. 児童虐待防止法（2000）で「内容は知っている」の割合が高く、約2割となっています。一方、6. プロバイダ責任制限法（2001）で「知らない」の割合が高く、7割台半ばとなっています。

奈良県調査と比較すると、4. 児童虐待防止法（2000）、で「内容は知っている」の割合が低くなっています。また、3. 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律（2000）、5. DV防止法（2001）、9. いじめ防止対策推進法（2013）、10. ヘイトスピーチ解消法（2016）、11. 部落差別解消推進法（2016）で「知らない」の割合が高くなっています。

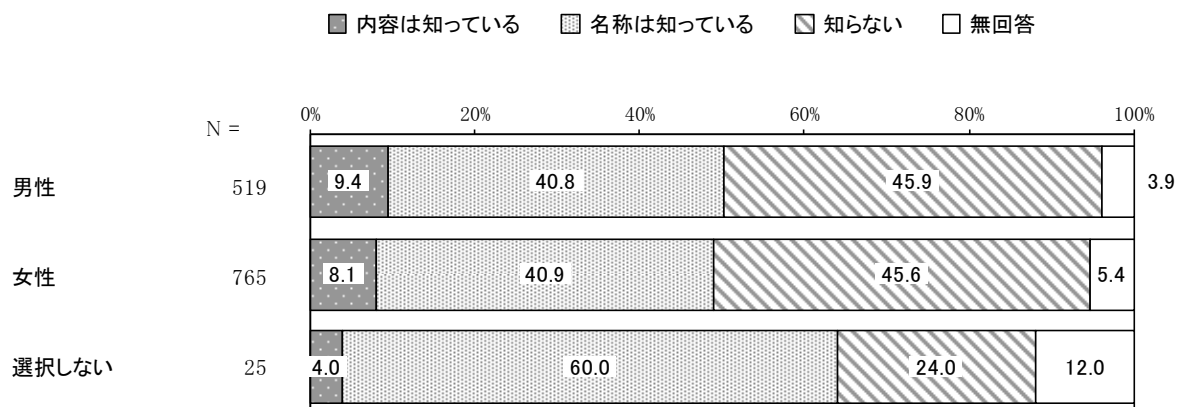


【奈良県調査】



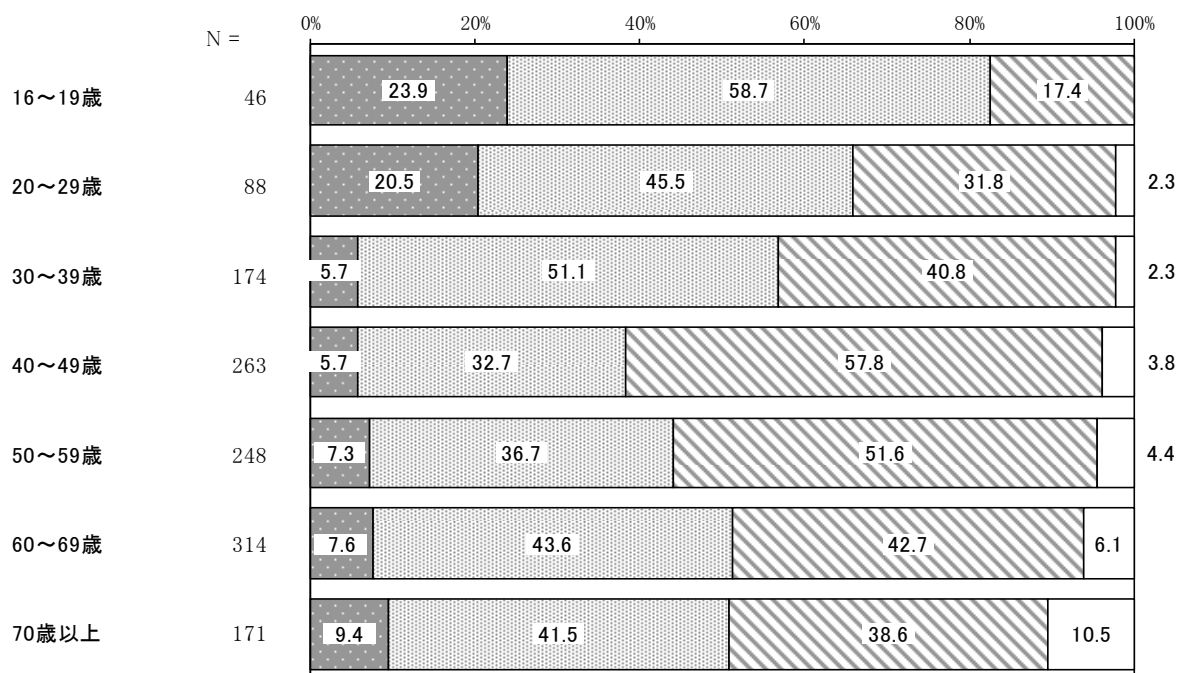
## 1. 人種差別撤廃条約（1965）

性別でみると、男性と女性で大きな差異はみられません。



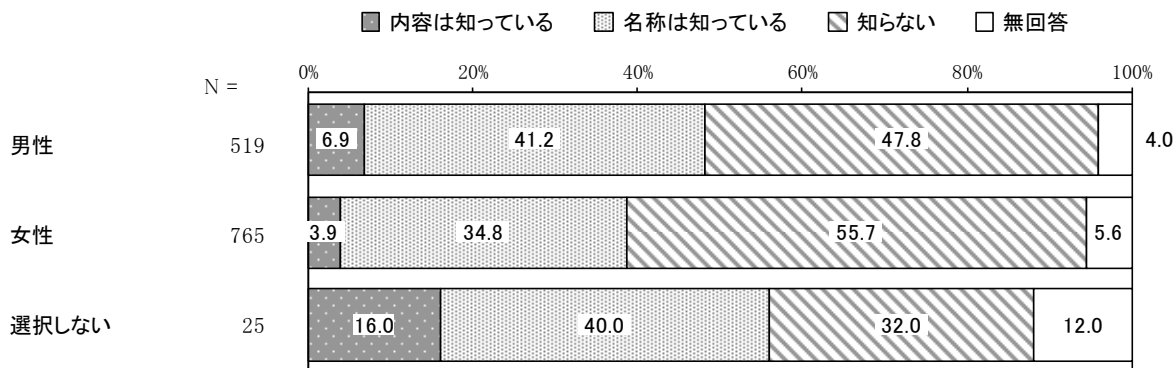
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、16～29歳で「内容は知っている」の割合が高く、約2割となっています。また、40～49歳で「知らない」の割合が高く、約6割となっています。



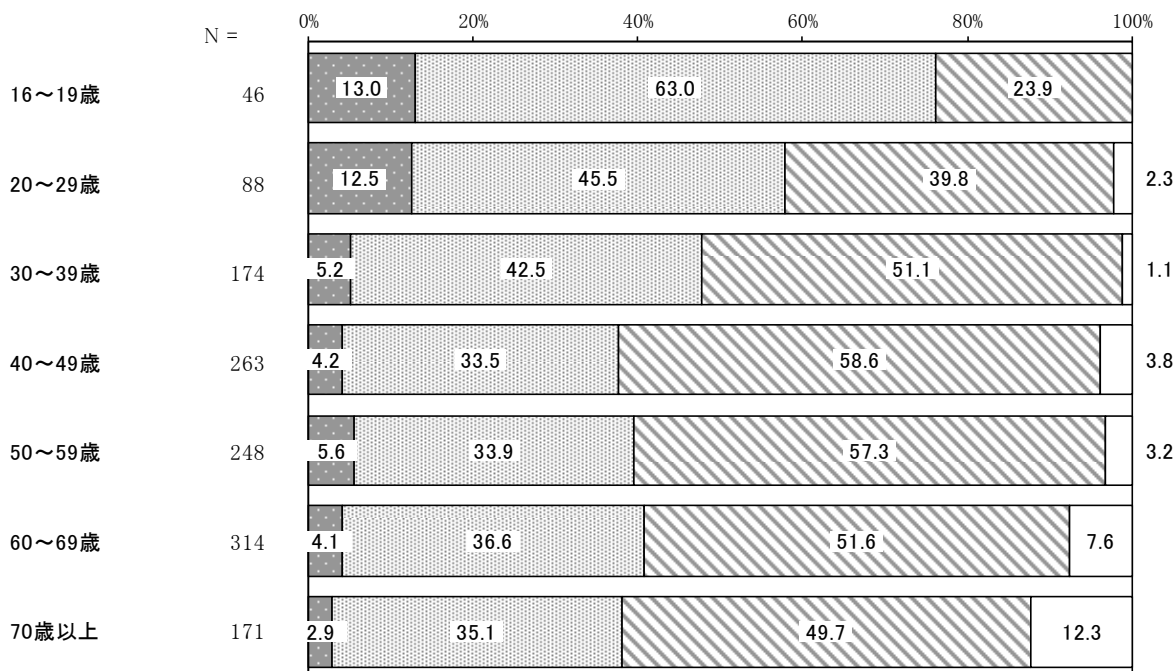
## 2. 国際人権規約（1966）

性別でみると、他に比べ、男性で「名称は知っている」の割合が高くなっています。また、女性で「知らない」の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

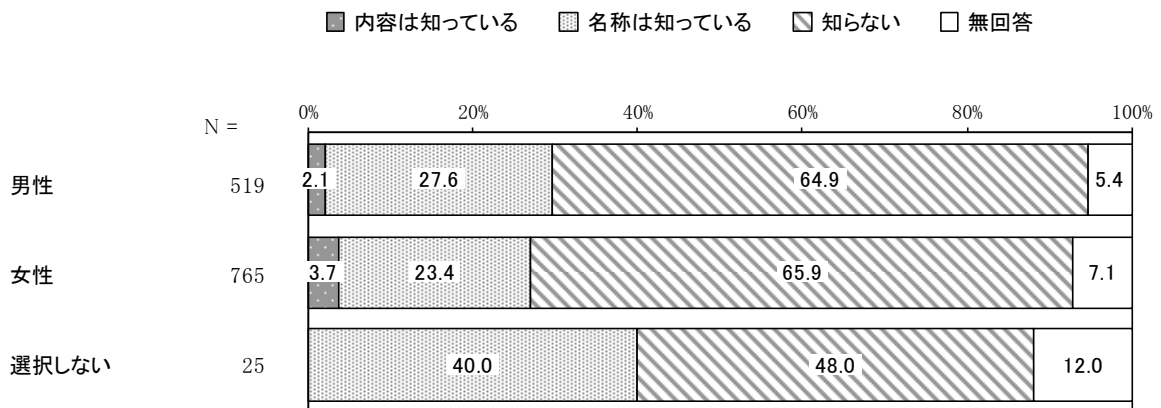
年齢別でみると、他に比べ、16～29歳で「内容は知っている」の割合が高く、約1割となっています。また、40～59歳で「知らない」の割合が高くなっています。





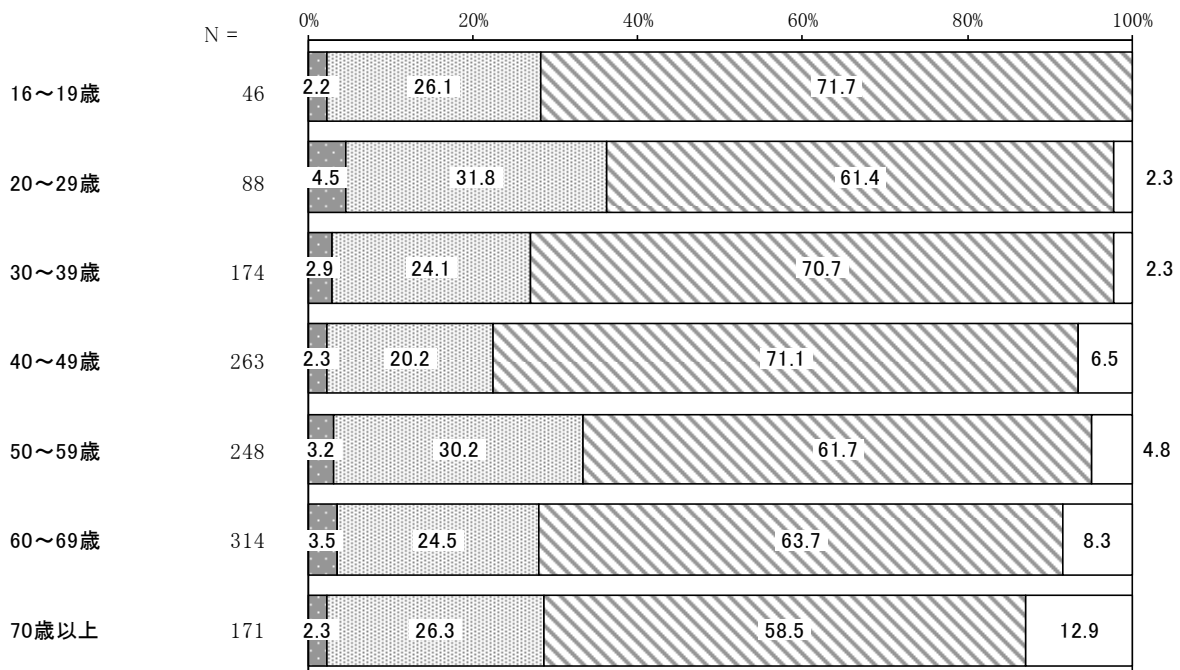
### 3. 人権教育及び人権啓発の推進に関する法律（2000）

性別でみると、男性と女性で大きな差異はみられません。



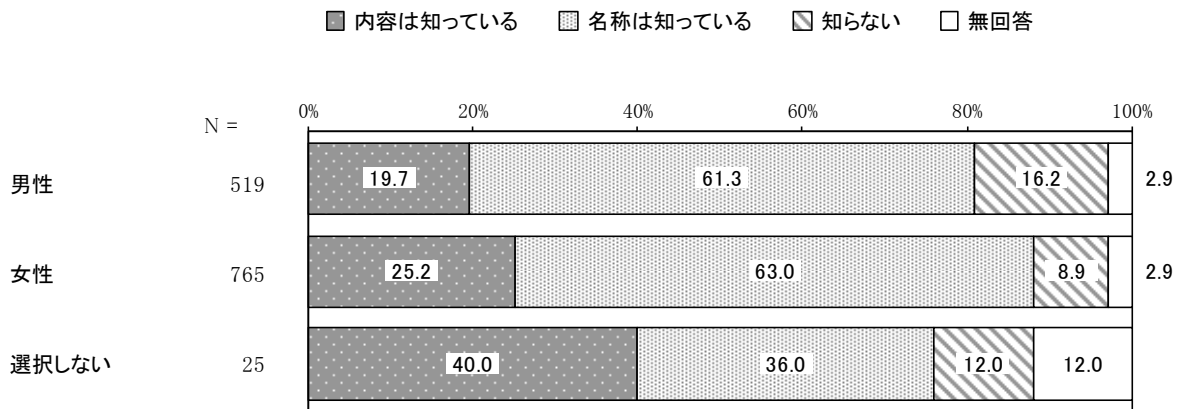
#### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20～29歳、50～59歳で「名称は知っている」の割合が高く、約3割となっています。また、16～19歳、30～49歳で「知らない」の割合が高く、約7割となっています。



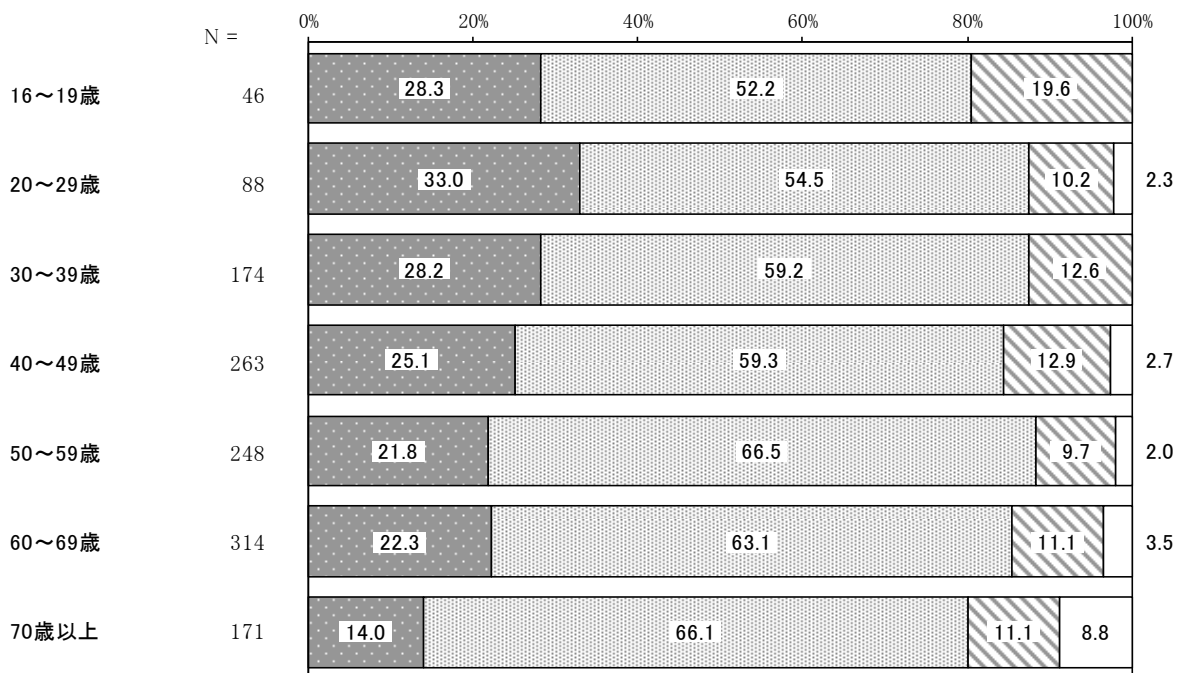
#### 4. 児童虐待防止法（2000）

性別でみると、他に比べ、男性で「知らない」の割合が高くなっています。また、女性で「内容は知っている」の割合が高くなっています。



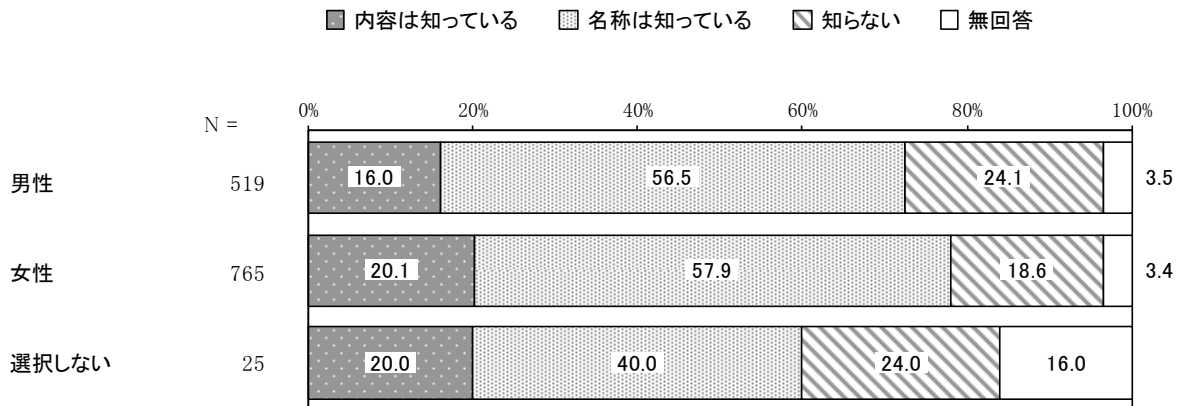
#### 【年齢別】

年齢別でみると、20歳以上で年齢が下がるにつれ「内容は知っている」の割合が高くなっています。また、他に比べ、16～19歳で「知らない」の割合が高く、約2割となっています。



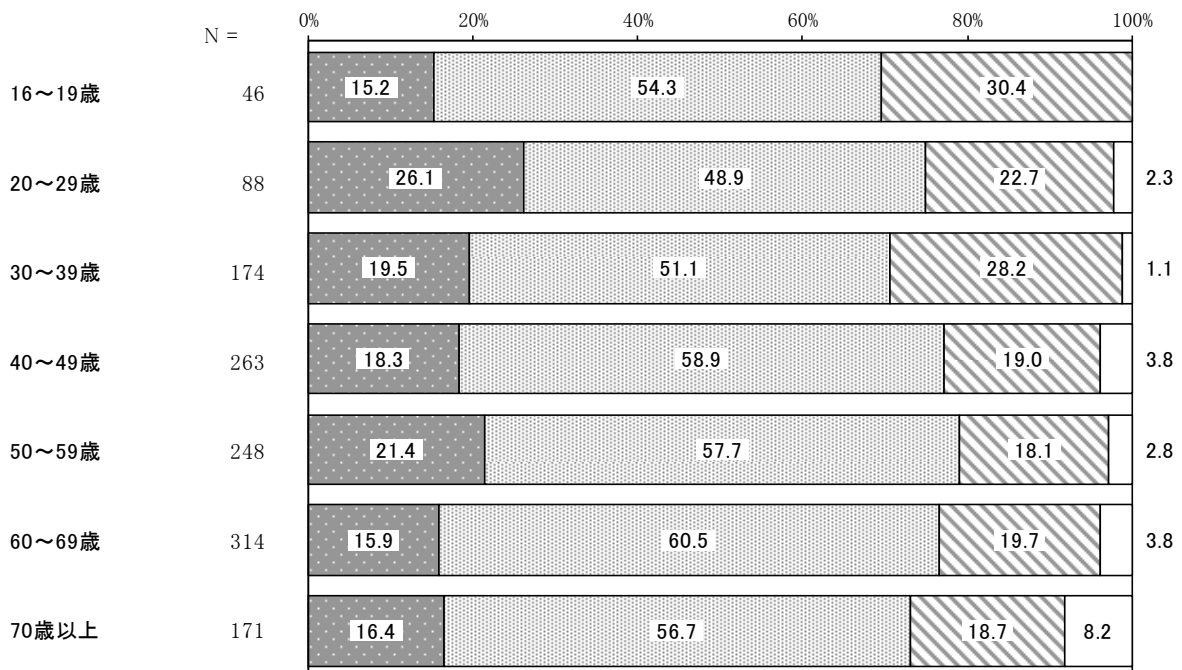
## 5. DV防止法（2001）

性別でみると、他に比べ、男性で「知らない」の割合が高く、2割台半ばとなっています。



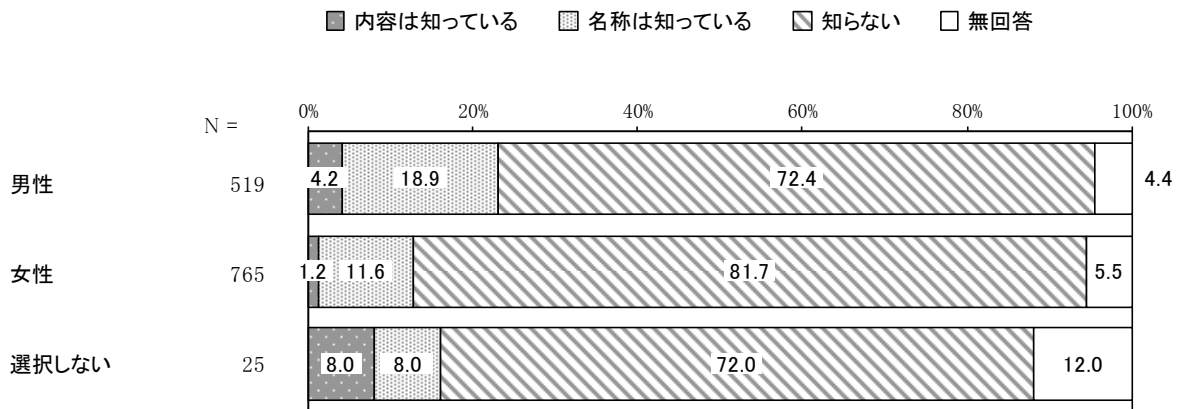
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「内容は知っている」の割合が高く、2割台半ばとなっています。また、60～69歳で「名称は知っている」の割合が、16～19歳、30～39歳で「知らない」の割合が高くなっています。



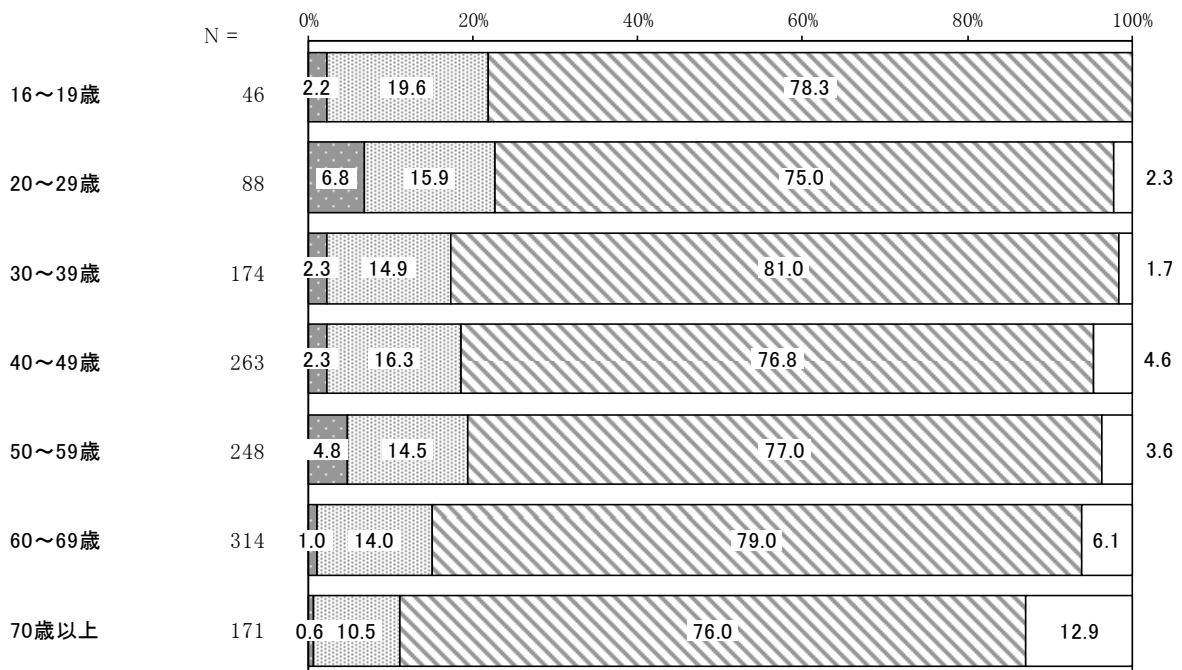
## 6. プロバイダ責任制限法（2001）

性別でみると、他に比べ、男性で「名称は知っている」の割合が高くなっています。また、女性で「知らない」の割合が高くなっています。



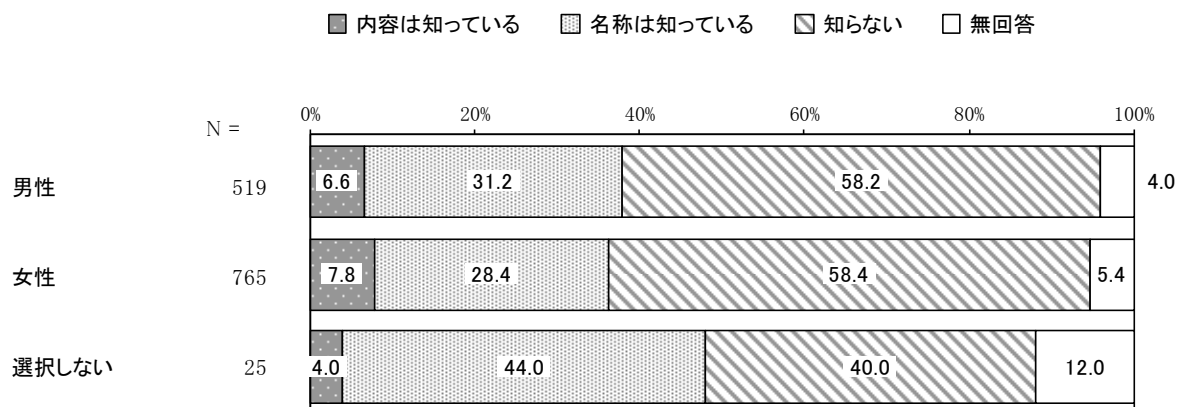
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、16～19歳で「名称は知っている」の割合が高く、約2割となっています。



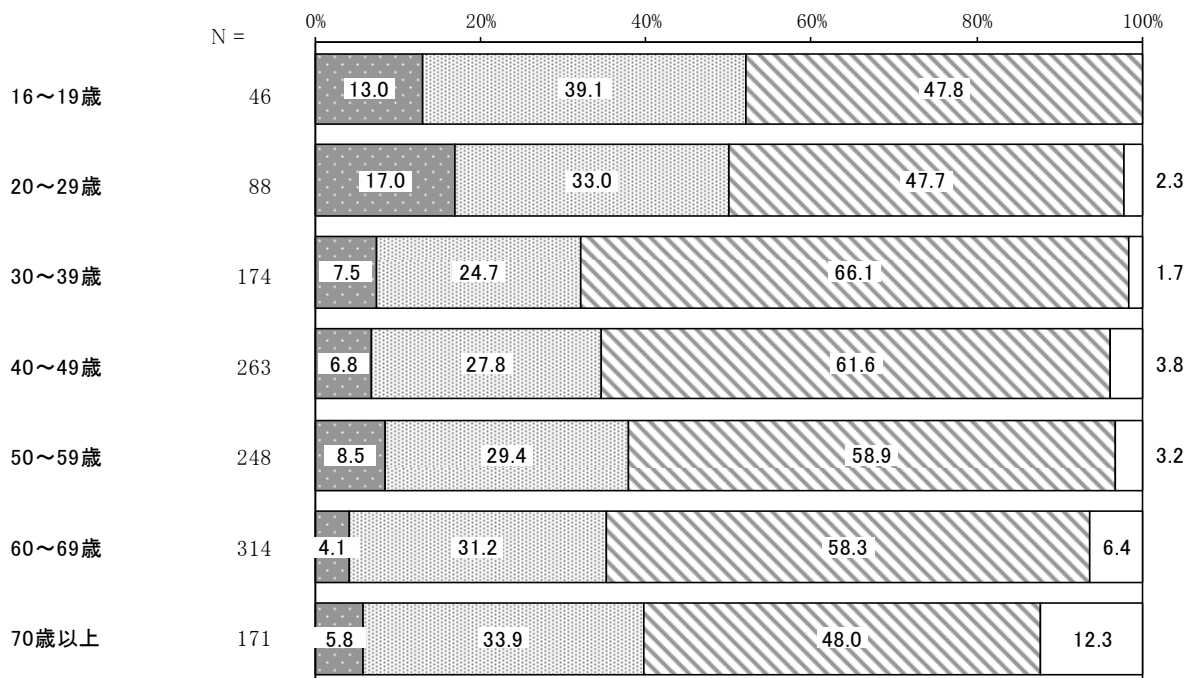
## 7. 障害者差別解消法（2013）

性別でみると、男性と女性で大きな差異はみられません。



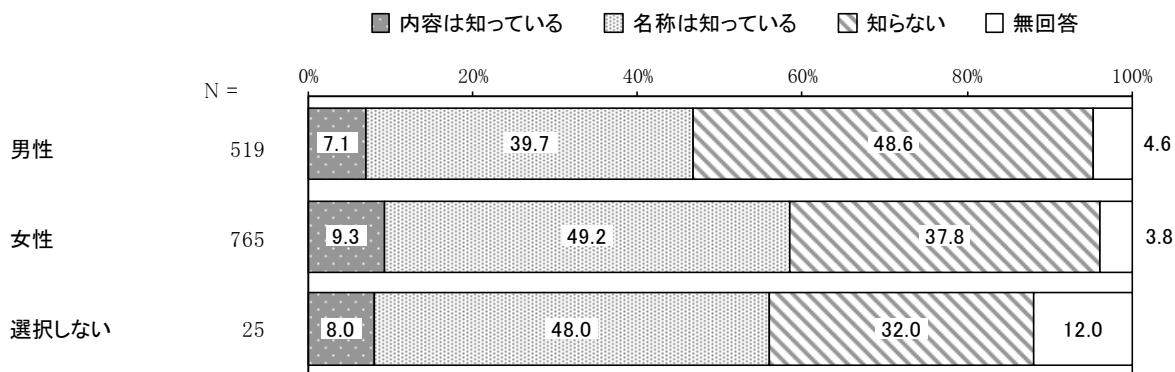
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「内容は知っている」の割合が高くなっています。また、16～19歳で「名称は知っている」の割合が、30～39歳で「知らない」の割合が高くなっています。



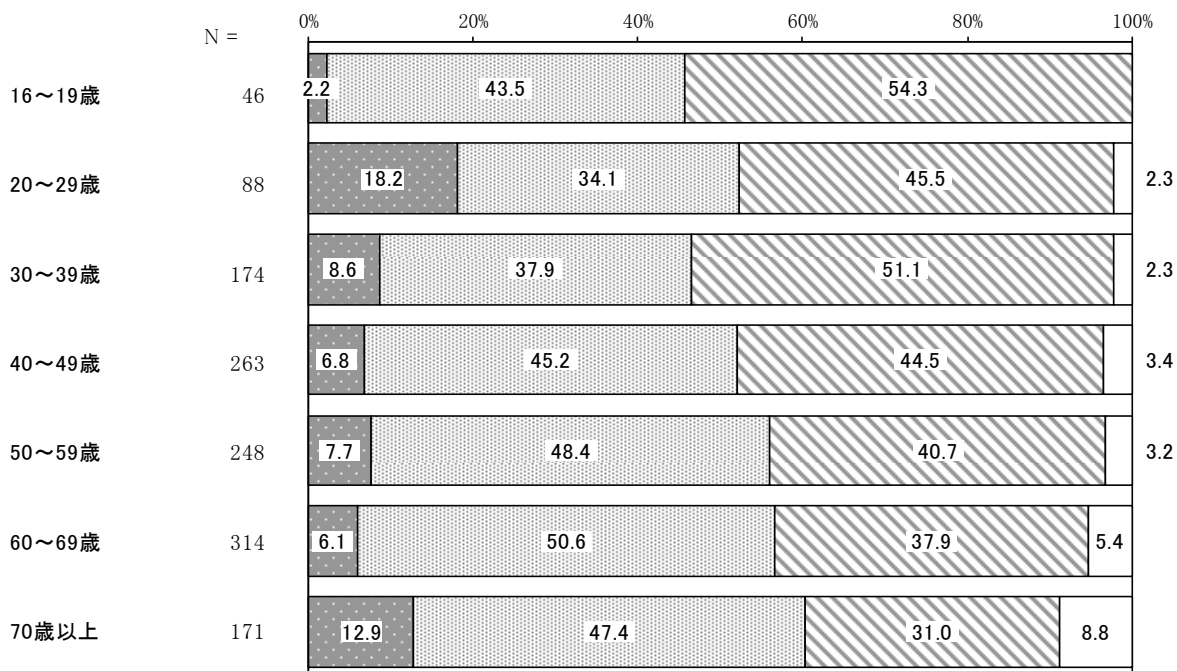
## 8. 子どもの貧困対策法（2013）

性別でみると、他に比べ、男性で「知らない」の割合が高くなっています。また、女性で「名称は知っている」の割合が高くなっています。



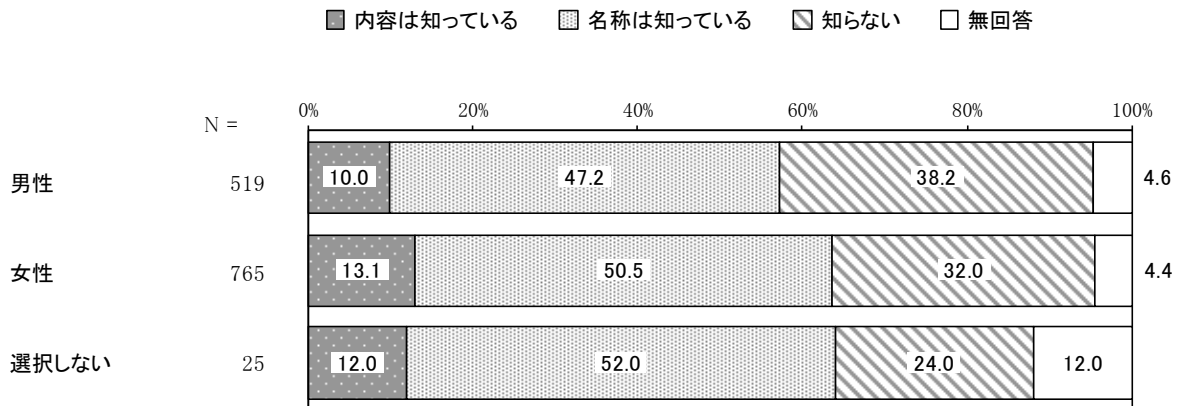
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、20～29歳で「内容は知っている」の割合が高くなっています。また、60～69歳で「名称は知っている」の割合が、16～19歳、30～39歳で「知らない」の割合が高くなっています。



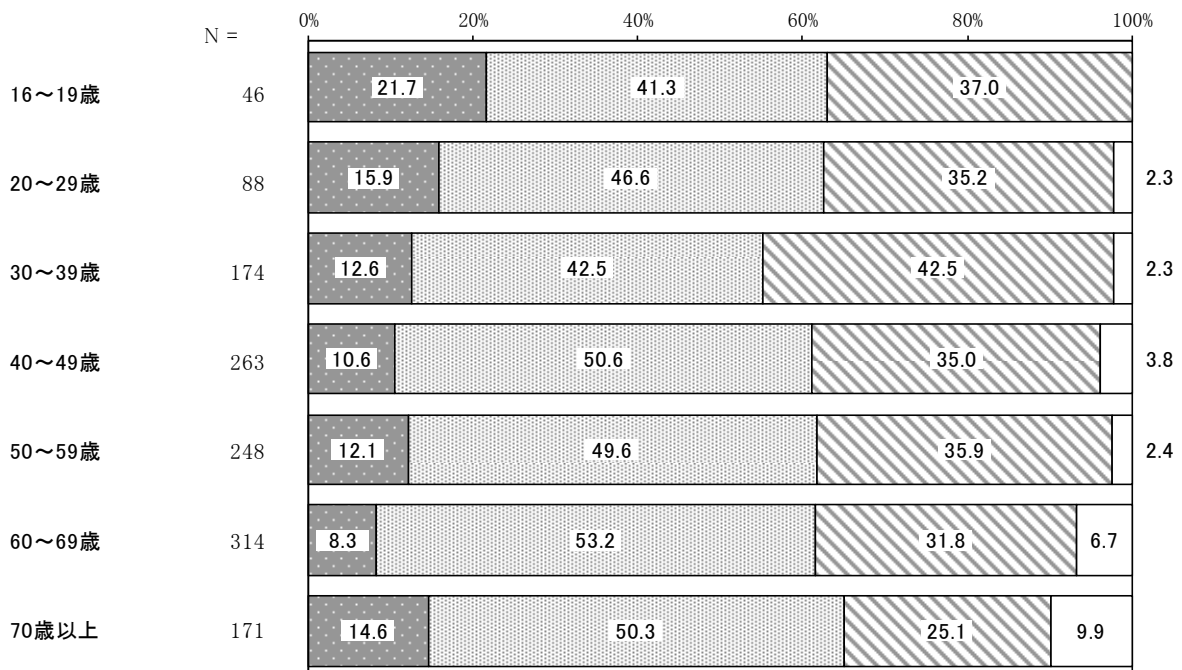
## 9. いじめ防止対策推進法（2013）

性別でみると、他に比べ、男性で「知らない」の割合が高くなっています。



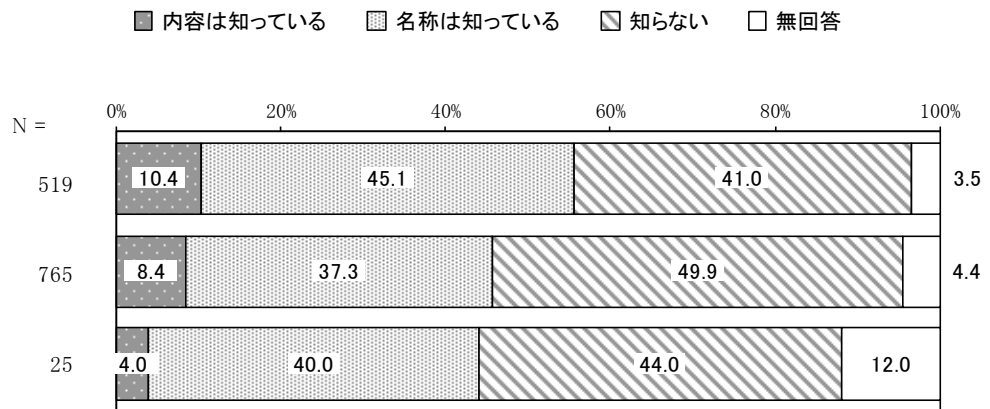
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、16～19歳で「内容は知っている」の割合が高くなっています。また、30～39歳で「知らない」の割合が高くなっています。



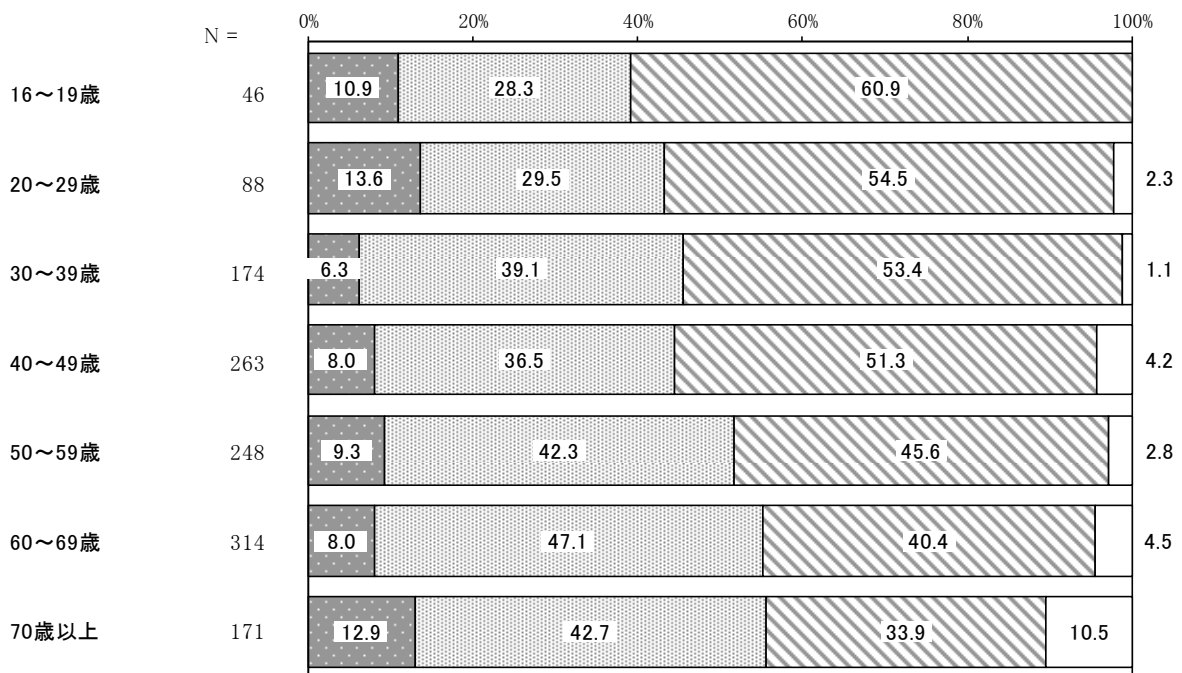
## 10. ヘイトスピーチ解消法 (2016)

性別でみると、他に比べ、男性で「名称は知っている」の割合が高くなっています。また、女性で「知らない」の割合が高くなっています。



### 【年齢別】

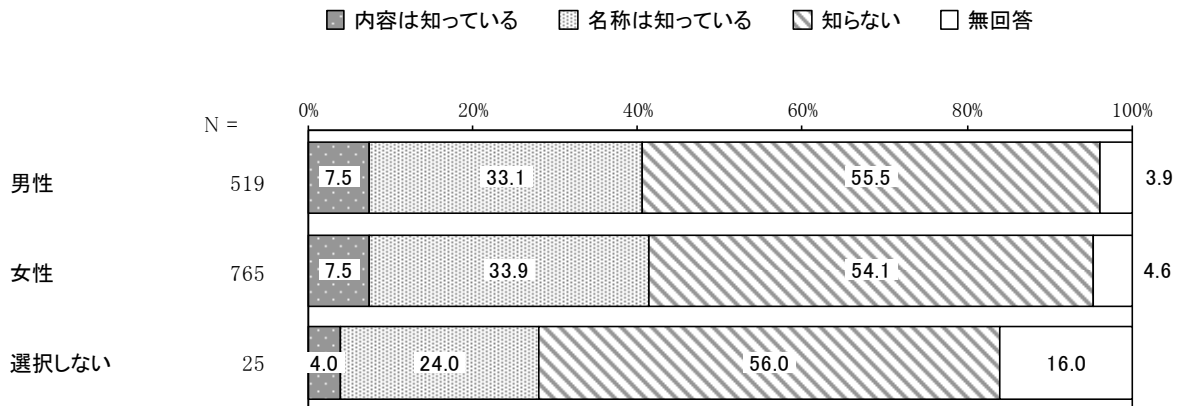
年齢別でみると、年齢が下がるにつれ「知らない」の割合が高くなっています。また、他に比べ、60～69歳で「名称は知っている」の割合が高くなっています。





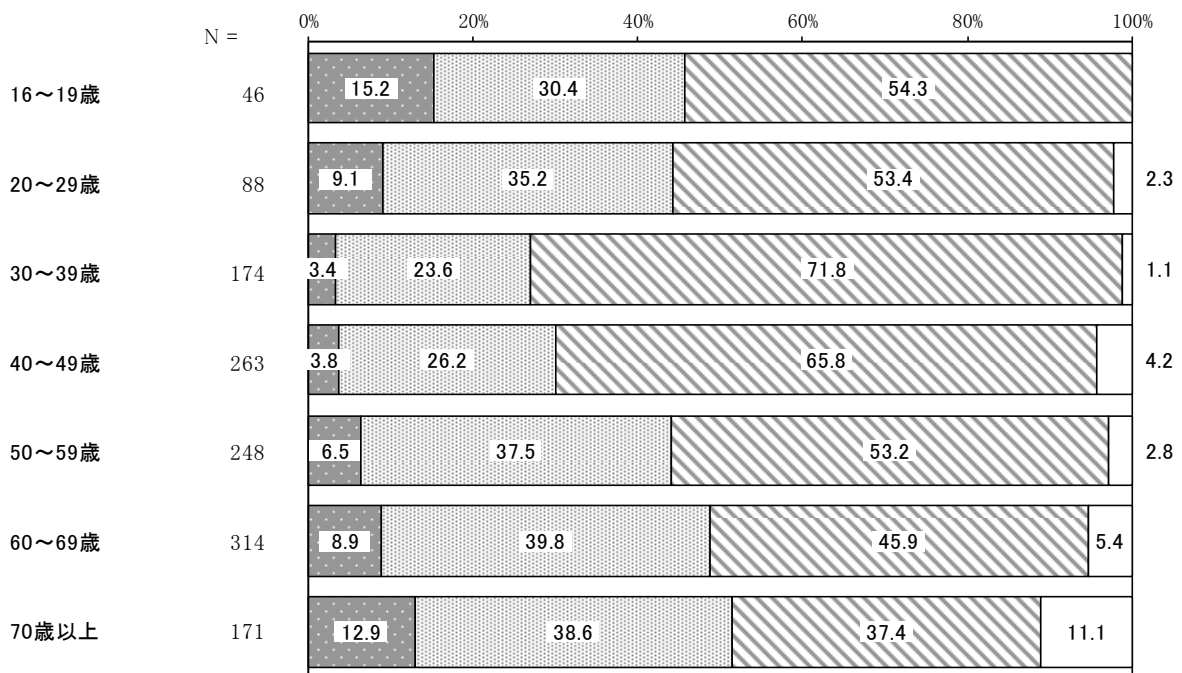
## 11. 部落差別解消推進法（2016）

性別でみると、男性と女性で大きな差異はみられません。



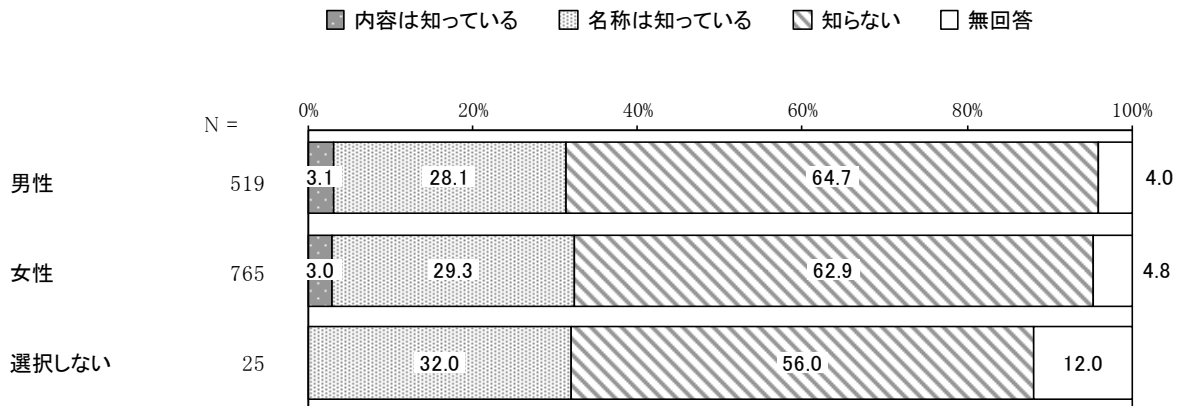
### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、16～19歳で「内容は知っている」の割合が高くなっています。また、30～49歳で「知らない」の割合が高くなっています。



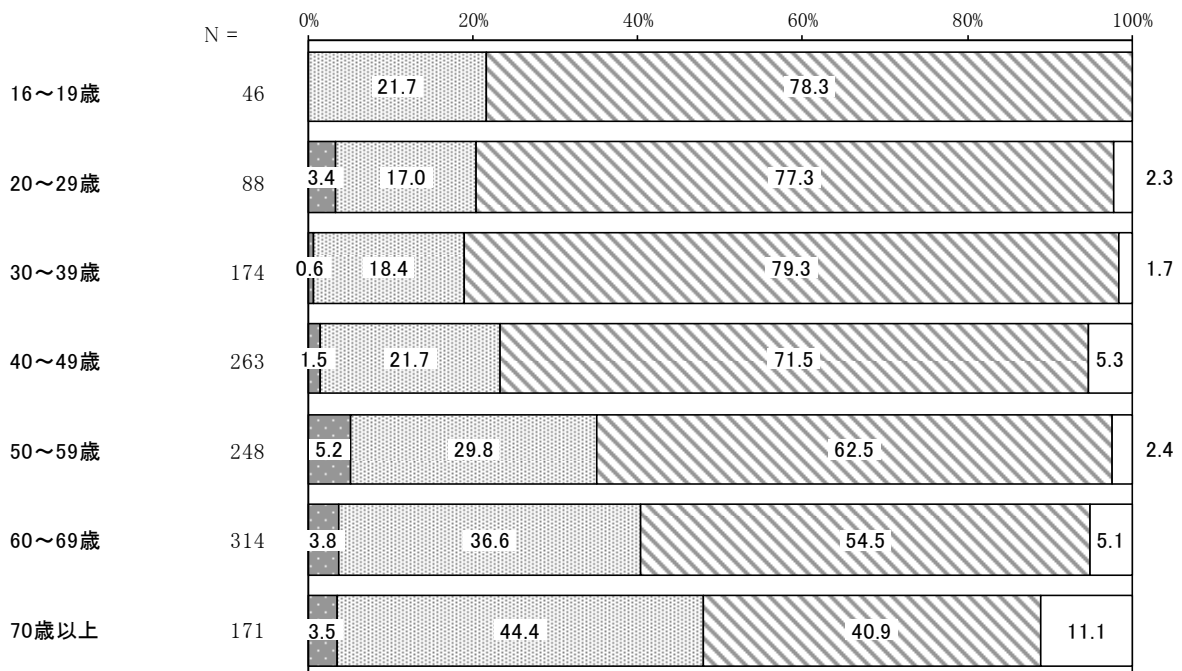
## 12. 生駒市人権擁護に関する条例（1994）

性別でみると、男性と女性で大きな差異はみられません。



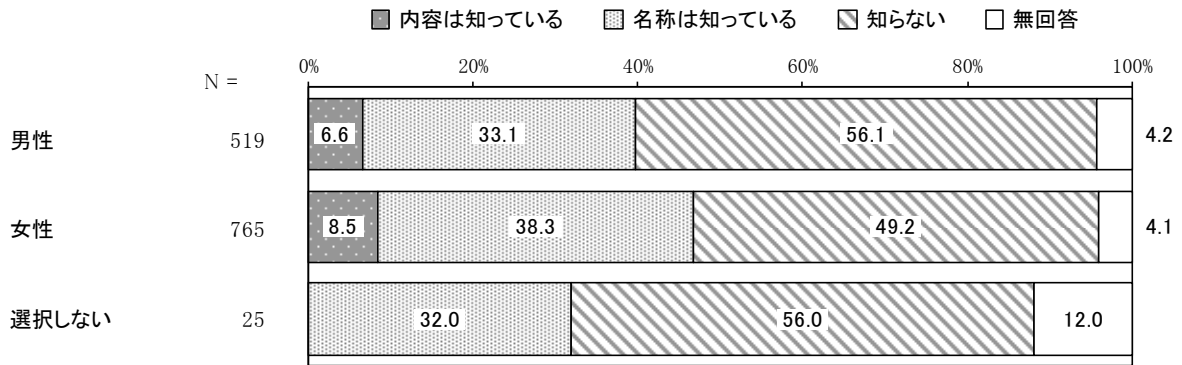
### 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が上がるにつれ「名称は知っている」の割合が高くなる傾向がみられます。



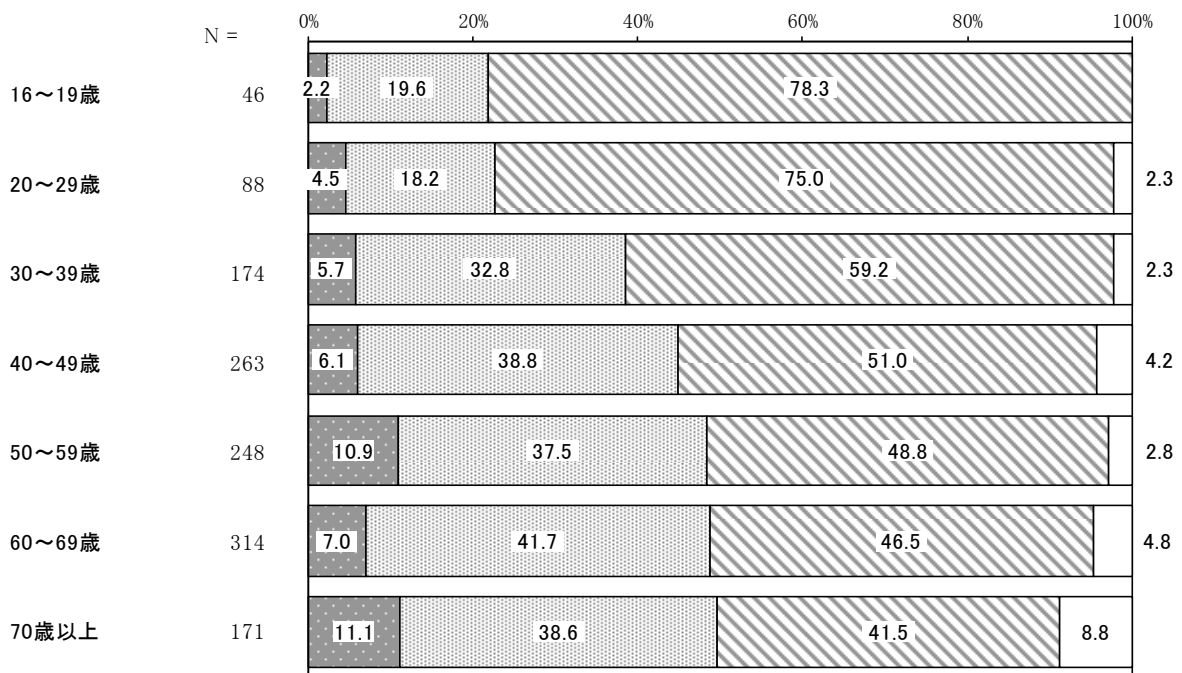
### 13. 差別をなくす強調月間（7月1日～31日）

性別でみると、他に比べ、男性で「知らない」の割合が高くなっています。また、女性で「名称は知っている」の割合が高くなっています。



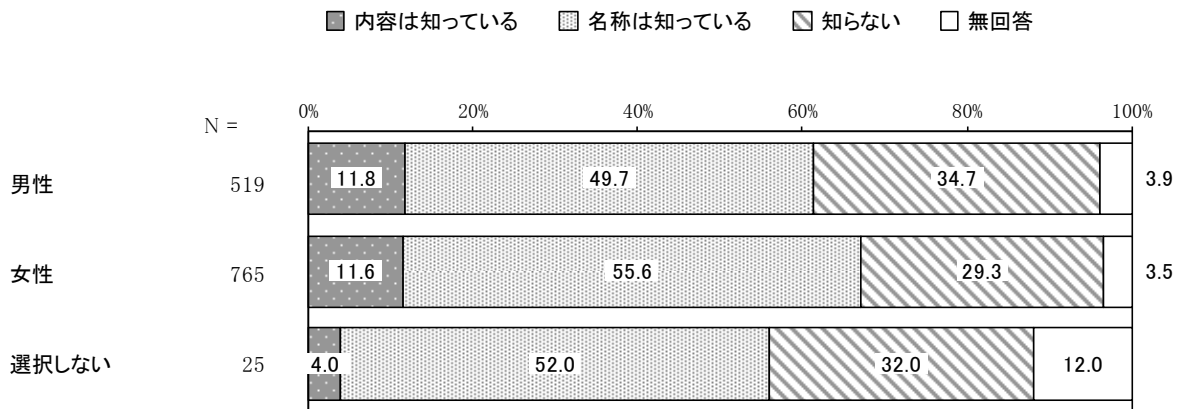
#### 【年齢別】

年齢別でみると、年齢が下がるにつれ「知らない」の割合が高くなっています。また、40歳以上で「名称は知っている」の割合が高く、約4割となっています。



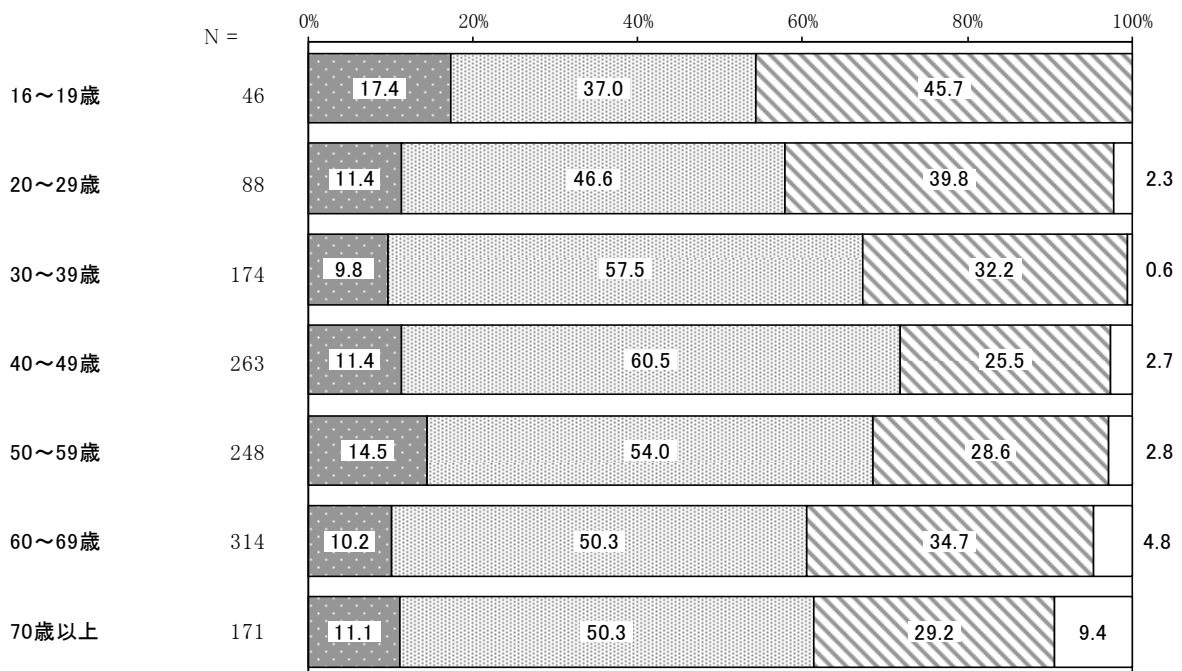
#### 14. 人権週間（12月4日～10日）

性別でみると、他に比べ、男性で「知らない」の割合が高くなっています。また、女性で「名称は知っている」の割合が高くなっています。



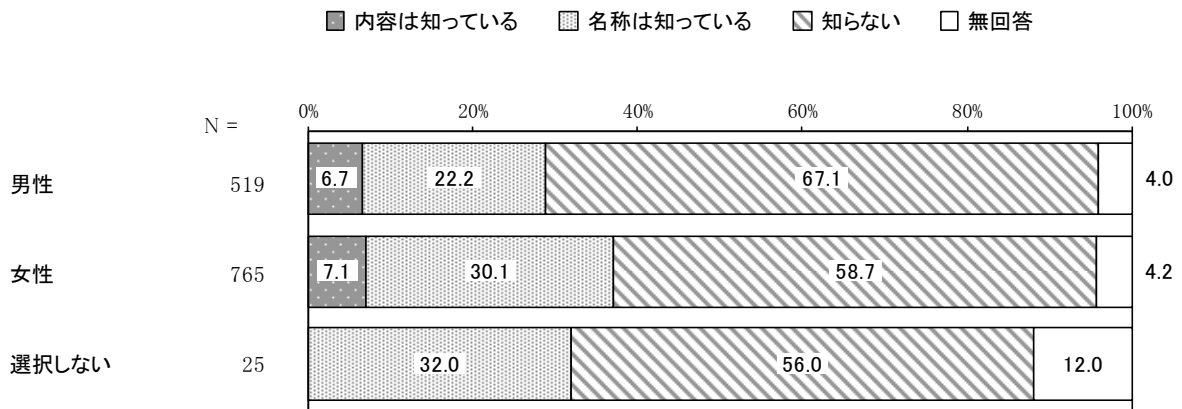
#### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、16～19歳で「内容は知っている」「知らない」の割合が高くなっています。また、40～49歳で「名称は知っている」の割合が高くなっています。



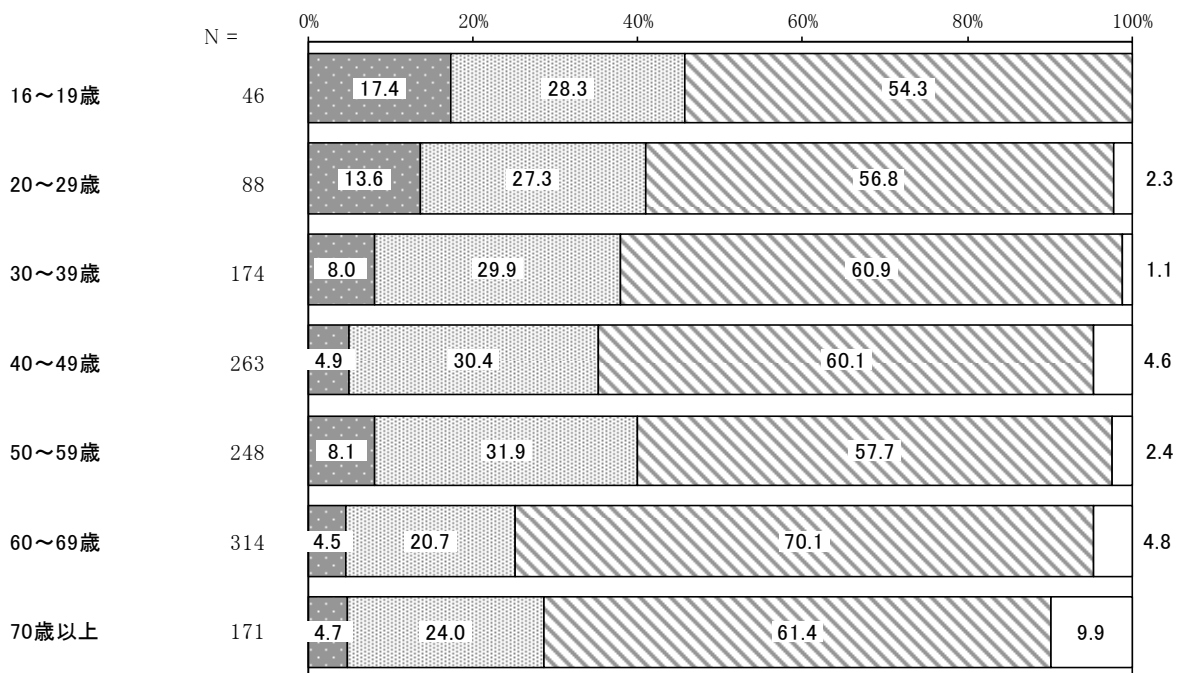
### 15. 人権を確かめあう日（毎月11日）

性別でみると、他に比べ、男性で「知らない」の割合が高くなっています。また、女性で「名称は知っている」の割合が高くなっています。



#### 【年齢別】

年齢別でみると、他に比べ、16～19歳で「内容は知っている」の割合が高くなっています。また、60～69歳で「知らない」の割合が高くなっています。



(14) 自由意見 別紙

5. 調査結果から

- ・ 人権に関する市民意識調査結果のまとめ(案) 別紙

6. 資料・使用した調査票

- ・ 人権に関する市民意識調査 調査票 別紙